

スポーツ祭東京 2013

活動報告書



会期： 第 68 回国民体育大会冬季大会
平成 25 年 1 月 26 日（土）～2 月 1 日（金）
第 68 回国民体育大会
平成 25 年 9 月 28 日（土）～10 月 8 日（火）
第 13 回全国障害者スポーツ大会
平成 25 年 10 月 12 日（土）～10 月 14 日（月）

公益社団法人 東京都薬剤師会

あいさつ

近年、非合法的な薬物の乱用や医薬品の不適正な使用による健康被害等が大きな社会問題として国民の間で関心が高まっています。専ら医薬品を扱うことを業とする専門職である薬剤師としては、年齢の如何に関わらず国民の健康を守る「医薬品」が、その目的と異なる誤った使い方や濫用目的で使われることによって、国民の健康を損なう結果を惹起する事態を傍観しては、薬剤師の「基本的な役割を全うしていない」との誹りも受けかねません。国民・患者が医薬品を安全に安心して使える環境を確保することが薬剤師の役割であり、国民から期待された役割を全うすることに直結するものと確信しています。

一方、国は超高齢社会を目前に控えて、地域における医療提供体制の再構築を目指した改革を進めていますが、地域住民への医療アクセスと同時に住民に対する健康情報の発信拠点として、薬局・薬剤師の活用を図ることとしています。医師・薬剤師が処方から投薬に至るまで、専門家の十分な指導・管理の下で使われている医療用医薬品はもとより、消費者が自由に入手できる一般用医薬品等についても、使用法を誤ったり、必要な情報が十分に提供されないまま安易に使うことによって、思わぬ副作用等の健康被害を受けるばかりでなく、スポーツ選手にあっては「不正に薬物を使用した」として選手生命を絶たれることにもなりかねません。こうしたいわゆる「うっかりドーピング」を未然に防ぐことも、医薬品適正使用の一環であり、薬剤師として積極的に取り組むべき重要な業務と認識しています。

こうした視点に鑑み、東京都薬剤師会では日本薬剤師会・JADA（日本アンチ・ドーピング機構）と連携しつつ会員薬局の協力を得て、東京都主催で開催されるスポーツ祭東京 2013に参加するアスリートの方々の「うっかりドーピング」の防止に向けた活動を進めて参りました。この度、その活動の結果について取り纏め、報告書を作成いたしました。

本書が、今後各県で開催される「スポーツ祭」のみならず、2020年に開催が決定したオリンピック・パラリンピックにおける、「アンチ・ドーピング活動」の参考となることを祈念するものです。

最後に、「スポーツ祭東京 2013」開催期間中に「うっかりドーピング防止活動」に参加された皆様並びに本報告書の作成に関わった関係各位に深甚の感謝を申し上げます。

2015年3月

公益社団法人 東京都薬剤師会
会長 山本信夫

目次

1. はじめに	1
参考：東京都薬剤師会のアンチ・ドーピング活動（年表）	
2. ドーピング防止相談体制・整備	5
2-1 薬剤師のためのドーピング防止ガイドブックの配布	5
2-2 スポーツファーマシストの育成	6
2-3 地区薬剤師会との連携	9
2-4 他県国体の視察	10
2-5 広報活動	10
2-6 会員薬局への相談体制支援	11
2-6-1 グッズの作成	11
2-6-2 講師等派遣対応	15
2-7 ドーピング防止ホットラインシステムの構築	17
2-8 ホームページの立ち上げ	20
参考：ホームページアクセス数（2013年1月～2014年1月）	
2-8-1 使用可能なOTCリストの掲載	22
2-8-2 問合せ確認手順の掲載	32
2-9 第68回国民体育大会競技別リハーサル大会への協力	33
3. 他団体との連携	34
3-1 東京都との連携	34
3-1-1 東京都スポーツ振興局スポーツ祭東京推進部との連携	34
3-1-2 東京都福祉保健局との連携（助成・補助）	35
3-2 東京都医師会との連携	35
3-3 東京都歯科医師会との連携	35
3-4 日本体育協会との連携	40
3-5 日本アンチ・ドーピング機構（JADA）との連携	46
3-5-1 JADA との打ち合わせ会議	46
3-5-2 JADA アウトリーチプログラム参加者の事前準備	47
4. 国体期間中の活動	52
4-1 ドーピング防止ホットライン 24 時間対応	52
4-2 他県からの視察者への対応	66
4-3 JADA アウトリーチプログラムへの協力	69
4-4 国体参加者へのアンケート（北里大学薬学部）への協力	71
5. 東京国体ドーピング検査実施結果	75
6. スポーツ祭東京 2013 地区薬剤師会での取り組みに関するアンケートの実施	77
7. 地区薬剤師会の活動記録	84
8. 都薬雑誌を活用した周知及び活動報告	91

1. はじめに

国体でドーピング検査が始まった2003年の静岡大会で静岡県薬剤師会の先駆的な防止活動がなければ、薬剤師がこんなにドーピング防止活動に関わることはなかったかもしれない。その活躍が日本薬剤師会を動かし、その後の国体において開催県が真摯に取り組む、年ごとに工夫が進み、活動がより効果的にかつ拡大されて来た。いずれの開催県もそれまでの検査が陽性ゼロであったことに大きなプレッシャーを受け、一段と努力をしてきたことも否めない。東京都薬剤師会が担当した2013年の東京国体（スポーツ祭東京 2013）ではその会場が多摩地区及び島嶼にわたる広域であり、また宿泊施設についても都心の施設を含め多様であることから、薬剤師によるドーピング防止活動の展開は困難が想像された。

東京都薬剤師会では2011年に国体対策特別委員会を立ち上げ、活動を開始した。当初その対応を本大会のみと考えていてゆっくり取りかかっていたが、本大会の半年前に冬季大会の一部が東京で開催されることが突如決まり、急遽、活動を早めることとなった。結果的には、これが委員会のモチベーションを一気に高め、充実した活動になったと考えられる。冬季および本大会併せてドーピング検査において陽性がゼロであったことは大変喜ばしいことであり、委員会および事務局メンバー、地区薬剤師会の指導者および会員、さらに多くのスポーツファーマシストに対して心より感謝とねぎらいの言葉を贈りたい。『ありがとう、ごくろうさまでした』

もっとも反省点も多く、マンモス都市における薬剤師会の活動の困難さをこの国体対策においても露呈した面もある。会員数の多さから地区薬剤師会の役割が大変大きいのであるが、地区による取り組みへの意欲に温度差があり、必ずしも都全域でほぼ同等のレベルの活動ができたとは思えない。

一方、JADAからの持続的な協力と支援にも感謝申し上げたい。アウトリーチでの活動はそれに参加したスポーツファーマシストには刺激的であった。しかし、限られた人数しか参加できないスタイルには改善があつてよい。もっとも、今のアウトリーチの取り組み方ははたしてドーピング防止にどれだけの効果があるか疑問もある。今後のJADAの多方面からの活動と薬剤師会との連携に期待するところである。

この冊子には我々の活動のあらゆることを記録として残した。これは東京都薬剤師会にとって、タイムカプセルのようなものである。数十年後にまたしても東京で国体が開かれる時に、掘り起こしてみたい。もう役に立つ情報はないかもしれないが、会の活動としてがんばったエネルギーが余熱として温かく残っていることだろう。

2015年3月

国体対策特別委員会メンバーを代表して
担当副会長
原 博

参考： 東京都薬剤師会の主なアンチ・ドーピング活動

「スポーツ祭東京2013」主なドーピング防止活動

東京都薬剤師会

年度	主な活動	備考
2006	・「薬剤師のためのドーピング防止ガイドブック」を会員薬局に配布開始	
5		
2009	4月	・ドーピング防止対策事業に東京都より助成を受ける(ガイドブックの配布、講習会開催)
	10月	・JADA公認スポーツファーマシスト認定プログラム開始
2009	2月	・「薬剤師のためのドーピング防止ガイドブック」を会員薬局に配布
	2月	・2009年度公認スポーツファーマシスト実務講習会開催(参加者65名)(2/11)
2010	6月	・「薬剤師のためのドーピング防止ガイドブック」を会員薬局に配布
	2月	・2010年度公認スポーツファーマシスト実務講習会開催(参加者398名)(2/11) ・ドーピング防止活動支部指導者育成講習会開催(参加者51名)(2/19)
2011	6月	・「薬剤師のためのドーピング防止ガイドブック」を会員薬局に配布 ・JADAとの打合せ(特別認定プログラム/東京基礎講習会について)(6/23)
	7月	・東京国体対策特別委員会の立ち上げ、活動開始
	9月	・国体に向けて 支部へのアンケート調査実施(行政との連携状況、支部内スポーツファーマシスト数確認のため) ・おいでませ！山口国体視察(2名)
	11月	・委員会内に3つのワーキンググループ(システム作成、グッズ作成&広報活動、講習会・研修会)を立ち上げ、活動開始 ・ドーピング防止活動支部指導者育成講習会開催(参加者57名)(11/12)
	1月	・都薬雑誌「スポーツ祭東京2013に向けて」連載開始(7回掲載)
	2月	・2011年度公認スポーツファーマシスト実務講習会開催(参加者601名)(2/11) ・支部(江戸川区)で行われたスポーツファーマシスト勉強会への講師派遣(2/12) *講師等派遣の対応開始
	3月	・支部に向けて「国体対策チェックリスト」の作成・送付
2012	4月	・東京国体リハーサル大会開催開始(2012年4月～2013年6月)
	6月	・地区薬剤師研修会にて「ドーピング防止ガイドブックの使い方」説明
	7月	・東京都スポーツ振興局スポーツ祭東京推進部との打合せ(冬季国体開催、救護所医薬品選定等について)(7/3) ・「薬剤師のためのドーピング防止ガイドブック」を会員薬局に配布
		・スポーツ祭東京2013「支部アンケートの実施」(各支部での活動状況の把握のため) ・世田谷区におけるリハーサル大会(テニス、ソフトテニス)への参加、見学の実施 ・公認スポーツファーマシスト認定制度「東京基礎講習会開催」(参加者256名)(7/22)

年度	主な活動	備考
2012	9月 ・JADAとの打合せ(アウトリーチプログラムの定義について)(9/25) ・ぎふ清流国体視察(6名)	
	10月 ・地区薬剤師研修会にて「東京国体でのドーピング防止活動」説明	
	11月 ・ドーピング防止活動支部指導者育成講習会開催(参加者79名)(11/10) ・町田市におけるリハーサル大会(バドミントン)への参加、見学の実施	
	・冬季国体に向けてのグッズ(チラシ、安心カード)作成、会員への配布	
	・グッズ(缶バッジ:アウトリーチプログラム用)作成	
	1月 ・ホームページ「STOP! うっかりドーピング」公開	
	・2012年度公認スポーツファーマシスト実務講習会開催(参加者929名)(1/20)	
	・国体冬季大会/24時間ホットライン開設(1/23~2/1・10日間)	
	・国体冬季大会(江戸川区)へのスポーツファーマシスト派遣(1/27:3名、1/28:2名)	
	2月 ・JADAとの打合せ(アウトリーチプログラムへのSP参加手続き等について)(2/19)	
3月 ・東京都スポーツ振興局スポーツ祭東京推進部との打合せ(国体医療救護業務、宿泊・医療救護のしおり等について)(3/8)		
2013	5月 ・地区薬剤師研修会にて「ドーピング防止ガイドブックの使い方」説明 ・JADAとの打合せ(アウトリーチプログラム実施スケジュール等について)(5/23)	
	6月	・JADAアウトリーチプログラムガイダンス開催(参加者61名)(6/16)
		・JADAアウトリーチプログラム実地体験開始
	7月 ・「薬剤師のためのドーピング防止ガイドブック」を会員薬局及び東京都医師会会員に配布 ・ドーピング防止活動における他関係団体(医師会、歯科医師会、OTC協会、都内保健所等)への協力依頼文書発送	
		・薬局新聞社取材(「薬局・薬剤師によるアンチドーピング活動」として都内薬局を取材、掲載)
		・「Excellent Pharmacy」(メディファーム株)取材(「東京都薬剤師会のドーピング防止活動」として記事を掲載)
	8月 ・ドーピング防止啓発ツール(チラシ、安心カード、ポスター、ミニのぼり旗、うちわ)作成・配布 ・使用可能なOTC薬(風邪薬、胃腸薬等)リスト作成、ホームページにアップ	・JADAアウトリーチプログラム用ポロシャツ購入
		・JADAアウトリーチプログラム直前講習会(ポロシャツ、缶バッジの配布)(参加者45名)(8/31)

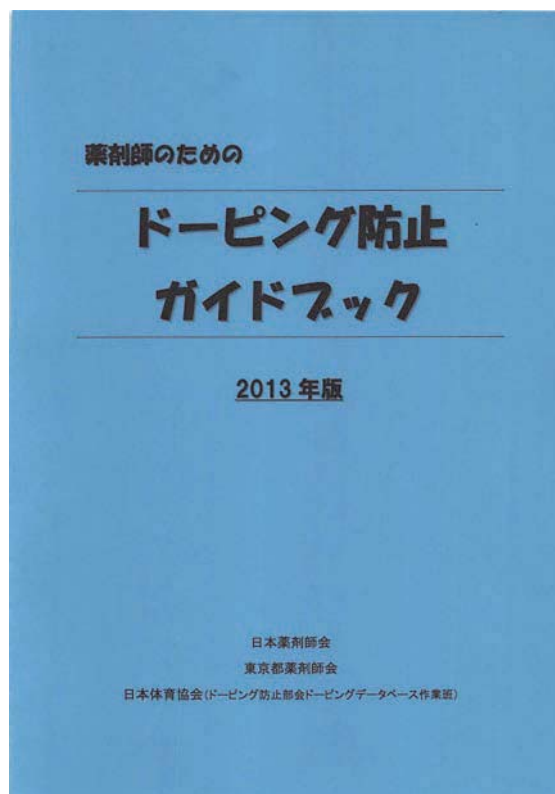
年度	主な活動	備考
2013	・「歯科医師のためのドーピング防止ガイド2013」作成、歯科医師会への活用依頼	
	・問合わせ確認手順作成	
	9月 ・都内薬科大学・薬学部へのドーピング防止活動に関するポスター掲示依頼	
	・国体本大会/24時間ホットライン開設(9/8～9/15、9/25～10/8 22日間)	
	・ドクターズ・ミーティング参加、講演「東京都薬剤師会におけるドーピング防止活動」(9/27)	
	・他県(長崎、和歌山、山形、岩手)の国体視察対応(9/27～10/6)	
	9月 ・地区薬剤師会におけるブース開設(世田谷、町田、江戸川、西東京市、品川、墨田 他)	
		・JADAアウトリーチプログラム参加
	・地区薬剤師会ブースにおけるアンケート調査(北里大学薬学部)への協力	
11月		・東京国体ドーピング検査実施結果公表(24競技会214検体陽性数0検体)
1月	・地区薬剤師会へのアンケート調査の実施(地区薬剤師会での活動の把握等のため)	
3月	・ドーピング防止活動地区薬剤師会指導者講習会開催(3/8)	
2014	6月 ・東京国体対策特別委員会解散(6/30)	
	7月 ・アンチドーピング活動推進ワーキンググループ立ち上げ(7/1)	



2. ドーピング防止相談体制・整備

2-1 薬剤師のためのドーピング防止ガイドブックの配布

- 2006年よりA会費会員へのガイドブック配布を開始（以降、毎年配布）
- 2013年7月 A会費会員数を地区薬剤師会に配布 薬局での活用
同月東京都医師会に医師会会員数分を送付 問い合わせ対応
地区、各団体向け講習会等での配布 テキスト、問い合わせ対応
*東京都歯科医師会には別途作成の「歯科医師のためのドーピング防止ガイド
2013」を送付 活用を依頼



2-2 スポーツファーマシストの育成

公認スポーツファーマシスト実務講習会の他に、東京国体におけるドーピング防止活動に向けてスポーツファーマシスト認定希望者の要望に応えるために、JADAの協力の下、特別認定プログラムとして東京基礎講習会を開催した。

(1) 2010年2月11日

2009年度公認スポーツファーマシスト実務講習会

参加者：65名

(2) 2011年2月11日

2010年度公認スポーツファーマシスト実務講習会

参加者：398名

(3) 2012年2月11日

2011年度公認スポーツファーマシスト実務講習会

参加者：601名

(4) 2012年7月22日

公認スポーツファーマシスト認定制度「東京基礎講習会開催」

参加者：256名

(5) 2013年1月20日

2012年度公認スポーツファーマシスト実務講習会

参加者：929名

講習会／研修会

講習会名	実施年度	受講者数	会場
公認スポーツファーマシスト実務講習会	2009	65	慶應記塾大学薬学部 芝共立キャンパス
	2010	398	日本教育会館 一ツ橋ホール
	2011	601	星薬科大学 メインホール
	2012	929	日比谷公会堂
公認スポーツファーマシスト認定制度 東京基礎講習会	2012	256	JA共済ビル カンファレンスホール
ドーピング防止活動支部指導者(育成)講習会	2010	51	フォーラムミカサ
	2011	57	フォーラムミカサ
	2012	60	フォーラムミカサ エコ
	2013	42	TKP神田ビジネスセンターANNEX

《公認スポーツファーマシスト実務講習会》

2009年度公認スポーツファーマシスト実務講習会

2010年2月11日(木・祝) 午後2時～4時45分

慶應義塾大学 芝共立キャンパス 2号館2階255講義室
〒105-8512 東京都港区芝公園1-5-30

【プログラム】

時 間	科 目	講 師 (敬称略)
14:00～14:05	開会挨拶	東京都薬剤師会 副会長 上村直樹
14:05～15:15	2010年禁止表国際基準～2009年からの変更点～	東京都薬剤師会 理事 公認スポーツファーマシスト推進委員 原 博
15:15～15:30	一 休 憩 一	
15:30～16:30	薬剤師発信によるドーピング防止活動	北海道大学病院薬剤部 副薬剤部長 公認スポーツファーマシスト認定審査委員・推進委員 笠野久美子
16:30～16:40	実務講習会からスポーツファーマシスト認定まで	東京都薬剤師会 薬事情報課 公認スポーツファーマシスト推進委員 神戸道子
16:40～16:45	閉会挨拶	東京都薬剤師会 常務理事 内藤温子

2010年度公認スポーツファーマシスト実務講習会

2011年2月11日(金・祝) 午後1時～3時50分

日本教育会館 一ツ橋ホール
〒101-0003 東京都千代田区一ツ橋2-6-2

【プログラム】

司会：東京都薬剤師会 理事／公認スポーツファーマシスト推進委員
高橋正夫

時 間	科 目	講 師 (敬称略)
13:00～13:05	開会挨拶	東京都薬剤師会 会長 桑原辰嘉
13:05～14:05	2011年禁止表国際基準～2010年からの変更点～	東京都薬剤師会 常務理事／公認スポーツファーマシスト推進委員 石垣栄一
14:05～14:15	一 休 憩 一	
14:15～14:35	国体選手へのドーピング防止活動 ースポーツファーマシストの役割についてー	東京都保健医療公社 大久保病院薬剤科 薬剤科長 小竹慶子
14:35～14:55	ツアー・オブ・ジャパンに併行して ー薬学生のドーピング防止教育への取り組みとそこから見たものー	北里大学薬学部5年生 加藤弘之
14:55～15:15	アスリートのドーピングに対する意識と現状 ー意識調査およびアンチ・ドーピング教育活動を経てー	北里大学薬学部 臨床薬学研究・教育センター 助教 薄井健介
15:15～15:35	パネルディスカッション	座長：東京都薬剤師会 常務理事／公認スポーツファーマシスト推進委員 原 博
15:35～15:45	実務講習会からスポーツファーマシスト認定まで	東京都薬剤師会 薬事情報課／公認スポーツファーマシスト推進委員 高橋水里子
15:45～15:50	閉会挨拶	東京都薬剤師会 常務理事／公認スポーツファーマシスト推進委員 原 博

2011年度公認スポーツファーマシスト実務講習会

2012年2月11日(土・祝) 午後1時～3時40分

星薬科大学 メインホール(本館)
〒142-8501 東京都品川区荏原2-4-41

【プログラム】

司会：東京都薬剤師会 東京国体対策特別委員会 委員
對崎利香子

時 間	科 目	講 師 (敬称略)
13:00～13:05	開会挨拶	東京都薬剤師会 会長 桑原辰嘉
13:05～14:05	2012年禁止表国際基準～2011年からの変更点～ / TUE国際基準	東京都薬剤師会 理事 高橋正夫
14:05～14:15	一 休 憩 一	
14:15～14:45	国立スポーツ科学センターの紹介及びクリニック 薬剤業務について	国立スポーツ科学センター スポーツクリニック 上東悦子
14:45～15:05	アンチドーピング活動の一例 ーアスリートへのアプローチから見たことー	西多摩薬剤師会/みどり薬局の出 給 木 康 仁
15:05～15:25	スポーツドクターの活動と薬剤師に期待すること	日本体育大学スポーツ医学研究室 教授 成田和穂
15:25～15:35	認定・更新等のスケジュール	東京都薬剤師会 薬事情報課 神戸道子
15:35～15:40	閉会挨拶	東京都薬剤師会 常務理事 原 博

2012年度公認スポーツファーマシスト実務講習会

2013年1月20日(日) 午後1時～3時35分

日比谷公会堂
〒100-0012 東京都千代田区日比谷公園1-3

【プログラム】 (敬称略)

司会：東京都薬剤師会 理事
貞松直喜

時 間	科 目	講 師
13:05～13:10	開会挨拶	東京都薬剤師会 会長 山本信夫
13:10～13:40	2013年禁止表国際基準～2012年からの変更点～	東京都薬剤師会 東京国体対策特別委員会 委員長 小林百代
13:40～14:10	2012年ロンドンオリンピック 医務報告	国立スポーツ科学センター スポーツクリニック 上東悦子
14:10～14:30	一 休 憩 一	
14:30～15:00	ぎふ清流国体におけるドーピング防止活動 ～質疑応答例からの注意点～	一般社団法人 岐阜県薬剤師会 ぎふ薬事情報センター 川瀬晶子
15:00～15:20	スポーツ祭東京2013 東京都薬剤師会の活動	東京都薬剤師会 常務理事 高橋正夫
15:20～15:30	今後のスケジュールおよびスポーツファーマシスト事務局からのお知らせ	東京都薬剤師会 薬事情報センター 神戸道子
15:30～15:35	閉会挨拶	東京都薬剤師会 副会長 原 博

《公認スポーツファーマシスト認定制度 東京基礎講習会》

公認スポーツファーマシスト認定制度 東京基礎講習会 (IA共済ビル カンファレンスホール)		2012年7月22日
【司会】	浅川 伸 ((公財)日本アンチ・ドーピング機構事務局長)	
【講師】		
1. 9:30～9:35	開会の挨拶	山本 信夫 (社団法人東京都薬剤師会会長) 鈴木 秀典((公財)日本アンチ・ドーピング機構会長)
2. 9:35～10:10	WADA code及び国際基準について	浅川 伸 ((公財)日本アンチ・ドーピング機構事務局長)
3. 10:10～10:50	薬剤師倫理、気をつけなければならない違反事例	笠師 久美子 (公認スポーツファーマシスト認定審査委員会委員)
4. 10:50～11:00	休憩	
5. 11:00～12:20	禁止表国際基準について	鈴木 秀典((公財)日本アンチ・ドーピング機構会長)
6. 12:20～12:35	質疑応答	
7. 12:35～13:45	昼食	
8. 13:45～14:25	TUE国際基準について	鈴木 智弓 ((公財)日本アンチ・ドーピング機構事務局)
9. 14:25～15:05	実際の活動事例(国体開催県からの声)	畑中 範子 (社団法人千葉県薬剤師会 ドーピング防止特別委員会委員長)
10. 15:05～15:20	休憩	
11. 15:20～15:35	認定制度について	落合 陽子 ((公財)日本アンチ・ドーピング機構事務局)
12. 15:35～15:50	質疑応答	

2-3 地区薬剤師会との連携

東京国体に向けて地区（区や市の単位）ごとにアンチ・ドーピング活動の中心となる人材を育成することを目的として、2010年度から「ドーピング防止活動支部（地区薬剤師会）指導者育成講習会」を毎年開催した。

国体が開催された県の薬剤師会の活動の様子を紹介すると共に、国体に向けて地区ごとに準備すべきことについて伝達した。

2010年度ドーピング防止活動支部指導者育成講習会		
2011年2月19日(土) 午後6時～7時45分		
フォーラムミカサ 8階ホール 〒101-0054 東京都千代田区神田美土代町3-1 三笠ビル		
【プログラム】 司会：東京都薬剤師会 常務理事/公認スポーツファーマシスト推進委員 石垣 栄一		
時間	科目	講師 (敬称略)
18:00～18:05	開会挨拶	東京都薬剤師会 会長 桑原 辰嘉
18:05～18:35	スポーツ祭東京2013にむけて 東京都薬剤師会 理事/公認スポーツファーマシスト推進委員 高橋 正夫	
18:35～18:55	薬剤師のためのドーピング防止ガイドブック及びよくあるQ&Aについて 東京都薬剤師会 薬事情報課/公認スポーツファーマシスト推進委員 神戸 道子	
18:55～19:40	ゆめ半島千葉国体における千葉県薬剤師会の活動報告 (社)千葉県薬剤師会 ドーピング防止特別委員会委員長 畑 中 範子	
19:40～19:45	閉会挨拶 東京都薬剤師会 常務理事/公認スポーツファーマシスト特別推進委員 原 博	

2011年度ドーピング防止活動支部指導者育成講習会 - 支部が支えるスポーツ祭東京2013(国体) -		
2011年11月12日(土) 午後6時～7時40分		
フォーラムミカサ 8階ホール 〒101-0054 東京都千代田区神田美土代町3-1 三笠ビル		
【プログラム】 (敬称略) 司会：東京国体対策特別委員会 委員 藤本 和子		
時間	科目	講師
18:00～18:05	開会挨拶	東京都薬剤師会 会長 桑原 辰嘉
18:05～18:15	本日の講習会の目的	東京国体対策特別委員会 委員長 小林 百代
18:15～18:30	2011山口国体における取り組みと視察報告	東京国体対策特別委員会 担当常務理事 石垣 栄一
18:30～18:40	東京国体に向けてのアンケート調査結果報告	東京国体対策特別委員会 委員 薄井 健介
18:40～19:05	東京での国体に向けて -スポーツ祭東京2013への道-	東京国体対策特別委員会 担当理事 高橋 正夫
19:05～19:35	スポーツ祭東京2013に向けて -支部薬剤師会はこの様に動いている-	東京国体対策特別委員会 副委員長 瀬谷 雅行
	質疑応答	
	閉会挨拶	東京国体対策特別委員会 担当常務理事 原 博

2012年度ドーピング防止活動支部指導者講習会		
2012年11月10日(土) 午後6時～7時40分		
フォーラムミカサ エコ 7階ホール 〒101-0047 東京都千代田区内神田1-18-12 内神田東誠ビル		
【プログラム】 (敬称略) 司会：東京国体対策特別委員会 委員 薄井 健介		
時間	科目	講師
18:00～18:05	開会挨拶	東京国体対策特別委員会 担当副会長 原 博
18:05～18:20	ぎふ清流国体視察報告	東京国体対策特別委員会 担当常務理事 高橋 正夫
18:20～18:40	JADAアンチ・ドーピング教育・啓発活動における スポーツファーマシストとの連携について (公財)日本アンチ・ドーピング機構 教育・情報グループ シニアマネージャー 小林 大祐	
18:40～18:50	リハール大会での活動報告<世田谷区> 東京国体対策特別委員会 委員長/一般社団法人 玉川臨床薬剤師会 理事 小林 百代	
18:50～19:00	江戸川区薬剤師会でのスポーツファーマシストの活動報告 セイワ薬局 西葛西店 佐藤 昌義	
19:00～19:10	スポーツ祭東京2013/支部アンケート調査結果報告 東京国体対策特別委員会 担当理事 山田 純一	
19:10～19:30	スポーツ祭東京2013に向けて 支部薬剤師会にお願いしたい事 東京国体対策特別委員会 副委員長 瀬谷 雅行	
	質疑応答	
	閉会挨拶	東京国体対策特別委員会 委員 藤本 和子

2013年度 ドーピング防止活動地区薬剤師会指導者講習会		
2014年3月8日(土) 午後4時～6時		
TKP神田ビジネスセンターANNEXホール3A 〒101-0047 東京都千代田区内神田1-14-10 内神田ビル		
【プログラム】 (敬称略) 司会：東京国体対策特別委員会 委員 栗山 衛		
時間	科目	講師
16:00～16:05	開会挨拶	東京国体対策特別委員会 担当副会長 原 博
16:05～16:25	スポーツ祭東京2013 地区薬剤師会での取り組みに関するアンケート集計結果	東京国体対策特別委員会 副委員長 瀬谷 雅行
16:25～16:45	24時間ドーピング防止ホットライン集計結果	東京国体対策特別委員会 委員 薄井 健介
16:45～17:00	地区薬剤師会での活動-地区間の連携-	品川薬剤師会理事/すこやか薬局 薬局長 原山 真理子
17:00～17:15	支部で支えるスポーツ祭東京2013 ～西東京市薬剤師会におけるドーピング防止活動～	西東京市薬剤師会 会長 梅田 茂
17:15～17:35	スポーツ祭東京2013アウトリーチプログラム (公財)日本アンチ・ドーピング機構 専務理事 浅川 伸	
17:35～17:45	東京都薬剤師会の今後のドーピング防止活動方針 東京国体対策特別委員会 担当常務理事 高橋 正夫	
17:45～17:55	- 質疑応答 -	
17:55～18:00	閉会挨拶	東京国体対策特別委員会 委員長 小林 百代

2-4 他県国体の視察

- 「おいでませ山口国体」 2011年9月30日（金）～10月2日（日）
開会式前日 9月30日：ドラッグストア（山口市内）、開会式会場外部
開会式当日 10月1日：開会式会場、山口県薬剤師会
大会期間 10月2日：山岳競技会場（山口市）
- 「ぎふ清流国体」 2012年9月28日（金）～9月30日（日）
開会式前日 9月28日：岐阜市内
開会式当日 9月29日：開会式会場、岐阜県薬剤師会、薬局（岐阜市内）
大会期間 9月30日：軟式野球（大垣市）

2-5 広報活動

- 都薬雑誌
会報である都薬雑誌の紙面を利用し、記事、囲み等を使い、ドーピング防止活動、ドーピング防止ガイドブックやドーピング防止ホットラインの使い方などを会員に向けて周知した。（「8. 都薬雑誌を活用した周知と活動報告」参照）
- ホームページ
東京都薬剤師会、東京都の「スポーツ祭東京 2013」のホームページから、委員会において2012年1月に作成した「STOP！うっかりドーピング」へのリンク等を通じ、会員並びに医療従事者、アスリートおよび大会関係者、一般都民に向けて公開した。
- チラシ
アスリート、大会関係者を中心に、「ドーピング防止ホットライン」の周知のためのチラシを、競技会場等で配布した。また、地区薬剤師会に配布し地域での対応を依頼した。
- ポスター
大会会場、アンチ・ドーピング活動のブース、講演会会場等において掲示をし、アスリートや大会関係者、医療従事者等に「ドーピング防止ホットライン」を周知した。

2-6 会員薬局への相談体制支援

2-6-1 グッズの作成

「STOP! うっかりドーピング」をアピールするため、また選手・関係者が自らアスリートであることを申し出て薬剤師に相談し、薬をドーピングの心配なく安心して使用してもらうことを目的としたグッズを作成。会員薬局に配布した。

● チラシ (A4 版)

薬やサプリメント等を使用する際には、予め薬剤師へ相談することを啓発するために作成した。大会期間中のホットラインへの問い合わせ方法について掲載した。

会員薬局へ配布したが、東京都薬剤師会のホームページからダウンロードもできるようにした。

スポーツ祭東京2013

STOP!

うっかりドーピング

ドーピング禁止物質は医薬品の他
ドリンク剤・サプリメントなどにも
含まれていることがあります。
ご使用の際は
薬剤師にご相談ください。

ホットライン FAX.03-3295-2333 TEL.03-3295-9532
電話とFAXの問い合わせは、平日の9時～17時になります。

メール doping.qa1089@gmail.com
お問い合わせの際は【氏名、年齢、性別、競技名、自分の立場(選手・コーチ・薬剤師・医師・その他 など)、内容(医薬品名は正確に)、電話番号】をお知らせください。
※お問い合わせ内容によっては、お時間がかる場合があります。
※本アドレスより返信いたしますので、
返信先住所の指定をされている場合は解除をお願いします。

第68回国民体育大会開催日の3日前～期間中の対応となります。

公益社団法人 東京都薬剤師会
東京都千代田区神田錦町1-21 HPアドレス <http://www.toyaku.or.jp/>

● ポスター（A2版）

チラシと同じデザインで作成した。競技会場においてアンチ・ドーピング活動を行う地区薬剤師会へ配布した。主として薬剤師会のブースをアピールするために使用したが、選手が使用する更衣室やトイレ等に掲示した会場もあった。

● 安心カード

禁止物質を含まない商品を示すためのカード。商品の陳列棚に掲示し、このカードが付いている商品ならドーピングの心配なく安心して使用できることを意味する。

薬局のスペースも大小あり、商品のパッケージも色や大きさが多種多様であることから、カードの大きさを2種類用意。色も2パターン作成した。

会員薬局へ配布したが、東京都薬剤師会のホームページからダウンロードもできるようにした。なお、登録販売者の方も利用できるよう、薬剤師／登録販売者の記入欄を設けたカードもホームページに掲載した。



● ミニのぼり旗

薬局の投薬カウンターやレジ横に設置して、選手に薬剤師へ相談することを促すことを目的とし、会員薬局へ配布した。



● うちわ

競技会場において選手に配り、ホットラインへの問い合わせ方法を周知した。また、観客たちにも応援グッズとして使ってもらった。

競技会場でアンチ・ドーピング活動を行う地区薬剤師会へ配布した。



● 名刺貼付用シール

東京国体対策特別委員会委員として活動を行う際、各自の名刺にシールを貼付し、国体での活動をアピールした。



● 缶バッジ

JADA アウトリーチプログラムへ参加するスポーツファーマシストに、揃いのポロシャツ（既製品）と共に配布した。



東京国体グッズ作成部数等

※ドーピング防止啓発ツール作成部数

年度	ツール	作成部数
2012年度 冬季大会	①チラシ(A4サイズ)	10,000
	②安心カードA4サイズ8面付け	6,000
	③安心カードA4サイズ10面付け	6,000
	④缶バッジ	100
2013年度 本大会	①チラシ(A4サイズ)	20,000
	②安心カードA4サイズ8面付け	10,000
	③安心カードA4サイズ10面付け	10,000
	④ポスター(A2サイズ)	1,000
	⑤うちわ	5,000
	⑥ミニのぼり旗	6,000
	⑦ポロシャツ(アウトリーチ用)(購入)	50
	⑧名刺貼付用シール	17

※24時間ホットライン用携帯電話 レンタル(1台)

	期間
本大会(前期)	9/6~9/16(11日間)
本大会(後期)	9/24~10/9(16日間)
合計	27日間

※薬剤師のためのドーピング防止ガイドブック 購入部数

	購入部数
東京都薬剤師会会員用	6,000
東京都医師会 ！会員用	6,000
* 日薬からの無償分	6,000
合計	18,000

2-6-2 講師等派遣対応

2011年11月に行った「ドーピング防止活動支部指導者育成講習会」において、委員会でアンチ・ドーピング活動のための講師派遣を行う旨の周知をした。

2012年に入り、地区からの要請に基づき役員・委員会委員を派遣して情報提供を行った。その後、関係団体等からも講師派遣依頼があり、国体期間までに18回、国体終了直後にも2回行った。また、地区薬剤師会独自の活動ブースへのアドバイザーとしての派遣要請もあった。詳細は以下のとおりである。

東京国体対策特別委員会 講師等派遣対応

日程	依頼元	タイトル	場所	出動役員・委員	講演等内容	時間	依頼日
2012年2月12日(日)	江戸川区薬剤師会	スポーツファーマシスト勉強会	グリーンパレス(江戸川区松島)	原 博 小竹 慶子	スポーツファーマシスト:制度と今後の課題、ドーピング防止における薬剤師の役割	14:00~16:00	2011年12月19日
2012年5月10日(木)	町田市薬剤師会	国体対策研修会	町田市健康福祉会館(町田市原町田)	高橋 正夫	薬局業務とうっかりドーピング~スポーツ祭東京2013にむけて~	19:00~21:00 担当時間50分	2012年1月29日
2012年8月21日(火)	北多摩薬剤師会(立川市、昭島市、国立市、東大和市、武蔵村山市)、国分寺市薬剤師会	国体開催に向けた衛生講習会 多摩立川保健所管内のホテル、旅館業者及び関係行政機関に対するうっかりドーピング防止	多摩立川保健所(立川市柴崎町)	上村 直樹	ホテル等の宿泊施設では、宿泊客のために一般医薬品を常備している。国体期間に選手へのOTC薬提供に関する注意喚起を目的に開催。	14:00~16:00	
2012年12月19日(水)	江戸川区薬剤師会	スポーツ祭東京2013開催に伴うドーピング防止講習会	江戸川区総合文化センター(江戸川区中央)	小林 百代 小竹 慶子	ドーピング防止に関するJADAおよび東京都薬剤師会の取り組み連携について、ドーピングの現状および国体におけるドーピングの実例紹介	19:30~21:00	2012年12月3日
2013年1月27日(日) 2013年1月28日(月)	江戸川区薬剤師会	国体冬季大会「スケート・ショートトラック競技」ブースへのSP派遣	江戸川区スポーツランド(江戸川区東篠崎)	27日: 小竹 慶子 加藤 重好 藤本 和子 28日: 貞松 直喜 上東 悦子	会場内ブースでのドーピング防止活動への応援要請	27日: 9:00~18:30 28日: 10:00~16:00	2013年1月11日
2013年3月3日(日)	品川地区薬剤師会	品川地区薬剤師研修会「スポーツ祭東京2013」に向けての薬局の準備、対応」	星薬科大学(品川区荏原)	貞松 直喜		14:00~15:00	2012年12月19日



日程	依頼元	タイトル	場所	出動役員・委員	講演等内容	時間	依頼日
2013年3月24日(日)	練馬区薬剤師会	練馬区薬剤師会地区研修会「スポーツ祭東京2013」にむけてのうっかりドーピング防止活動について	ホテルカデンツァ光が丘(練馬区高松)	高橋 正夫	会員薬剤師に対する薬局での対応を中心に。	14:10～14:50	2013年1月25日
2013年4月18日(木)	南多摩薬剤師会	講習会「スポーツ祭東京で薬剤師ができること」	バルテノン多摩 第一会議室(多摩市落合)	山田 純一 瀬谷 雅行	うっかりドーピングについて、ドーピングになってしまう薬、問い合わせを受けた時の対応	19:30～21:00	2013年3月8日
2013年4月18日(木)	調布市薬剤師会	講習会「うっかりドーピング防止啓発」講習会	市民プラザあくろすあくろすホール(調布市国領町)	山村 拓郎 加藤 重好	東京国体に向けての活動(概要、薬局での準備・対応など)	20:00～22:00	2013年2月28日
2013年5月30日(木)	武蔵野市薬剤師会	勉強会「東京国体に向けた薬局薬剤師のアンチドーピングについて」	武蔵野市中央コミュニティセンター(武蔵野市中町)	小竹 慶子 對崎 利香子	東京国体に向けた薬局薬剤師のアンチドーピングについて	19:00～	2013年2月25日
2013年6月26日(木)	江戸川区薬剤師会	ドーピング防止講習会	タワーホール船堀 401会議室(江戸川区船堀)	小竹 慶子	スポーツ祭東京2013開催に伴うドーピング防止講習会	20:00～21:00	2013年5月22日
2013年6月27日(水)	町田市保健所	「うっかりドーピング防止活動実践の準備」	町田市健康福祉会館(町田市原町田)	瀬谷 雅行	講演対象者:町田市市内、薬局及び登録販売業 各管理者		
2013年7月19日(金)	玉川砦薬剤師会	講演会「STOP! うっかりドーピング」	玉川区民会館(世田谷区等々力)	小林 百代	ドーピングとは? 薬剤師のためのドーピングガイドブックの使い方 ほか	19:45～21:30	2013年7月4日
2013年7月25日(木)	西多摩保健所 多摩立川保健所	薬事講習会「うっかりドーピング防止～東京国体に向けて～」 「薬剤師・登録販売者の販売時のコミュニケーション」	福生市民会館 小ホール(福生市福生)	高橋 正夫	うっかりドーピング防止～東京国体に向けて～	19:30～21:30 (19:40～21:10)	2013年5月1日

日程	依頼元	タイトル	場所	出動役員・委員	講演等内容	時間	依頼日
2013年8月22日(木)	墨田区薬剤師会	スポーツ祭東京2013に向けたドーピング防止講習会	墨田区薬剤師会事務所(墨田区向島)	瀬谷 雅行	「スポーツ祭東京2013」に向けて薬局の準備、対応	20:00～21:30 担当時間60分	2013年7月23日
2013年9月4日(水)	調布市薬剤師会 (調布市医師会)	ドーピング防止講習会	調布市医師会館 講堂(調布市小島町)	薄井 健介	ドーピングと医薬品	20:00～21:00	2013年7月16日
2013年9月24日(火)	東京都体育協会	ドーピング防止講習会	岸記念体育会館(渋谷区神南)	小竹 慶子	ドーピング防止 試合前の注意点	18:40～	2013年9月3日
2013年9月27日(金)	日本体育協会	ドクターズ・ミーティング	グランドプリンスホテル新高輪「天平」(港区高輪)	小林 百代	東京都薬剤師会におけるドーピング防止活動	13:30～17:30 (20分)	2013年7月16日
2013年9月28日(土)	西東京市薬剤師会 西東京市三師会	医薬業連携の会	コール田無(西東京市田無町)	小竹 慶子	「医薬品の適正使用とアンチドーピング」	16:00～17:00 (45～60分)	2013年6月25日
2013年10月3日(木) ～7日(土)	墨田区薬剤師会	東京国体 薬剤師会ブースへのアドバイザー派遣	墨田区総合体育館(墨田区錦糸)	10/3 瀬谷 雅行 10/4,10/7 對崎 利香子	—	9:00～16:00 9:00～17:00 9:00～14:00	2013年9月3日
2013年11月3日(土)	東京都スキー連盟	加盟団体安全対策講習会	なかのZERO・小ホール(中野区中野)	原 博	「薬剤師によるアンチドーピング活動」	10:35～ (60～75分)	2013年10月3日
2013年11月16日(土)	品川区スポーツ協会	指導者養成講習会	マホロバ・マインズ三浦(三浦市南下浦町)	小林 百代	「STOP! うっかりドーピング～ドーピング防止の基礎知識～」	15:00～16:00 (45～60分)	2013年10月9日

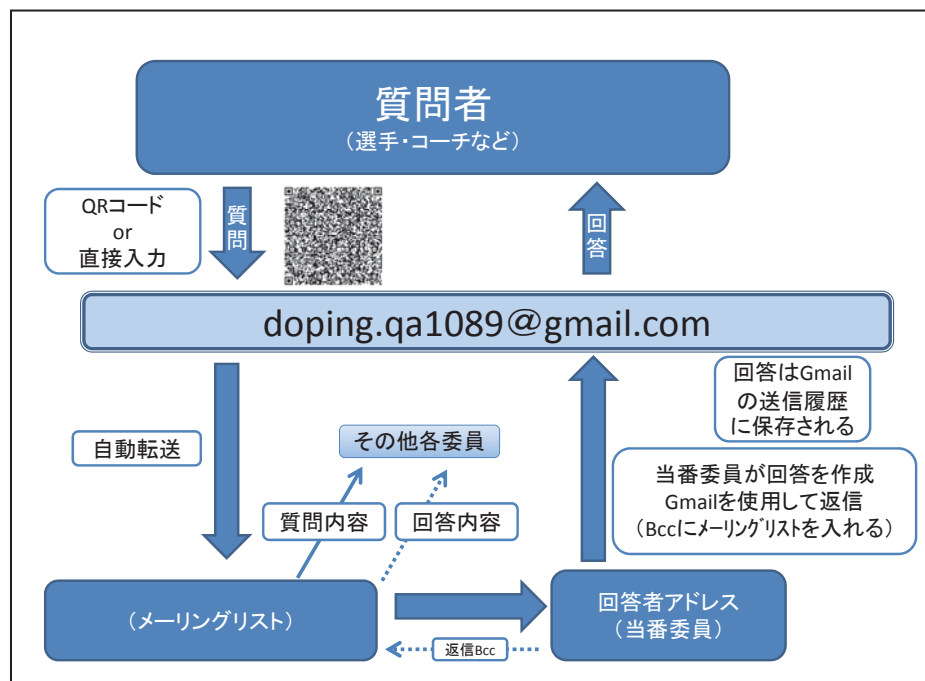
2-7 ドーピング防止ホットラインシステムの構築

ドーピング防止ホットラインシステムを、冬季大会、本大会それぞれの開始 72 時間前より大会終了日まで設置した。

平日の 9 時より 17 時まで、東京都薬剤師会薬事情報課にて電話対応を行った。平日 17 時より翌日 9 時まで及び土、日、祝日も担当委員がメールによる対応システムを稼働させた。

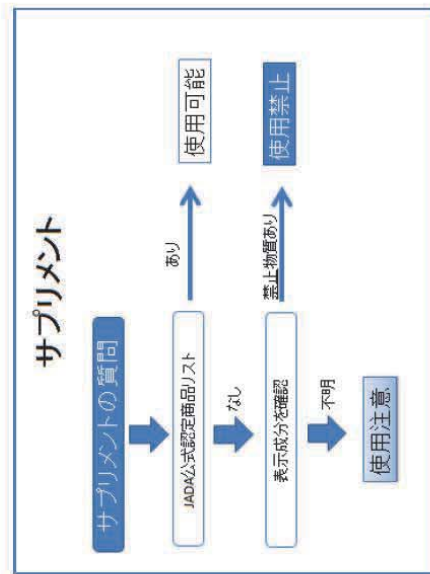
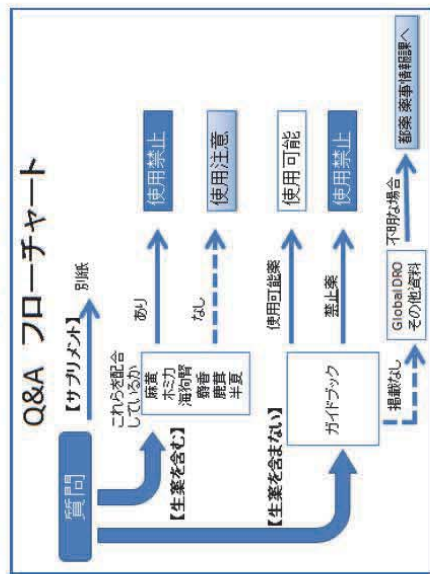
- (1) 質問者から送られてくるメールは Gmail に保管されると同時に、全委員の携帯メールに転送される。
- (2) 予め、定めておいた日々の担当者 2 名のうち、主担当が、PC から Gmail にログインし、回答を作成して送信を行った。
- (3) 回答内容は Gmail 上にも保存され、また全委員の携帯メールにも送信される様に回答者は操作を行った。
- (4) 回答者は、問い合わせが来たことがわかる携帯、回答用の PC、回答に必要な検索のための PC などで、数台の電話、PC を操りながら回答する事となった。
- (5) 冬季大会において、質問者の携帯が PC メール到着を拒否設定していたケースがあったため、回答用の携帯電話（レンタル）を準備したが、本大会において使用する場面はなかった。
- (6) 引き継ぎ時には必ず、携帯メールに送信を行った。

大会期間中は、メールが届く毎に各委員の緊張が高まる日々であった。



回答例

回答例です。コピー&ペーストなどで使用するなど、回答の参考にしてください。



< 医薬品の例 >

回答例 (使用可能)

〇〇〇〇は、いつでも使用することができます。
説明書の注意事項を守り、正しくお使いください。

回答者番号 △△

回答例 (使用禁止)

〇〇〇〇は、禁止物質を含んでいます。使用しないでください。
今後の治療に関しては、医師に相談してください。

詳細はこちらをご覧ください。

東京都薬剤師会トップページから「STOP うっかりドーピング」をクリックしてください。

URL <http://www.toyaku.or.jp/index.html>

回答者番号 △△

回答例 (使用禁止 OTC 薬)

〇〇〇〇は、禁止物質を含んでいます。使用しないでください。

詳細はこちらをご覧ください。

東京都薬剤師会トップページから「STOP うっかりドーピング」をクリックしてください。

URL <http://www.toyaku.or.jp/index.html>

回答者番号 △△

回答例 (使用禁止：すでに使用してしまった場合)

〇〇〇〇は、禁止物質を含んでいます。
大会への出場などは、監督・コーチに確認してください。
今後の治療に関しては、医師に相談してください。

詳細はこちらをご覧ください。

東京都薬剤師会トップページから「STOP うっかりドーピング」をクリックしてください。

URL <http://www.toyaku.or.jp/index.html>

回答者番号 △△

< サプリメントの例 >

回答例 (サプリメント：JADA 公式認定)

〇〇〇〇は、日本アンチ・ドーピング機構の公式認定商品です。安心して使用することができます。
説明書の注意事項を守り、正しくお使いください。

回答者番号 △△

回答例 (使用禁止 OTC 薬：すでに使用してしまった場合)

〇〇〇〇は、禁止物質を含んでいます。
大会への出場などは、監督・コーチに確認してください。

詳細はこちらをご覧ください。

東京都薬剤師会トップページから「STOP うっかりドーピング」をクリックしてください。

URL <http://www.toyaku.or.jp/index.html>

回答者番号 △△

回答例 (漢方・生薬：使用注意)

〇〇〇〇は、使用をお勧めできません。
明らかに禁止される物質は確認できませんでしたが、漢方・生薬には様々な成分が含まれているため、確実に使用可能であるとは言えません。
詳細はこちらをご覧ください。

東京都薬剤師会トップページから「STOP うっかりドーピング」をクリックしてください。

URL <http://www.toyaku.or.jp/index.html>

回答者番号 △△

回答例 (サプリメント：使用禁止)

〇〇〇〇は、禁止物質を含んでいます。使用しないでください。
詳細はこちらをご覧ください。

東京都薬剤師会トップページから「STOP うっかりドーピング」をクリックしてください。

URL <http://www.toyaku.or.jp/index.html>

回答者番号 △△

回答例 (サプリメント：使用注意)

〇〇〇〇は、使用をお勧めできません。
明らかに禁止される物質は確認できませんでしたが、サプリメントには表示成分以外に禁止物質を含む可能性がありえます。確実に使用可能であるとは言えません。
詳細はこちらをご覧ください。

東京都薬剤師会トップページから「STOP うっかりドーピング」をクリックしてください。

URL <http://www.toyaku.or.jp/index.html>

回答者番号 △△

2-8 ホームページの立ち上げ

「STOP！うっかりドーピング」のホームページを立ち上げ、都薬ホームページのトップ画面及びスポーツ祭東京 2013 公式ホームページにもバナーを掲載した。

内容は、選手、コーチ、トレーナーなどを対象とした「選手、一般向け」と医師、薬剤師などを対象とした「医療従事者向け」に分け、それぞれ以下の内容について掲載した。

1. 選手、一般向け

- 1) ドーピング防止について
 - ・ドーピングとは
 - ・ドーピング防止の基礎知識（禁止物質・方法、TUEの概論）
 - ・ドーピング防止規則違反の事例
 - ・ドーピング検査手順（参照 JADA ホームページアドレス掲載）
- 2) ホットライン
 - ・24 時間ホットライン
 - ・薬剤師会ドーピング防止ホットライン
 - ・JADA への問い合わせ
- 3) 禁止物質・TUE
 - ・禁止物質について（詳細）；注意が必要な薬剤、漢方薬、サプリメント
→使用可能な OTC リストへ（2-8-1 参照）
 - ・TUEについて（詳細）；記載、提出方法
- 4) スポーツファーマシスト
 - ・スポーツファーマシストとは・・・
 - ・スポーツファーマシストの定義（スポーツファーマシストのホームページより）
 - ・近くのスポーツファーマシストを探すには

2. 医療従事者向け

- 1) ドーピング防止について
 - ・2013 年禁止表国際基準
 - ・治療目的使用に係る除外措置（TUE）
- 2) ホットライン
 - ・選手、一般向けと同じ
- 3) 対策ツール
 - ・東京都薬剤師会で作成したドーピング防止対策ツール（2-6 参照）
「STOP！うっかりドーピング A4 ポスター」、「安心カード」のダウンロードデータ
 - ・その他資料
「ドーピング禁止物質の確認手順（問い合わせを受けたら）」（2-8-2 参照）、
「薬剤師のためのドーピング防止ガイドブック 2014 年版」、「Global DRO」、「医師のためのTUE申請ガイドブック 2014」などのダウンロードデータ

ドーピング防止対策ホームページ/アクセス数(2013年1月～2014年1月)

	2013年												2014年
	1月分 1/10～ 1/31	2月分 2/1～ 2/28	3月分 3/1～ 3/31	4月分 4/1～ 4/30	5月分 5/1～ 5/31	6月分 6/1～ 6/30	7月分 7/1～ 7/31	8月分 8/1～ 8/31	9月分 9/1～ 9/30	10月分 10/1～ 10/31	11月分 11/1～ 11/30	12月分 12/1～ 12/31	1月分 1/1～ 1/31
トップページ	340	220	193	221	232	314	272	300	1456	1040	359	246	292
トップページ	142	92	84	86	99	119	120	146	723	564	139	110	94
ドーピング防止について	80	65	52	65	77	90	121	109	356	262	119	116	210
ホットライン	75	56	37	46	48	79	70	79	227	169	60	57	64
禁止物質・TUE	92	78	52	65	68	170	102	120	536	414	112	108	192
スポーツファーマシスト	68	62	45	53	53	66	78	66	216	132	58	56	61
リンク	42	39	32	28	26	53	49	49	78	54	24	28	30
トップページ	292	136	114	117	130	161	155	182	538	325	113	90	104
ドーピング防止について	92	85	95	76	92	91	105	127	254	172	93	92	167
ホットライン	83	62	49	41	55	54	64	92	184	98	53	40	58
対策ツール	215	116	86	90	100	138	150	166	410	213	91	75	113
リンク	56	51	42	44	40	65	48	54	178	71	38	45	44
ホットラインFAX用紙	16	13	23	22	20	33	13	20	38	9	8	10	7
使用可能OTC薬のリスト1	238	360	478	288	450	331	467	445	259	343	248	219	—
使用可能OTC薬のリスト2									194	241	204	136	—
日薬ガイドブック2012	(0)	25	12	26	36	39	75	14	—	—	—	—	—
日薬ガイドブック2013									14557	6232	2486	3359	—
2013年禁止表国際基準	34	26	16	24	14	28	4	3	2	0	1	6	—
TUE申請ガイドブック2012	182	20	12	30	15	8	—	—	—	—	—	—	—
TUE申請ガイドブック2013						8	19	17	26	12	30	16	—
問合わせ確認手順									278	81	48	28	45
歯科医師のためのドーピング防止ガイド									209	151	135	146	—

2-8-1 使用可能な OTC リストの掲載

リスト作成時点において、医薬品医療機器総合機構（PMDA）の一般用医薬品、添付文書情報検索ページに登録されている薬剤を対象とし、禁止物質、生薬を含まない薬剤だけを拾い上げた。

選手の使用頻度が高いと推測される、総合感冒薬、鼻炎・花粉症治療薬、鎮咳・去痰薬、アレルギー治療薬については冬季国体までに、夏季国体前には胃腸薬を追加してそれぞれのリストを作成した。また、ホームページへの掲載前には必ず、作成内容に間違いがないかダブルチェックを行った。

ホームページ掲載時には、「リストはあくまでも一例であり、自己責任において薬剤を使用する」旨を明記した。

このリストへのアクセス数は、高かった。（p.21 ホームページアクセス数 参照）

ドーピング禁止物質が入っていない市販薬の例

◆かぜ薬（総合感冒薬）

No.	商品名	製薬会社	含有成分
1	カイゲンこどもかぜぐすりカチュー	カイゲン	アセトアミノフェン クロルフェニラミンマレイン酸塩 チベジジンヘバンス酸塩 リボフラビン
2	カゼロンA	太陽堂製薬	アスピリンアルミニウム アセトアミノフェン クロルフェニラミンマレイン酸塩 クエン酸チベジジン 無水カフェイン チアミン塩化物
3	新ローリンカプセル	テイカ製薬	アセトアミノフェン エテンザミド クロルフェニラミンマレイン酸塩 チベジジンヘバンス酸塩 無水カフェイン
4	ザザ	延寿堂 池田屋安兵衛商店	アセトアミノフェン エテンザミド クロルフェニラミンマレイン酸塩 無水カフェイン
5	新エスタック「W」	エスエス製薬	アセトアミノフェン サリチルアミド クロルフェニラミンマレイン酸塩 ノスカピン塩酸塩水和物 カフェイン水和物 アスコルビン酸
6	新エスタック12	エスエス製薬	アセトアミノフェン サリチルアミド クロルフェニラミンマレイン酸塩 ノスカピン塩酸塩水和物 カフェイン水和物 アスコルビン酸

ドーピング禁止物質が入っていない市販薬の例

◆胃腸の出過ぎによる症状（胸やけ、むかつき、胃痛、もたれなど）を改善する薬

No.	商品名	製薬会社	含有成分
1	アシノンZ	ゼリア新薬工業	ニガチジン
2	アシノンZ胃腸内服液	ゼリア新薬工業	ニガチジン
3	アシノンZ錠	ゼリア新薬工業	ニガチジン
4	アパロンZ	大正製薬	ラニチジン塩酸塩 ケイ酸アルミン酸マグネシウム 酸化マグネシウム 水酸化アルミナマグネシウム
5	アルサメック錠	佐藤製薬	シメチジン
6	ガスター10	第一三共ヘルスケア	ファモチジン
7	ガスター10 S錠	第一三共ヘルスケア	ファモチジン
8	ガスター10（散）	第一三共ヘルスケア	ファモチジン
9	ガスター10 内服液	第一三共ヘルスケア	ファモチジン
10	ガスドック10	キョーリンメディオ	ファモチジン
11	ニチブロック10	新新薬品工業	ファモチジン
12	ベッセンH2	新新薬品工業	ファモチジン
13	イノセアワンプロック	あすか製薬	ロキサチジン酢酸エステル塩酸塩

ドーピング禁止物質が入っていない市販薬の例

◆ 制酸薬

No.	商品名	製薬会社	含有成分
1	太田胃散チュアブルNEO	明治薬品	水酸化マグネシウム 炭酸マグネシウム 沈降炭酸カルシウム ジメチルポリシロキサン
2	太田胃散チュアブル	太田胃散	合成ヒドタルサイト 水酸化マグネシウム グリチルリチン酸
3	スイマグ	三保製薬研究所	水酸化マグネシウム
4	ストマクールA細粒	ゼリア新薬工業	合成ヒドタルサイト 水酸化マグネシウム アズレンスルホン酸ナトリウム アルジオキサ レグルタミン
5	ミルマグ液	エムジーファーマ	水酸化マグネシウム
6	イスキット	ダイト	合成ヒドタルサイト 水酸化マグネシウム アズレンスルホン酸ナトリウム アルジオキサ レグルタミン
7	ダラマックSP	新生薬品工業	合成ヒドタルサイト ウシリン

ドーピング禁止物質が入っていない市販薬の例

◆ 胃薬

No.	商品名	製薬会社	含有成分
1	イノバシM錠	小林薬品工業	ピレンゼピン塩酸塩水和物 炭酸水素ナトリウム メタケイ酸アルミン酸マグネシウム ピオチアスターゼ2000
2	エスナールM錠	小林薬品工業	ピレンゼピン塩酸塩水和物 炭酸水素ナトリウム メタケイ酸アルミン酸マグネシウム ピオチアスターゼ2000
3	ガストール細粒	エスエス製薬	ピレンゼピン塩酸塩水和物 炭酸水素ナトリウム メタケイ酸アルミン酸マグネシウム ピオチアスターゼ2000
4	ガストール錠	エスエス製薬	ピレンゼピン塩酸塩水和物 炭酸水素ナトリウム メタケイ酸アルミン酸マグネシウム ピオチアスターゼ2000
5	コンチーム錠	日東薬品工業	乾燥酵母 コンチーム(ビール酵母) ジアスターゼ フラトミン リン酸水素カルシウム水和物 チアミン塩化物塩酸塩 リボフラビン
6	ミネ消化整腸薬錠	常盤薬品工業	ピオチアスターゼ2000 プロザイム6 リパーゼAP6 フラトミン ウルソデオキシコール酸 チアミンジスルフィド リボフラビン 塩酸ピリドキシン
7	顆粒わかもと	わかもと製薬	アスベルギルス・オリゼーNK菌培養末 乳酸菌培養末 乾燥酵母(ビール酵母) チアミン硝化物(ビタミンB1) リボフラビン(ビタミンB2) ニコチン酸アミド

ドーピング禁止物質が入っていない市販薬の例

No.	商品名	製薬会社	含有成分
8	チュアブルグリーン	内外薬品	アルジオキサ 合成ヒドタルサイト 炭酸マグネシウム
9	強力わかもと	わかもと製薬	アスベルギルス・オリゼーNK菌培養末 乳酸菌培養末 乾燥酵母(ビール酵母) チアミン硝化物(ビタミンB1) リボフラビン(ビタミンB2) ニコチン酸アミド
10	グロンターゼ錠	大生堂薬品工業	ジアスターゼ パントレチン フラトミン チアミン塩化物塩酸塩
11	新タントーゼ錠L	テイカ製薬	ウルソデオキシコール酸 有胞子性乳酸菌
12	新タントーゼ錠M	テイカ製薬	ウルソデオキシコール酸 有胞子性乳酸菌
13	新チオターゼ	米田薬品	ピオチアスターゼ2000 ニューラーゼ リパーゼAP6 フラトミン(ストレプトコッカス・フェカリス菌) リボフラビン(ビタミンB2)
14	ミノモトサン錠	大生堂薬品工業	ジアスターゼ パントレチン フラトミン チアミン塩化物塩酸塩
15	ミヤリサンU錠	ミヤリサン製薬	富入菌(酪酸菌)末 ウルソデオキシコール酸
16	ミヤリサン-W	ミヤリサン製薬	富入菌(酪酸菌)末 パントレチン セルラーゼAP3 ジアスミンSS ポパーゼ1000
17	トルクミン	日水製薬	ピオチアスターゼ2000 ニコチン酸アミド ピオチン

ドーピング禁止物質が入っていない市販薬の例

◆ 消化薬

No.	商品名	製薬会社	含有成分
1	わかもと消化薬	わかもと製薬	ピオチアスターゼ2000 ニューラーゼ ウルソデオキシコール酸

◆ 整腸剤

No.	商品名	製薬会社	含有成分
1	イストロン整腸錠	京都薬品ヘルスクア	ピオチン コンクピオゼニン ピフィズ菌 ピオチアスターゼ2000 ニコチン酸アミド ピオチン 無水リン酸水素カルシウム
2	ガスビタン ^a	小林製薬	フラトミン(フェカリス菌) フラトミン(アシドフィルス菌) ピフィズ菌 セルラーゼAP3 ジメチルポリシロキサン
3	新アベテート整腸薬	麻耶堂製薬	ピオチン コンクピオゼニン ピフィズ菌 ピオチアスターゼ2000 ニコチン酸アミド ピオチン 無水リン酸水素カルシウム
4	新笹岡整腸薬M	麻耶堂製薬	ピオチン コンクピオゼニン ピフィズ菌 ピオチアスターゼ2000 ニコチン酸アミド ピオチン 無水リン酸水素カルシウム

ドーピング禁止物質が入っていない市販薬の例

No.	商品名	製薬会社	含有成分
5	新ミヤリサンアイジ整腸薬	ミヤリサン製薬	善入菌(酪酸菌)末 リボフラビン ピリドキシン塩酸塩
6	パンシロンN10	ロート製薬	ラクチミン(アシドフィルス菌) ビフィズス菌 ラクチミン(フェーカリス菌) 糖化菌(納豆菌) アモロリジン-5 サンプローゼF ゼルロシムAP
7	パンラクミンプラス	第一三共ヘルスケア	有胞子性乳酸菌(ラクボン原末) 納豆菌末 沈降炭酸カルシウム
8	ピオフェルミンVC	ピオフェルミン製薬	ビフィズス菌 ラクチミン アスコルビン酸 リボフラビン ピリドキシン塩酸塩
9	ファスコン整腸錠	京都薬品ヘルスケア	ピオナットミン コンクピオゼニン ビフィズス菌 ピオチアスターゼ2000 ニコチン酸アミド ピオチン 無水リン酸水素カルシウム
10	フェカルミンゴールド錠	エバース・ジャパノ	酪酸菌末 ラクチミン(乳酸菌) ビフィズス菌 納豆菌末 ピリドキシン塩酸塩
11	ラクティブプラス	麻耶堂製薬	ピオナットミン コンクピオゼニン ビフィズス菌 ピオチアスターゼ2000 ニコチン酸アミド ピオチン 無水リン酸水素カルシウム

東京都薬剤師会 東京国体対策特別委員会 2013.9.1作成

整腸薬

ドーピング禁止物質が入っていない市販薬の例

No.	商品名	製薬会社	含有成分
12	わかもと整腸薬 ビナチュラ	わかもと製薬	ラクチミン ビフィズス菌 ジメチルコリンシロキサン) アスコルビン酸(ビタミンC) ピリドキシン塩酸塩(ビタミンB6)
13	強ミヤリサン(錠)	ミヤリサン製薬	善入菌(酪酸菌)末
14	新ピオフェルミンS細粒	ピオフェルミン製薬	コンク・ビフィズス菌末 コンク・フェーカリス菌末 コンク・アシドフィルス菌末
15	新ピオフェルミンS錠	ピオフェルミン製薬	コンク・ビフィズス菌末 コンク・フェーカリス菌末 コンク・アシドフィルス菌末
16	新ラクトーンA	ザヒードアンドヘルスケア	ビフィズス菌 ラクチミン(フェーカリス菌) ラクチミン(アシドフィルス菌) 乾燥酵母 チアミン硝化物 リボフラビン
17	フェカルミンSリーE顆粒(分色)	日東薬品工業	納豆菌末 乳酸菌末 酪酸菌末
18	フェカルミンSリーE顆粒	日東薬品工業	納豆菌末 乳酸菌末 酪酸菌末
19	ミヤリサンA	ミヤリサン製薬	善入菌(酪酸菌)末
20	ミヤリサンアイジA	ミヤリサン製薬	善入菌(酪酸菌)末 パントテン酸カルシウム リボフラビン 塩酸ピリドキシン
21	ミヤリサン(錠)	ミヤリサン製薬	善入菌(酪酸菌)末
22	わかもと整腸薬	わかもと製薬	ビフィズス菌 ラクチミン

東京都薬剤師会 東京国体対策特別委員会 2013.9.1作成

整腸薬

ドーピング禁止物質が入っていない市販薬の例

◆ 胃痛を鎮める薬

No.	商品名	製薬会社	含有成分
1	イノキアス	小林薬品工業	ブチルスコポラミン臭化物 メタケイ酸アルミン酸マグネシウム
2	コランチルA顆粒	塩野義製薬	ジサイクロミン塩酸塩 乾燥水酸化アルミニウムゲル 酸マグネシウム
3	サウロンQ	エーザイ	オキセサゼイン
4	ストマオン糖衣錠	ゼリア新薬	ブチルスコポラミン臭化物
5	ナルコン「カプセル」	佐藤製薬	臭化水素酸スコポラミン 塩酸リドベリン アミノ安息香酸エチル
6	ブスコパンA錠	エスエス製薬	ブチルスコポラミン臭化物
7	ブスコパンMカプセル	エスエス製薬	ブチルスコポラミン臭化物 メタケイ酸アルミン酸マグネシウム
8	ブスコパンS	小林薬品工業	ブチルスコポラミン臭化物
9	ブチスミン	佐藤製薬	臭化ブチルスコポラミン
10	マジソンAグリーン	ダンヘルスケア	ヨウ化インプロロ(15) 重質酸化マグネシウム ゲル酸マグネシウム 乾燥水酸化アルミニウムゲル
11	ロミン三宝Oz	三宝製薬	オキセサゼイン
12	ストパン(第1類医薬品)	大正製薬	チキウム臭化物

◆ 下痢止め

No.	商品名	製薬会社	含有成分
1	イストロン 下痢止め	前田薬品工業	ロベラミド塩酸塩 ペルベリン塩化物水和物 アグリール水和物
2	イノック下痢止め	湧永製薬	塩酸ロベラミド
3	ロベラミン下痢止めLP	米田薬品	ロベラミド塩酸塩 ペルベリン塩化物 ピオチアスターゼ2000 チアミン硝化物(ビタミンB1) リボフラビン(ビタミンB2)

東京都薬剤師会 東京国体対策特別委員会 2013.9.1作成

下痢止め

ドーピング禁止物質が入っていない市販薬の例

No.	商品名	製薬会社	含有成分
4	グアベリン錠	松本製薬工業	塩化ペルベリン アグリール タンニン酸アルブミン
5	シガロン下痢止め	エスエス製薬	塩酸ロベラミド
6	新ワカ末A錠	クラシエ製薬	ペルベリン塩化物水和物 チアミン硝化物 ピオチアスターゼS
7	スメクタスミン	佐藤製薬	天然ケイ酸アルミニウム
8	ゼロシャット 下痢止め	前田薬品工業	ロベラミド塩酸塩 ペルベリン塩化物水和物 アグリール水和物
9	大正下痢止め(小児用)	大正製薬	ピオチアスターゼ2000 タンニン酸アルブミン チアミン硝化物 リボフラビン
10	ダルテノンS錠	日邦薬品工業	ペルベリン塩化物水和物 ヒドロコル酸
11	ダルテノン 下痢止め	日邦薬品工業	ロベラミド塩酸塩 ペルベリン塩化物水和物 アグリール水和物
12	トメダインコーワフィルム	興和	ロベラミド塩酸塩
13	ビタリット	大正製薬	塩酸ロベラミド ペルベリン塩化物水和物 ピオチアスターゼ2000 チアミン硝化物(ビタミンB1) リボフラビン(ビタミンB2)
14	ファスコン 下痢止め	前田薬品工業	ロベラミド塩酸塩 ペルベリン塩化物水和物 アグリール水和物
15	ペロト下痢止め	ゼリア新薬工業	塩酸ロベラミド
16	ラフェルサ下痢止めLP	米田薬品	ロベラミド塩酸塩 ペルベリン塩化物 ピオチアスターゼ2000 チアミン硝化物(ビタミンB1) リボフラビン(ビタミンB2)
17	ロベラマックス錠	佐藤製薬	塩酸ロベラミド

東京都薬剤師会 東京国体対策特別委員会 2013.9.1作成

下痢止め

ドーピング禁止物質が入っていない市販薬の例

◆ 下剤

No.	商品名	製薬会社	含有成分
1	ウエストンピセラ	小林薬品工業	ビサコジル センノシド 有胞子性乳酸菌
2	カイバールC	アラクス	ビサコジル センノサイド
3	サトラックス・チョコタブ	佐藤製薬	センノシドカルシウム
4	新ビオミットS	三宝製薬	ビサコジル センノシド ジオクチルゾジウムスルホサクシネート 有胞子性乳酸菌 デヒドロコール酸
5	スルーラックBB	エスエス製薬	ビサコジル センノシドカルシウム リポフラビン ピリドキシン塩酸塩
6	スルーラックS	エスエス製薬	ビサコジル センノサイドカルシウム
7	スルーラックプラス	エスエス製薬	ビサコジル センノサイドカルシウム ジオクチルゾジウムスルホサクシネート
8	スルーリー	至誠堂製薬	ビサコジル センノシド
9	ビオミットS	三宝製薬	ビサコジル カサンスラノール ジオクチルゾジウムスルホサクシネート デヒドロコール酸
10	ピフィーナ便秘薬	森下仁丹	センノシドカルシウム ビフィズス菌
11	ラクツールS	至誠堂製薬	ビサコジル センノシド
12	ウエストンピンク	小林薬品工業	ビサコジル 有胞子性乳酸菌
13	カイラックス	日新薬品工業	ビサコジル
14	キョトラックス	日新薬品工業	ビサコジル

東京都薬剤師会 東京国体対策特別委員会 2013.9.1作成

下剤

ドーピング禁止物質が入っていない市販薬の例

No.	商品名	製薬会社	含有成分
15	キューラック	本草製薬	ビサコジル
16	コーラック	大正製薬	ビサコジル
17	コーラックII	大正製薬	ビサコジル ジオクチルゾジウムスルホサクシネート
18	コーラックソフト	大正製薬	ビサコジル ピコスルファートナトリウム水和物
19	コーラックファースト	大正製薬	ビサコジル ジオクチルゾジウムスルホサクシネート
20	サトラックスエース	佐藤製薬	ビサコジル ジオクチルゾジウムスルホサクシネート 塩酸ピリドキシン
21	ザウラック	日新薬品工業	ビサコジル
22	シルビアピンク	小林薬品工業	ビサコジル 有胞子性乳酸菌
23	スラット	教心製薬	ビサコジル
24	ゼンサン	米田薬品	ビサコジル
25	ドクソウガンミニ	山崎帝國堂	ビサコジル
26	ニューラック	本草製薬	ビサコジル
27	ハイロラック	米田薬品	ビサコジル
28	ハミノン	堀井薬品工業	ビサコジル
29	ピオフェルミン便秘薬	ピオフェルミン製薬	ピコスルファートナトリウム水和物 ビフィズス菌 ラクトミン(乳酸菌)
30	ビオミット・ミニ	三宝製薬	ビサコジル
31	ビサスルー	日新薬品工業	ビサコジル
32	ビュースルー	皇漢堂製薬	ビサコジル
33	ビュースルー・ソフト	皇漢堂製薬	ビサコジル ピコスルファートナトリウム
34	ビュースルー	皇漢堂製薬	ビサコジル
35	ビュースルーA	皇漢堂製薬	ビサコジル
36	ビュースルー・ソフト	皇漢堂製薬	ビサコジル ピコスルファートナトリウム
37	ピコラックス	佐藤製薬	ピコスルファートナトリウム
38	ベルリーナ	山崎帝國堂	ビサコジル
39	ラクスリン	福地製薬	ビサコジル
40	ラビルP	ゼネラル薬工伊都	ビサコジル
41	ロストルミン	米田薬品	ビサコジル
42	ロストラック	米田薬品	ビサコジル
43	コーラルスルー	大和製薬	ビサコジル

東京都薬剤師会 東京国体対策特別委員会 2013.9.1作成

下剤

ドーピング禁止物質が入っていない市販薬の例

No.	商品名	製薬会社	含有成分
44	アウアナチュラル便秘薬	佐藤薬品工業	酸化マグネシウム
45	ウエストンナチュラル	小林薬品工業	酸化マグネシウム
46	スイマダ	三保製薬研究所	水酸化マグネシウム
47	スラーリア便秘内服液	ロート製薬	硫酸マグネシウム 塩酸ピリドキシン
48	スラーリア便秘薬	ロート製薬	酸化マグネシウム
49	スルーシア	佐藤薬品工業	酸化マグネシウム
50	マリンマダ	三保製薬研究所	酸化マグネシウム トメントール
51	マリンマダ・エース	三保製薬研究所	水酸化マグネシウム トメントール
52	ミルマダ液	エムジーファーマ	水酸化マグネシウム
53	ミルマダ内服液	エムジーファーマ	硫酸マグネシウム水和物
54	アストルベン錠	佐藤薬品工業	酸化マグネシウム
55	3Aアアマダ	佐藤薬品工業	酸化マグネシウム
56	3Aマグネシア	佐藤薬品工業	酸化マグネシウム

東京都薬剤師会 東京国体対策特別委員会 2013.9.1作成

下剤

ドーピング禁止物質が入っていない市販薬の例

No.	商品名	製薬会社	含有成分
7	新小児用エスタック「カリュウ」	エスエス製薬	アセトアミノフェン ヒベンズ酸チベジジン マレイン酸クロルフェニラミン 無水カフェイン 硝酸チアミン リポフラビン
8	ストナアイビー	佐藤製薬	イブプロフェン リン酸ジヒドロコデイン グアヤコールスルホン酸カリウム 塩酸ジフェニルピラリン 無水カフェイン
9	パイロンAM錠	塩野義製薬	4-オクシフェニラミンマレイン酸塩 エテンザミド アセトアミノフェン デキストロメトラン臭化水素酸塩水和物 クレゾールスルホン酸カリウム リゾチーム塩酸塩 無水カフェイン
10	パイロンMK錠	塩野義製薬	イブプロフェン ジフェニルピラリン塩酸塩 ジヒドロコデインリン酸塩 グアヤコールスルホン酸カリウム 無水カフェイン アスコルビン酸カルシウム
11	パイロン60	大正製薬	アセトアミノフェン グアヤコールスルホン酸カリウム デキストロメトラン臭化水素酸塩水和物
12	ポジナールEV顆粒	廣昌堂 ノーエチ薬品	イブプロフェン ジヒドロコデインリン酸塩 グアヤコールスルホン酸カリウム ジフェニルピラリン塩酸塩 無水カフェイン

東京都薬剤師会 東京国体対策特別委員会 2013.9.1作成

腸胃薬

ドーピング禁止物質が入っていない市販薬の例

◆鼻炎、花粉症治療薬

No.	商品名	製薬会社	含有成分
1	アスゲン鼻炎錠S	アスゲン製薬 日邦薬品	クロルフェニラミンマレイン酸塩 フェニレフリン塩酸塩 ペラドンナ総アルカロイド グリチルリチン酸 無水カフェイン
2	アラクス鼻炎スティック	アラクス	4-クロルフェニラミンマレイン酸塩 フェニレフリン塩酸塩 ペラドンナ総アルカロイド グリチルリチン酸ニカリウム
3	アルガード鼻炎クールアップ	ロート製薬	4-マレイン酸クロルフェニラミンマレイン酸塩 フェニレフリン塩酸塩 ペラドンナ総アルカロイド 無水カフェイン
4	アルガード鼻炎クールアップEX	ロート製薬	メキタジン フェニレフリン塩酸塩 ペラドンナ総アルカロイド 無水カフェイン
5	アレギザール鼻炎	田辺三菱製薬	ベシロラトカリウム
6	アレグラFX	サノフィ/久光製薬	フェキソフェナジン塩酸塩
7	アレジオン10	エスエス製薬	エビナスチン塩酸塩
8	エスタックニスキャップ12	エスエス製薬	マレイン酸カルピノキサミン ペラドンナ総アルカロイド フェニレフリン塩酸塩
9	エスタック鼻炎クリアー	エスエス製薬	4-クロルフェニラミンマレイン酸塩 ペラドンナ総アルカロイド フェニレフリン塩酸塩
10	エスタック鼻炎ソフトニスキャップ	エスエス製薬	4-クロルフェニラミンマレイン酸塩 ペラドンナ総アルカロイド フェニレフリン塩酸塩 塩酸ジフェニルピラリン
11	クールワン鼻炎ソフトカプセルS	東洋カプセル 杏林製薬	ペラドンナ総アルカロイド グリチルリチン酸ニカリウム カフェイン水和物

東京都薬剤師会 東京国体対策特別委員会 2013.9.1作成

鼻炎、花粉症治療薬

ドーピング禁止物質が入っていない市販薬の例

No.	商品名	製薬会社	含有成分
12	クールワン鼻炎チュアブル	テイカ製薬 杏林製薬	4-クロルフェニラミンマレイン酸塩 フェニレフリン塩酸塩 ペラドンナ総アルカロイド 無水カフェイン
13	コルゲンコーワ鼻炎ジェルカプセル	興和	4-クロルフェニラミンマレイン酸塩 ペラドンナ総アルカロイド フェニレフリン塩酸塩 グリチルリチン酸ニカリウム 無水カフェイン
14	コルゲンコーワ鼻炎ソフトミニカプセル	興和	4-クロルフェニラミンマレイン酸塩 ペラドンナ総アルカロイド フェニレフリン塩酸塩 グリチルリチン酸ニカリウム 無水カフェイン
15	コルゲンコーワ鼻炎ソフトミニカプセル子ども用	興和	4-クロルフェニラミンマレイン酸塩 ペラドンナ総アルカロイド フェニレフリン塩酸塩 グリチルリチン酸ニカリウム 無水カフェイン
16	コルゲンコーワ鼻炎フィルム	興和	4-クロルフェニラミンマレイン酸塩 ペラドンナ総アルカロイド フェニレフリン塩酸塩
17	コンタック600ST	グラクソ・スミスクライン	ヨウ化イソプロプレトド クロルフェニラミンマレイン酸塩 プロモクライン
18	コンタック600ファースト	佐藤薬品工業 グラクソ・スミスクライン	ケトチフェンマル酸塩
19	ザジテンAL鼻炎カプセル	ノバルティス ファーマ	ケトチフェンマル酸塩
20	シオノギ鼻炎顆粒	塩野義製薬	4-クロルフェニラミンマレイン酸塩 ペラドンナ総アルカロイド グリチルリチン酸ニカリウム 無水カフェイン
21	スカイナー鼻炎N	日東薬品工業 エーザイ	4-クロルフェニラミンマレイン酸塩 ペラドンナ総アルカロイド リゾチーム塩酸塩 無水カフェイン

東京都薬剤師会 東京国体対策特別委員会 2013.9.1作成

鼻炎、花粉症治療薬

ドーピング禁止物質が入っていない市販薬の例

No.	商品名	製薬会社	含有成分
22	ストナリニ・サット	佐藤製薬	4-マレイン酸クロルフェニラミン 塩酸フェニレフリン ペラドンナ総アルカロイド 塩化リゾチーム 無水カフェイン
23	ストナリニ・サット小児用	佐藤製薬	4-マレイン酸クロルフェニラミン 塩酸フェニレフリン ペラドンナ総アルカロイド
24	ストナリニフィルム	佐藤製薬	4-クロルフェニラミンマレイン酸塩 ペラドンナ総アルカロイド
25	喘妙鼻炎錠S	アスゲン製薬	クロルフェニラミンマレイン酸塩 フェニレフリン塩酸塩 ペラドンナ総アルカロイド グリチルリチン酸 無水カフェイン
26	トキワ鼻炎薬爽快	常盤薬品工業	4-クロルフェニラミンマレイン酸塩 ペラドンナ総アルカロイド 無水カフェイン
27	バイロス鼻炎顆粒	塩野義製薬	4-クロルフェニラミンマレイン酸塩 ペラドンナ総アルカロイド グリチルリチン酸ニカリウム 無水カフェイン
28	バイロン鼻炎顆粒	塩野義製薬	4-クロルフェニラミンマレイン酸塩 ペラドンナ総アルカロイド グリチルリチン酸ニカリウム 無水カフェイン
29	バブロン鼻炎カプセルZ	大正製薬	ケトチフェンマル酸塩
30	鼻炎カプセルFジSE	バイオメディクス	4-クロルフェニラミンマレイン酸塩 フェニレフリン塩酸塩 ペラドンナ総アルカロイド リゾチーム塩酸塩 無水カフェイン
31	鼻炎チュアブルM	浅田館	クロルフェニラミンマレイン酸塩 フェニレフリン塩酸塩 ペラドンナ総アルカロイド 無水カフェイン

東京都薬剤師会 東京国体対策特別委員会 2013.9.1作成

鼻炎、花粉症治療薬

ドーピング禁止物質が入っていない市販薬の例

No.	商品名	製薬会社	含有成分
32	ビエンドールタブL	小林化工 明治	4-クロルフェニラミンマレイン酸塩 フェニレフリン塩酸塩 ペラドンナ20 無水カフェイン
33	セストミン鼻炎カプセルA	小林薬品工業	塩酸フェニレフリン ペラドンナ総アルカロイド 4-マレイン酸クロルフェニラミン 塩化リゾチーム グリチルリチン酸ニカリウム 無水カフェイン
34	ヒストミン鼻炎カプセルZ	小林薬品工業	ケトチフェンマル酸塩
35	ビタケール鼻炎カプセルZ	小林薬品工業	ケトチフェンマル酸塩 1.38mg
36	ベナエス鼻炎カプセルP	第一薬品工業	リゾチーム塩酸塩 クロルフェニラミンマレイン酸塩 フェニレフリン塩酸塩 無水カフェイン グリチルリチン酸
37	ラフェルサAL鼻炎カプセルZ	共栄製薬工業	ケトチフェンマル酸塩
38	ラフェルサ鼻炎カプセル	第一薬品工業 カイン	リゾチーム塩酸塩 クロルフェニラミンマレイン酸塩 フェニレフリン塩酸塩 無水カフェイン グリチルリチン酸

東京都薬剤師会 東京国体対策特別委員会 2013.9.1作成

鼻炎、花粉症治療薬

ドーピング禁止物質が入っていない市販薬の例

◆**咳止め、痰を切る薬**（鎮咳・去痰薬）

No.	商品名	製薬会社	含有成分
1	エスエスプロン「カニュー」	エスエス製薬	ジヒドロコデインリン酸塩 リゾチーム塩酸塩 クロルフェニラミンマレイン酸塩
2	エスエスプロン液L	エスエス製薬	デキストロメトルファン臭化水素酸塩水和物 グアイフェネシン クロルフェニラミンマレイン酸塩 無水カフェイン
3	エスベナンせきどめ内服液エース	白石薬品	ジヒドロコデインリン酸塩 グアイフェネシン d-クロルフェニラミンマレイン酸塩 無水カフェイン
4	エフストリン去たん錠	大昭製薬	L-カルボキシステイン ブロムヘキシン塩酸塩
5	去痰OB錠	浅田裕	L-カルボキシステイン ブロムヘキシン塩酸塩
6	クールワン去たんソフトカプセル	杏林製薬	L-カルボキシステイン 塩酸ブロムヘキシン
7	コンタックせき止め ST	グラクソ・スミスクライン	デキストロメトルファン臭化水素酸塩水和物 ジプロピリン リゾチーム塩酸塩
8	小児用エスエスプロン液エース	エスエス製薬	ジヒドロコデインリン酸塩 グアイフェネシン クロルフェニラミンマレイン酸塩 無水カフェイン
9	新パブロンせき止め液	大正製薬	ジメチルファンリン酸塩 ブロムヘキシン塩酸塩 d-マレイン酸クロルフェニラミン リゾチーム塩酸塩 無水カフェイン
10	新ブロン液エース	エスエス製薬	ジヒドロコデインリン酸塩 グアイフェネシン クロルフェニラミンマレイン酸塩 無水カフェイン

東京都薬剤師会 東京国体対策特別委員会 2013.9.1作成

咳止め、痰を切る薬

ドーピング禁止物質が入っていない市販薬の例

No.	商品名	製薬会社	含有成分
11	新ルビカップ	日水製薬	ジヒドロコデインリン酸塩 クロルフェニラミンマレイン酸塩 リゾチーム塩酸塩
12	ストナ去たんカプセル	佐藤製薬	L-カルボキシステイン 塩酸ブロムヘキシン
13	タイムコール去たん錠	日邦薬品工業	L-カルボキシステイン ブロムヘキシン塩酸塩
14	ニッシンせき止め顆粒	日新薬品工業	デヒドロコデインリン酸塩 リゾチーム塩酸塩 d-クロルフェニラミンマレイン酸塩
15	ノドロップ コフ	高市製薬	フェノールフタリン酸デキストロメトルファン グアヤコールスルホン酸カリウム セチルピリジニウム塩化物水和物
16	エフストリントローチ	大昭製薬	デキストロメトルファンフェノールフタリン塩 塩化セチルピリジニウム
17	コデステシントローチ	大昭製薬	フェノールフタリン酸デキストロメトルファン 塩化セチルピリジニウム
18	トビックGトローチ	日新薬品工業	塩化セチルピリジニウム デキストロメトルファンフェノールフタリン塩 グアヤコールスルホン酸カリウム
19	新エスベナントローチ	日野薬品工業	ノスカピン グアヤコールスルホン酸カリウム 塩化セチルピリジニウム
20	セキトローチ	日新薬品工業	塩化セチルピリジニウム デキストロメトルファンフェノールフタリン塩 グアヤコールスルホン酸カリウム
21	タイワケシノールトローチ	日新薬品工業	塩化セチルピリジニウム デキストロメトルファンフェノールフタリン塩 グアヤコールスルホン酸カリウム
22	テラボンセキトローチ	日新薬品工業	塩化セチルピリジニウム デキストロメトルファンフェノールフタリン塩 グアヤコールスルホン酸カリウム

東京都薬剤師会 東京国体対策特別委員会 2013.9.1作成

咳止め、痰を切る薬

ドーピング禁止物質が入っていない市販薬の例

No.	商品名	製薬会社	含有成分
23	ノドコントローチS	日野薬品工業	ノスカピン グアヤコールスルホン酸カリウム 塩化セチルピリジニウム
24	のどぬーるトローチ	小林製薬	セチルピリジニウム塩化物水和物 デキストロメトルファンフェノールフタリン塩 グアヤコールスルホン酸カリウム
25	ペンザブロックトローチ	武田薬品工業	デキストロメトルファンフェノールフタリン塩 グアヤコールスルホン酸カリウム セチルピリジニウム塩化物水和物
26	リココセキトローチ	ゼネル薬品工業	セチルピリジニウム塩化物水和物 デキストロメトルファンフェノールフタリン塩 グアヤコールスルホン酸カリウム

※ 青字は、トローチ

東京都薬剤師会 東京国体対策特別委員会 2013.9.1作成

咳止め、痰を切る薬

ドーピング禁止物質が入っていない市販薬の例

◆**アレルギー治療薬**

※ じんましん、じんまひ、鼻水などの症状をおさえる薬

No.	商品名	製薬会社	含有成分
1	アゼラスチンソフトカプセルEX	ビオメディクス	アゼラスチン塩酸塩
2	アレギトール	日東薬品工業	グリチルリチン酸カリウム リン酸ピリドキサル(ビタミンB6) クロルフェニラミンマレイン酸塩
3	アレルギール錠	第一三共ヘルスケア	クロルフェニラミンマレイン酸塩 ピリドキシン塩酸塩(ビタミンB6) グリチルリチン酸カリウム グルコン酸カルシウム水和物
4	ケラスギー	ゼリア新薬工業	d-クロルフェニラミンマレイン酸塩 グリチルリチン酸ニカゲウム ピリドキシン塩酸塩(ビタミンB6)
5	スカイナーAL錠	エーザイ	アゼラスチン塩酸塩
6	スルーナル錠	アズゲン製薬	アゼラスチン塩酸塩
7	スルーロンALソフトカプセル	ビオメディクス	アゼラスチン塩酸塩
8	タミナスA錠	湧永製薬	グルコン酸カルシウム アスコルビン酸 マレイン酸クロルフェニラミン
9	ネパシー	新盛堂薬品	クロルフェニラミンマレイン酸塩
10	パートス錠	ゼネル薬工粉河	クロルフェニラミンマレイン酸塩 リボフラビン醗酵エステル(ビタミンB2) ピリドキシン塩酸塩(ビタミンB6) グリチルリチン酸ニカゲウム
11	ハイガード	エーザイ	アゼラスチン塩酸塩
12	ビルケ	ジェービーエス製薬	グリチルリチン酸ジフェンヒドラミン リボフラビン ピリドキシン塩酸塩 ニコチン酸アミド
13	ピロットA錠	全業工業	メキタジン リボフラビン ピリドキシン塩酸塩 ニコチン酸アミド
14	プラタギン	三宝製薬	クロルフェニラミンマレイン酸塩 グリチルリチン酸ニカゲウム グルコン酸カルシウム水和物

東京都薬剤師会 東京国体対策特別委員会 2013.9.1作成

アレルギー治療薬

ドーピング禁止物質が入っていない市販薬の例

No.	商品名	製薬会社	含有成分
15	プラタギンAZ	ピオメディクス	アゼラスチン塩酸塩
16	ペリー錠	小林薬品工業	マレイン酸ワロルフェニラミン グリチルリチン酸ニカゲウム リボフラビン 塩酸ピリドキシン ニコチン酸アミド グルコン酸カルシウム
17	ボジナルM錠	廣昌堂	メキタジン
18	ボレガード	アスゲン製薬	アゼラスチン塩酸塩 2mg
19	リリース錠	アルフレッサファーマ	メキタジン
20	ルキナガード	新日本薬業	アゼラスチン塩酸塩
21	ルキノ錠AZ	小林薬品工業	アゼラスチン塩酸塩
22	レスタミンUコーワ錠	興和	ジフェンヒドรามミン塩酸塩 グリチルリチン酸ニカゲウム リボフラビン(ビタミンB2) ピリドキシン塩酸塩(ビタミンB6) オロチン酸
23	レスタミンコーワ糖衣錠	興和	ジフェンヒドรามミン塩酸塩

東京都薬剤師会 東京国体対策特別委員会 2013.9.1作成

アレルギー治療薬

ドーピング禁止物質が入っていない市販薬の例

◆ 胃酸の過剰による症状(胸やけ、むかつき、胃痛、もたれなど)を改善する薬

No.	商品名	製薬会社	含有成分
1	アシノンZ	ゼリア新薬工業	ニゲチジン
2	アシノンZ胃腸内服液	ゼリア新薬工業	ニゲチジン
3	アシノンZ錠	ゼリア新薬工業	ニゲチジン
4	アリロンZ	大正製薬	ラニチジン塩酸塩 ゲイ酸アルミン酸マグネシウム 酸化マグネシウム 水酸化アルミナマグネシウム
5	アルサメック錠	佐藤製薬	シメチジン
6	ガスター10	第一三共ヘルスケア	ファモチジン
7	ガスター10 S錠	第一三共ヘルスケア	ファモチジン
8	ガスター10(散)	第一三共ヘルスケア	ファモチジン
9	ガスター10 内服液	第一三共ヘルスケア	ファモチジン
10	ガストック10	キョーリンメディオ	ファモチジン
11	ニチプロック10	新新薬品工業	ファモチジン
12	ベッセンH2	新新薬品工業	ファモチジン
13	イノセアワンブロック	あすか製薬	ロキサチジン酢酸エステル塩酸塩

東京都薬剤師会 東京国体対策特別委員会 2013.9.1作成

ドーピング禁止物質が入っていない市販薬の例

◆ 制酸薬

No.	商品名	製薬会社	含有成分
1	太田胃散チュアブルNEO	明治薬品	水酸化マグネシウム 炭酸マグネシウム 沈降炭酸カルシウム ジメチルポリシロキサン
2	太田胃散チュアブル	太田胃散	合成ヒドラルサイト 水酸化マグネシウム グリチルリチン酸
3	スイマザ	三保製薬研究所	水酸化マグネシウム
4	ストマクールA細粒	ゼリア新薬工業	合成ヒドラルサイト 水酸化マグネシウム アズレンスルホン酸ナトリウム アルジオキサ レグルタミン
5	ミルマダ液	エムジーファーマ	水酸化マグネシウム
6	イスキット	ダイト	合成ヒドラルサイト 水酸化マグネシウム アズレンスルホン酸ナトリウム アルジオキサ レグルタミン
7	ダラマックSP	新新薬品工業	合成ヒドラルサイト グリシン

東京都薬剤師会 東京国体対策特別委員会 2013.9.1作成

ドーピング禁止物質が入っていない市販薬の例

◆ 胃薬

No.	商品名	製薬会社	含有成分
1	イノバM1錠	小林薬品工業	ビレンゼピン塩酸塩水和物 炭酸水素ナトリウム メタケイ酸アルミン酸マグネシウム ピオアスターゼ2000
2	エスナールM1錠	小林薬品工業	ビレンゼピン塩酸塩水和物 炭酸水素ナトリウム メタケイ酸アルミン酸マグネシウム ピオアスターゼ2000
3	ガストール細粒	エスエス製薬	ビレンゼピン塩酸塩水和物 炭酸水素ナトリウム メタケイ酸アルミン酸マグネシウム ピオアスターゼ2000
4	ガストール錠	エスエス製薬	ビレンゼピン塩酸塩水和物 炭酸水素ナトリウム メタケイ酸アルミン酸マグネシウム ピオアスターゼ2000
5	コンヂーム錠	日東薬品工業	乾燥酵母 コンヂーム(ビール酵母) ジアスターゼ ラクトミン リン酸水素カルシウム水和物 チアミン塩化物塩酸塩 リボフラビン
6	ミネ消化整腸薬錠	常盤薬品工業	ピオアスターゼ2000 プロザイム6 リパーゼAP6 ラクトミン ウルソデオキシコール酸 チアミンジスルフィド リボフラビン 塩酸ピリドキシン
7	顆粒わかもと	わかもと製薬	アスベルギルス・オリゼーNK菌培養末 乳酸菌培養末 乾燥酵母(ビール酵母) チアミン塩化物(ビタミンB1) リボフラビン(ビタミンB2) ニコチン酸アミド

東京都薬剤師会 東京国体対策特別委員会 2013.9.1作成

胃薬

ドーピング禁止物質が入っていない市販薬の例

No.	商品名	製薬会社	含有成分
8	チュアブルグリーン	内外薬品	アルジオキサ 合成ヒドロタルサイト 炭酸マグネシウム
9	強力わかもと	わかもと製薬	アスベルギルス・オリゼーNK菌培養末 乳酸菌培養末 乾燥酵母(ビール酵母) チアミン硝化物(ビタミンB1) リボフラビン(ビタミンB2) ニコチン酸アミド
10	グロンターゼ錠	大生堂薬品工業	ジアスターゼ バンクレアチン ラクトミン チアミン塩化物塩酸塩
11	新タントーゼ錠L	テイカ製薬	ウルソデオキシコール酸 有胞子性乳酸菌
12	新タントゼミン錠	テイカ製薬	ウルソデオキシコール酸 有胞子性乳酸菌
13	新オターゼ	米田薬品	ビオチン ニューラーゼ リパーゼAP6 ラクトミン(ストレプトコッカス・フェカリス菌) リボフラビン(ビタミンB2)
14	ミノトサン錠	大生堂薬品工業	ジアスターゼ バンクレアチン ラクトミン チアミン塩化物塩酸塩
15	ミヤリサンU錠	ミヤリサン製薬	宮入菌(酪酸菌)末 ウルソデオキシコール酸
16	ミヤリサン-W	ミヤリサン製薬	宮入菌(酪酸菌)末 バンクレアチン セルラーゼAP3 ジアスマンSS ポリパーゼ1000
17	トルクミン	日水製薬	ビオチン ラクトミン ビオチン ニコチン酸アミド ビオチン

東京都薬剤師会 東京国体対策特別委員会 2013.9.1作成

胃薬

ドーピング禁止物質が入っていない市販薬の例

◆ 消化薬

No.	商品名	製薬会社	含有成分
1	わかもと消化薬	わかもと製薬	ビオチン ニューラーゼ ウルソデオキシコール酸

◆ 整腸剤

No.	商品名	製薬会社	含有成分
1	イストロン整腸錠	京都薬品ヘルスケア	ビオチン コンクビオゼニン ビオチン ニコチン酸アミド ニコチン酸アミド ビオチン 無水リン酸水素カルシウム
2	ガスビタンa	小林製薬	ラクトミン(フェカリス菌) ラクトミン(アシドフィルス菌) ビオチン セルラーゼAP3 ジメチルポリシロキサン
3	新アベート整腸薬	麻耶堂製薬	ビオチン コンクビオゼニン ビオチン ニコチン酸アミド ニコチン酸アミド ビオチン 無水リン酸水素カルシウム
4	新笹岡整腸薬M	麻耶堂製薬	ビオチン コンクビオゼニン ビオチン ニコチン酸アミド ニコチン酸アミド ビオチン 無水リン酸水素カルシウム

東京都薬剤師会 東京国体対策特別委員会 2013.9.1作成

整腸薬

ドーピング禁止物質が入っていない市販薬の例

No.	商品名	製薬会社	含有成分
5	新ミヤリサンアイジ整腸薬	ミヤリサン製薬	宮入菌(酪酸菌)末 リボフラビン ピリドキシン塩酸塩
6	パンシロンN10	ロート製薬	ラクトミン(アシドフィルス菌) ビオチン ラクトミン(フェカリス菌) 糖化菌(納豆菌) アミロリンゼン5 サンブローゼF セルロシンA.P.
7	パンラクミンプラス	第一三共ヘルスケア	有胞子性乳酸菌(ラクボン原末) 納豆菌末 沈降炭酸カルシウム
8	ビオフェルミンVC	ビオフェルミン製薬	ビオチン ラクトミン アスコルビン酸 リボフラビン ピリドキシン塩酸塩
9	ファスコン整腸錠	京都薬品ヘルスケア	ビオチン コンクビオゼニン ニコチン酸アミド ニコチン酸アミド ニコチン酸アミド ニコチン酸アミド 無水リン酸水素カルシウム
10	フェカルミンゴールド錠	エーバス・ジャパン	酪酸菌末 ラクトミン(乳酸菌) ビオチン 納豆菌末 ピリドキシン塩酸塩
11	ラクティブプラス	麻耶堂製薬	ビオチン コンクビオゼニン ニコチン酸アミド ニコチン酸アミド ニコチン酸アミド ニコチン酸アミド ニコチン酸アミド 無水リン酸水素カルシウム

東京都薬剤師会 東京国体対策特別委員会 2013.9.1作成

整腸薬

ドーピング禁止物質が入っていない市販薬の例

No.	商品名	製薬会社	含有成分
12	わかもと整腸薬 ビナチュラ	わかもと製薬	ラクトミン ビオチン ジメチルポリシロキサン アスコルビン酸(ビタミンC) ピリドキシン塩酸塩(ビタミンB6)
13	強ミヤリサン(錠)	ミヤリサン製薬	宮入菌(酪酸菌)末
14	新ビオフェルミンS細粒	ビオフェルミン製薬	コンク・ビオチン末 コンク・フェカリス菌末 コンク・アシドフィルス菌末
15	新ビオフェルミンS錠	ビオフェルミン製薬	コンク・ビオチン末 コンク・フェカリス菌末 コンク・アシドフィルス菌末
16	新ラクトーンA	ザビフードアンドヘルスケア	ビオチン ラクトミン(フェカリス菌) ラクトミン(アシドフィルス菌) 乾燥酵母 チアミン硝化物 リボフラビン
17	フェカルミンSリーE顆粒「分包」	日東薬品工業	納豆菌末 乳酸菌末 酪酸菌末
18	フェカルミンSリーE顆粒	日東薬品工業	納豆菌末 乳酸菌末 酪酸菌末
19	ミヤリサンA	ミヤリサン製薬	宮入菌(酪酸菌)末
20	ミヤリサンアイジA	ミヤリサン製薬	宮入菌(酪酸菌)末 パントテン酸カルシウム リボフラビン 塩酸ピリドキシン
21	ミヤリサン(錠)	ミヤリサン製薬	宮入菌(酪酸菌)末
22	わかもと整腸薬	わかもと製薬	ビオチン ラクトミン

東京都薬剤師会 東京国体対策特別委員会 2013.9.1作成

整腸薬

ドーピング禁止物質が入っていない市販薬の例

◆ 胃痛を鎮める薬

No.	商品名	製薬会社	含有成分
1	イノキュアS	小林薬品工業	ブチルスコポラミン臭化物 メタケイ酸アルミン酸マグネシウム
2	コランヂルA顆粒	塩野義製薬	ジサイクロミン塩酸塩 乾燥水酸化アルミニウムゲル 酸化マグネシウム
3	サグロンQ	エーザイ	オキセサゼイン
4	ストマof腸衣錠	ゼリア新薬	ブチルスコポラミン臭化物
5	ナルコリン「カプセル」	佐藤製薬	臭化水素酸スコポラミン 塩酸/リパリン アミ/安息香酸エチル
6	ブスコリンA錠	エスエス製薬	ブチルスコポラミン臭化物
7	ブスコリンMカプセル	エスエス製薬	ブチルスコポラミン臭化物 メタケイ酸アルミン酸マグネシウム
8	ブスコリンS	小林薬品工業	ブチルスコポラミン臭化物
9	ブチスコミン	佐藤製薬	臭化ブチルスコポラミン
10	マジンAグリーン	ザンヘルスクア	ヨウ化イソプロパミド 重質酸化マグネシウム ケイ酸マグネシウム 乾燥水酸化アルミニウムゲル
11	ロミン3宝o2	三宝製薬	オキセサゼイン
12	ストリン(第1類医薬品)	大正製薬	チキナム臭化物

◆ 下痢止め

No.	商品名	製薬会社	含有成分
1	イストロン 下痢止め	前田薬品工業	ロペラミド塩酸塩 ペルペリン塩化物水和物 アクリノール水和物
2	イソック下痢止め	湧永製薬	塩酸ロペラミド
3	ガロヘン下痢止めLP	米田薬品	ロペラミド塩酸塩 ペルペリン塩化物 ジオキサスターゼ2000 チアミン硝化物(ビタミンB1) リボフラビン(ビタミンB2)

東京都薬剤師会 東京国体対策特別委員会 2013.9.1作成

下痢止め

ドーピング禁止物質が入っていない市販薬の例

No.	商品名	製薬会社	含有成分
4	グアベリン錠	松本製薬工業	塩化ペルペリン アクリノール タンニン酸アルブミン
5	シグナル下痢止め	エスエス製薬	塩酸ロペラミド
6	新ワカ末A錠	クラシエ製薬	ペルペリン塩化物水和物 チアミン硝化物 ジオキサスターゼS
7	スメクタタミシン	佐藤製薬	天然ケイ酸アルミニウム ロペラミド塩酸塩
8	ゼロシャット 下痢止め	前田薬品工業	ペルペリン塩化物水和物 アクリノール水和物 タンニン酸ペルペリン ジオキサスターゼ2000
9	大正下痢止め(小児用)	大正製薬	タンニン酸アルブミン チアミン硝化物 リボフラビン
10	ガルテノンS錠	日邦薬品工業	ペルペリン塩化物水和物 ヒドロコロール酸
11	ガルテノン 下痢止め	日邦薬品工業	ロペラミド塩酸塩 ペルペリン塩化物水和物 アクリノール水和物
12	トメダインコーワフィルム	興和	ロペラミド塩酸塩
13	ビタリット	大正製薬	塩酸ロペラミド ペルペリン塩化物水和物 ジオキサスターゼ2000 チアミン硝化物(ビタミンB1) リボフラビン(ビタミンB2)
14	ファスコ 下痢止め	前田薬品工業	ロペラミド塩酸塩 ペルペリン塩化物水和物 アクリノール水和物
15	ベロット下痢止め	ゼリア新薬工業	塩酸ロペラミド
16	ラフルサ下痢止めLP	米田薬品	ロペラミド塩酸塩 ペルペリン塩化物 ジオキサスターゼ2000 チアミン硝化物(ビタミンB1) リボフラビン(ビタミンB2)
17	ロペラマックス	佐藤製薬	塩酸ロペラミド

東京都薬剤師会 東京国体対策特別委員会 2013.9.1作成

下痢止め

ドーピング禁止物質が入っていない市販薬の例

◆ 下剤

No.	商品名	製薬会社	含有成分
1	ウエストンピセラ	小林薬品工業	ビスコジル センノシド 有胞子性乳酸菌
2	カイベールC	アラス	ビスコジル センノサイド
3	サトラックス・チョコタブ	佐藤製薬	センノシドカルシウム
4	新ピオミットS	三宝製薬	ビスコジル センノシド ジオクチルゾジウムスルホサキシネート 有胞子性乳酸菌 デヒドロコロール酸
5	スルーラックBB	エスエス製薬	ビスコジル センノシドカルシウム リボフラビン ピリドキシン塩酸塩
6	スルーラックS	エスエス製薬	ビスコジル センノサイドカルシウム
7	スルーラックプラス	エスエス製薬	ビスコジル センノサイドカルシウム ジオクチルゾジウムスルホサキシネート
8	スルーリー	至誠堂製薬	ビスコジル センノシド
9	ピオミットS	三宝製薬	ビスコジル カサンスラノール ジオクチルゾジウムスルホサキシネート デヒドロコロール酸
10	ピフィーナ便秘薬	森下仁丹	センノシドカルシウム ピラジスル
11	ラウトールS	至誠堂製薬	ビスコジル センノシド
12	ウエストンピンク	小林薬品工業	ビスコジル 有胞子性乳酸菌
13	カイラックス	日新薬品工業	ビスコジル
14	キットラックス	日新薬品工業	ビスコジル

東京都薬剤師会 東京国体対策特別委員会 2013.9.1作成

下剤

ドーピング禁止物質が入っていない市販薬の例

No.	商品名	製薬会社	含有成分
15	キューラック	本草製薬	ビスコジル
16	コーラック	大正製薬	ビスコジル
17	コーラックII	大正製薬	ビスコジル
18	コーラックソフト	大正製薬	ビスコジル ジオクチルゾジウムスルホサキシネート
19	コーラックファースト	大正製薬	ビスコジル ジオクチルゾジウムスルホサキシネート
20	サトラックスエース	佐藤製薬	ビスコジル ジオクチルゾジウムスルホサキシネート
21	ザワラック	日新薬品工業	ビスコジル
22	シルビアピンク	小林薬品工業	ビスコジル 有胞子性乳酸菌
23	スラット	救心製薬	ビスコジル
24	センサン	米田薬品	ビスコジル
25	ドクソウガンミン	山崎帝國堂	ビスコジル
26	ニューラック	本草製薬	ビスコジル
27	ハイロスラック	米田薬品	ビスコジル
28	ハミン	堀井薬品工業	ビスコジル
29	ピオフェルミン便秘薬	ピオフェルミン製薬	ビスコジル ジオクチルゾジウムスルホサキシネート ラクトミン(乳酸菌)
30	ピオミット・ミニ	三宝製薬	ビスコジル
31	ピサスルー	日新薬品工業	ビスコジル
32	ピュースルー	皇漢堂製薬	ビスコジル
33	ピュースルー・ソフト	皇漢堂製薬	ビスコジル ジオクチルゾジウムスルホサキシネート
34	ピュースルー	皇漢堂製薬	ビスコジル
35	ピュースルーA	皇漢堂製薬	ビスコジル
36	ピュースルー・ソフト	皇漢堂製薬	ビスコジル ジオクチルゾジウムスルホサキシネート
37	ピョラックス	佐藤製薬	ビスコジル ジオクチルゾジウムスルホサキシネート
38	ペルリーナ	山崎帝國堂	ビスコジル
39	ラキスリン	福地製薬	ビスコジル
40	ラビルP	ゼネラル薬工伊都	ビスコジル
41	ロストルミン	米田薬品	ビスコジル
42	ロスラック	米田薬品	ビスコジル
43	コーラルスルー	大和製薬	ビスコジル

東京都薬剤師会 東京国体対策特別委員会 2013.9.1作成

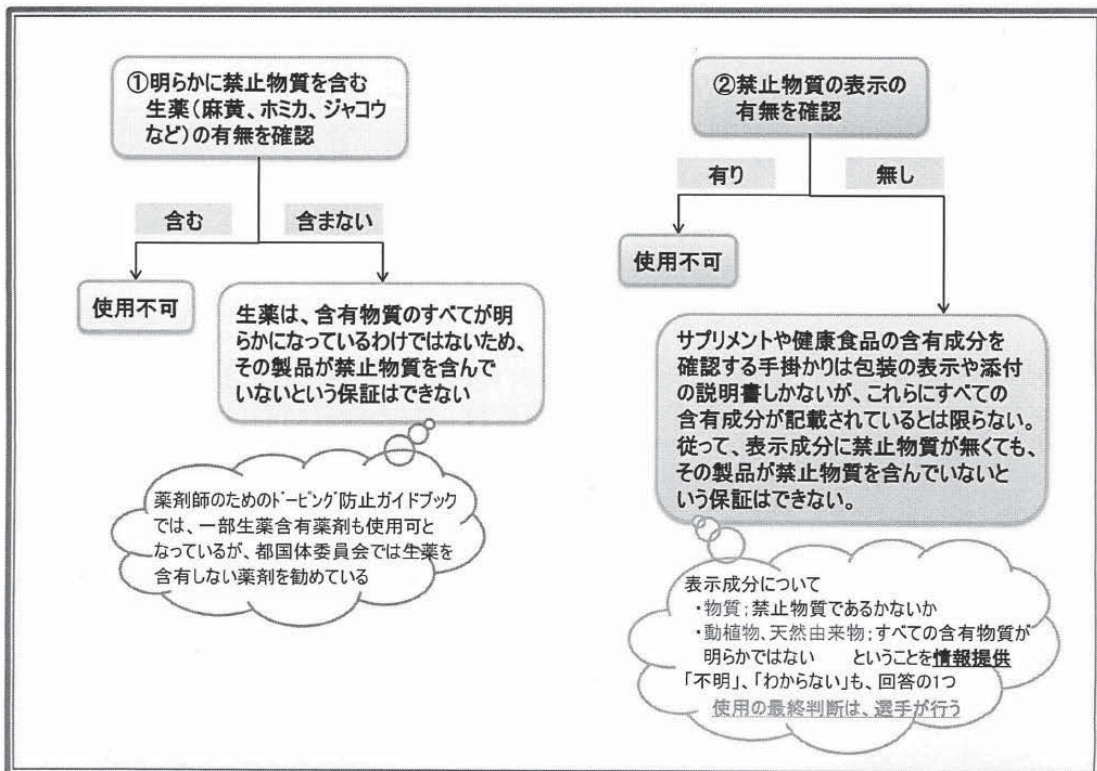
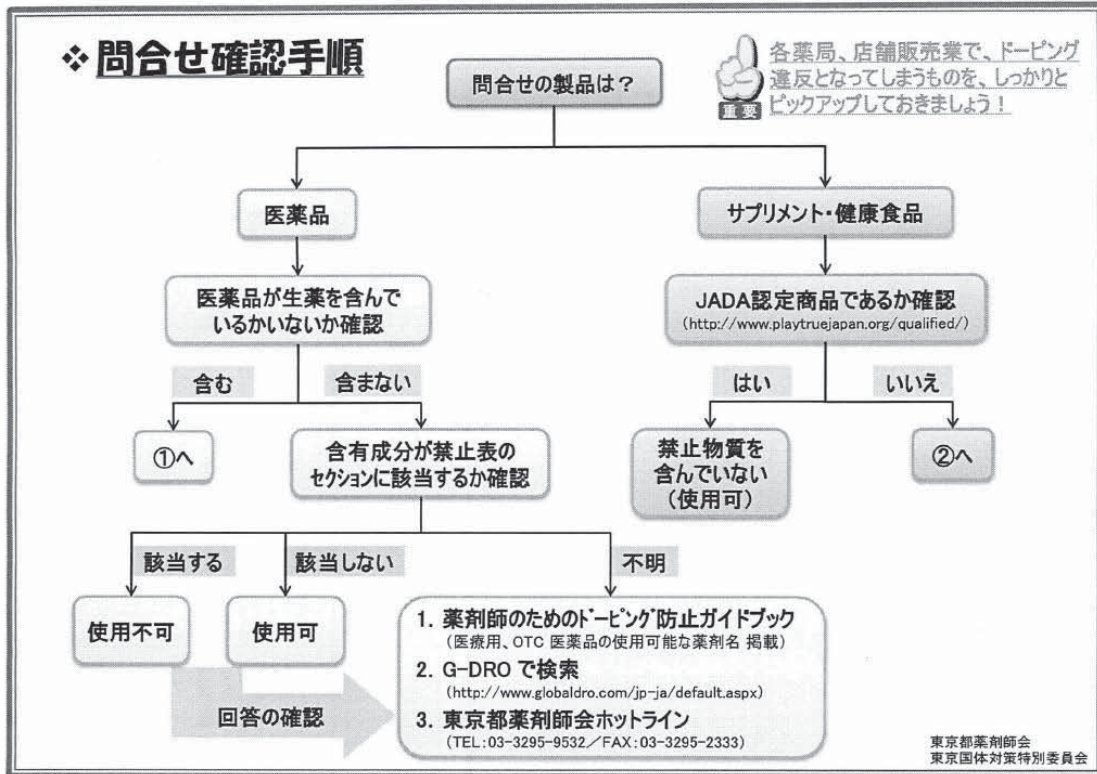
下剤

ドーピング禁止物質が入っていない市販薬の例

No.	商品名	製薬会社	含有成分
44	アクアナチュラル便秘薬	佐藤薬品工業	酸化マグネシウム
45	ウエストナチュラル	小林薬品工業	酸化マグネシウム
46	スイマグ	三保製薬研究所	水酸化マグネシウム
47	スラーリア便秘内服液	ロート製薬	硫酸マグネシウム 塩酸ピリドキシン
48	スラーリア便秘薬	ロート製薬	酸化マグネシウム
49	スルーシア	佐藤薬品工業	酸化マグネシウム
50	マリンマグ	三保製薬研究所	酸化マグネシウム トメントール
51	マリンマグ・エース	三保製薬研究所	水酸化マグネシウム トメントール
52	ミルマグ液	エムジーファーマ	水酸化マグネシウム
53	ミルマグ内服液	エムジーファーマ	硫酸マグネシウム水和物
54	アストルベン錠	佐藤薬品工業	酸化マグネシウム
55	3Aアクアマグ	佐藤薬品工業	酸化マグネシウム
56	3Aマグネシア	佐藤薬品工業	酸化マグネシウム

2-8-2 問合せ確認手順の掲載

はじめて問合せを受ける場合であっても、誰もがスムーズに対応できるようにワークフローを作成して、対応手順を分かりやすく示した。



2-9 第68回国民体育大会競技別リハーサル大会への協力

都内各所において様々な競技が実施される中、委員会委員が所属する地区で実施されたリハーサル大会に委員が参加し、うっかりドーピング防止や熱中症予防のための活動を行った。

第68回国民体育大会競技別リハーサル大会一覧表(日程順)

月	予定競技期間	競技種目	名	区	市	町	村	競技会場	大会名	備考
平成24年										
4月	15日(日)	ラグビーフットボール			武蔵野市			武蔵野市立武蔵野陸上競技場	第28回関東大学ラグビーフットボール連盟 SEVEN A SIDE Aブロック大会	
5月	26日(土)~27日(日)	なぎなた			港区			港区スポーツセンター	第53回都道府県対抗なぎなた大会	
6月	8日(土)~10日(日)	弓道			小金井市			東京都立小金井公園弓道場	第59回全日本勤労者弓道選手権大会	
13日(金)		ゴルフ			八王子市			武蔵野ゴルフクラブ	第67回国民体育大会関東ブロック大会 ゴルフ競技	
14日(土)~15日(日)		(公)ビーチバレー			神津島村			前浜海岸競技場	JBVサテライト神津島大会	
15日(日)		カヌー	スプリント		大田区			京浜運河特設カヌー競技場	第67回国民体育大会関東ブロック大会 カヌースプリント競技	
15日(日)		アーチェリー			三鷹市			三鷹市大沢総合グラウンド特設会場	東京多摩CUPアーチェリー大会	
20日(金)~22日(日)		テニス			世田谷区			世田谷区立総合運動場庭球場	第38回全日本都市対抗テニス大会	
21日(土)~22日(日)		ボート			江戸川区			荒川(平井運動公園船着場)	第67回国民体育大会関東ブロック大会 ボート競技	
28日(土)~29日(日)		ソフトテニス			世田谷区			世田谷区立総合運動場庭球場	平成24年度全日本実業団ソフトテニス選手権大会(男子第57回・女子第56回)	
10日(金)~13日(月)		ハンドボール			新宿区			新宿区立新宿スポーツセンター	第17回ジャパンオープンハンドボールトーナメント	
					墨田区			墨田区総合体育館		
					品川区			品川区立総合体育館		
					武蔵村山市			武蔵村山市総合体育館		
					多摩市			多摩市立総合体育館		
11日(土)~14日(火)		バスケットボール			立川市			立川市市民体育館	第50回男子・第42回女子全日本教員バスケットボール選手権大会	
					武蔵野市			武蔵野市立武蔵野総合体育館		
					小金井市			小金井市総合体育館		
					東村山市			東村山市民スポーツセンター		
					西東京市			西東京市総合体育館		
12日(日)		水泳	シクロ		江東区			東京辰巳国際水泳場	日本シクロチャレンジカップ2012	
18日(土)		剣道			足立区			東京武道館	第67回国民体育大会関東ブロック大会 剣道競技	
19日(日)		柔道			足立区			東京武道館	第67回国民体育大会関東ブロック大会 柔道競技	
18日(土)~19日(日)		柔術			日野市			日野市民の森ふれあいホール	第43回関東空手道選手権大会	
19日(日)		銃剣道			練馬区			練馬区立総合体育館	第67回国民体育大会関東ブロック大会 銃剣道競技	
24日(金)~26日(日)		ラグビーフットボール			江戸川区			江戸川区陸上競技場	第67回国民体育大会関東ブロック大会 ラグビーフットボール競技(少年男子)	
					江戸川区			江戸川区陸上競技場		
25日(土)~26日(日)		バレーボール			立川市			立川市市民体育館	第67回国民体育大会関東ブロック大会 バレーボール競技	
					町田市			町田市立総合体育館		
					小平市			小平市民総合体育館		
					国分寺市			国分寺市民スポーツセンター		
					給田市			給田市市民総合体育館		
25日(土)		軟式野球			八王子市			八王子市民球場	第67回国民体育大会関東ブロック大会 軟式野球競技	
					昭島市			昭島市民球場		
					府中市			府中市市民球場		
					稲城市			稲城中央公園野球場		
					三宅村			三宅島特設コース		火の山からの挑戦状トライアスロン大会in三宅島2012
27日(月)~29日(水)		体操	新体技		八王子市			東京工科大学・日本工学院八王子専門学校体育館	第67回国民体育大会関東ブロック大会 体操競技	
2日(日)		相撲			大島町			東京都立大島高等学校体育館特設相撲場	第51回全国教職員相撲選手権大会	
7日(金)~8日(土)		トラック			立川市			立川競輪場	第47回全国都道府県対抗自転車競技大会	
9日(日)		自転車ロード			八王子市			特設ロードレースコース		
					あきる野市			種原村		
9日(日)					奥多摩町			特設ロードレースコース		
9日(日)		ライフル射撃	C	P	江東区			豊洲序前射撃センター	平成24年度全国センターファイアーストリング射撃大会	
7日(金)~9日(日)			C	P以外	埼玉県東部射撃会			埼玉県東部射撃会射撃場	平成24年度全日本社会人ライフル射撃競技選手権大会	
15日(土)~19日(水)		ホッケー			日野市			日野市民陸上競技場	2012年度全日本社会人ホッケー選手権大会	
15日(土)~17日(月・祝)		セーリング			江東区			若洲海浜公園ヨット訓練所	廣松宮記念杯第58回全日本実業団ヨット選手権大会	
					三鷹市			三鷹市大沢総合グラウンド	第14回全日本セーリングスプリング級選手権大会	
					三鷹市			三鷹市大沢総合グラウンド	2012年全日本セーリング選手権大会	
21日(金)~23日(日)		ソフトボール			福生市			福生市富福生野球場	第64回全日本総合女子ソフトボール選手権大会	
					あきる野市			あきる野市民球場		
					瑞穂町			(仮称)瑞穂町長岡いこいの広場		
22日(土)~23日(日)		(公)ビーチバレー			新島村			新島スポーツ広場	JBVサテライト新島大会	
13日(土)~17日(水)		サッカー			文京区			小石川運動場	第48回全国社会人サッカー選手権大会	
					北区			西が丘サッカー場		
					八王子市			八王子上杉米公園陸上競技場		
					三鷹市			三鷹市大沢総合グラウンド		
					府中市			朝日サッカー場		
					調布市			味の美スタジアム		
					町田市			駒沢オリンピック公園総合運動場陸上競技場(世田谷区)		
					清瀬市			清瀬市立下宿第三運動公園サッカー場		
					多摩市			多摩市立陸上競技場		
					府中市			府中市立総合体育館		平成24年度全日本卓球選手権大会(団体の部)
20日(土)~21日(日)		カヌー	スラローム		青梅市			御岳渓谷特設カヌー競技場	第3回青梅市長杯カヌー・スラローム・ワイルドウォーター競技大会	
2日(金)~4日(日)		ボウリング			東大和市			BIGBOX東大和	内閣総理大臣杯・文部科学大臣杯等第41回全国都道府県対抗ボウリング選手権大会	
10日(土)~11日(日)		レスリング			文京区			文京スポーツセンター	第38回内閣総理大臣杯平成24年度全日本大学レスリング選手権大会	
22日(木)~25日(日)		ボクシング			日野市			日野市民の森ふれあいホール	第82回全日本ボクシング選手権大会	
23日(金・祝)~25日(日)		ウエイトリフティング			国立市			くにたち市民総合体育館	内閣総理大臣杯第49回全日本社会人ウエイトリフティング選手権大会	
23日(金・祝)~25日(日)					くにたち市民芸術ホール			くにたち市民芸術ホール	レディースカップ第4回全日本女子選抜ウエイトリフティング選手権大会	
23日(金・祝)~25日(日)		パドミントン			町田市			町田市立総合体育館	パドミントン日本リーグ2012 2部 町田大会	
12月	14日(金)~16日(日)	フェンシング			台東区			台東リバーサイドスポーツセンター体育館	第65回全日本フェンシング選手権大会(団体戦)	
平成25年										
6月	1日(土)~2日(日)	山岳	リード		東久留米市			東久留米市スポーツセンター屋外特設会場	第27回リード・ジャンパーカップ東京大会【第68回国民体育大会山岳競技リハーサル大会】	
			ボルダリング		東久留米市			東久留米市スポーツセンター屋外特設会場		

※1 正式競技の陸上競技、馬術、クレ-射撃については未定

※2 (公)は公開競技

第13回全国障害者スポーツ大会競技別リハーサル大会

月	予定競技期間	競技種目	名	区	市	町	村	競技会場	大会名	備考
平成24年										
11月	18日(日)	水泳			江東区			東京辰巳国際水泳場	第13回全国障害者スポーツ大会水泳競技リハーサル大会	

※ 水泳以外の正式競技については、平成25年に開催します。

3. 他団体との連携

3-1 東京都との連携

3-1-1 東京都スポーツ振興局スポーツ祭東京推進部との連携

- 2008年12月18日 第1回宿泊衛生・医事委員会出席（都庁）
うっかりドーピングについて説明
- 2009年9月30日 第2回宿泊衛生・医事委員会出席（都庁）
薬剤師のためのドーピング防止ガイドブック 2010年版配布、説明
- 2010年2月15日 第1回医事専門委員会出席（都庁）
第68回国民体育大会・第13回全国障害者スポーツ大会医療救護要項について審議
- 2011年7月5日 第2回医事専門委員会出席（都庁）
第68回国民体育大会・第13回全国障害者スポーツ大会医療救護実施要領並びに第68回国民体育大会会場地区市町村実行委員会が行う医療救護に係る留意事項について審議
- 2011年12月12日 第3回医事専門委員会出席（都庁）
第68回国民体育大会・第13回全国障害者スポーツ大会医療救護実施要領並びに第68回国民体育大会会場地区市町村実行委員会が行う医療救護に係る留意事項について審議
- 2012年7月3日 冬季国体開催に関する打ち合わせ（都薬会館）
救護所医薬品選定等についてアドバイス
- 2013年3月8日 本大会に関する打ち合わせ（都薬会館）
「宿泊・医療救護のしおり」へのドーピング防止ホットライン等の掲載

救護所医薬品選定		
1. 救護所		
医薬品		
	販売名	販売会社名
解熱鎮痛剤	バファリンA 小児用バファリンCII	ライオン ライオン
総合胃腸薬	バンシロンG	ロート製薬
整腸薬	ピオフェルミン止瀉薬 セイロガン糖衣A	武田薬品 大幸薬品
皮膚外用薬	オキシドール	健栄製薬
消炎薬	エアースロンパスEX のびのびサロンシップα ムヒソフトGX	久光製薬 久光製薬 池田模範堂
器材 ※参考として		
救急箱	絆創膏	水
ディスボビンセット	滅菌ガーゼ	コールドスプレー
はさみ	綿棒	アルコール消毒液
ビニールグローブ	弾力包帯	紙コップ
ザージカルマスク	三角巾	ポリ袋
電子体温計	ソフトシーネ	ミネラルウォーター
血圧計(医師持参希望)	オブサイト	ベット
聴診器(医師持参希望)	テーピングテープ	衣類かご
タオル		担架 車椅子 AED
2. 移動救護班		
医薬品		
	販売名	販売会社名
皮膚外用薬	オキシドール	健栄製薬
消炎薬	のびのびサロンシップ	久光製薬
器材 ※参考として		
	絆創膏	
	滅菌ガーゼ	

3-1-2 東京都福祉保健局との連携(助成・補助)

○2009年～

2006年より「薬剤師のためのドーピング防止ガイドブック」の会員への配布を開始。2009年より東京都の助成を受ける(ガイドブック配布、講習会開催)

○2011年2月、2011年11月、2012年11月、2014年3月

「ドーピング防止活動地区薬剤師会(支部)指導者講習会」の開催

○2012年6月～

第1回地区薬剤師研修会にて「ドーピング防止ガイドブック」の使い方を説明

○2012年10月～

第2回地区薬剤師研修会にて「東京国体でのドーピング防止活動」について説明

○2013年8月

ドーピング防止啓発ツールの一部、使用可能薬リスト等の作成
ドーピング防止ホットライン開設

3-2 東京都医師会との連携

○2008年12月～

国体医事委員会においてうっかりドーピングについて情報提供

○2013年7月

都医師会会員数分約10,300冊の「薬剤師のためのドーピング防止ガイドブック」を無償提供し、活用を依頼
ドーピング防止活動における協力を依頼

3-3 東京都歯科医師会との連携

○2008年12月～

国体医事委員会においてうっかりドーピングについて情報提供

○2013年7月

ドーピング防止活動における協力を依頼

○2013年9月

「歯科医師のためのドーピング防止ガイド2013」を提供、活用を依頼

歯科医師のためのドーピング防止ガイド

前年の岐阜国体で作成されたものを基準として、よりわかりやすい内容へと追加変更を行った。A3サイズを二つ折りして全4ページ内で納まるように作成した。

歯科医師のためのドーピング防止ガイド 2013

東京都薬剤師会 東京国体対策特別委員会

ドーピングとは、競技力向上や禁止物質使用の隠蔽を目的として、医薬品などを不正に用いることです。わが国でのドーピング防止規則違反の多くは、通常の治療行為や市販薬の服用により「うっかり」ドーピング禁止薬を使用し処分されるもので、適切な情報が提供されていれば違反となることを防ぐことができたと考えられます。

歯科で用いられる医薬品で禁止薬とされるものはわずかですが、国体選手等が治療を受けに来院された場合に、使用可能かどうかの判断の参考になるように、歯科関連医薬品についてドーピングに関する情報をまとめました。ご活用いただければ幸いです。

§ 禁止薬物と禁止方法

ドーピングについては、世界アンチ・ドーピング機構（WADA）が禁止表を作成・公表しており、その禁止表は毎年更新されます。国内では、日本アンチ・ドーピング機構（JADA）ホームページ（<http://www.playtruejapan.org/>）で関係資料を見ることができます。

禁止表に掲載されている物質はもちろん使用できませんが、禁止表に成分名の掲載が無くても禁止物質と構造や効果が類似する場合、禁止対象となることがあります。スポーツ選手に医薬品を使用される場合は常にご確認をお願いします。ただし、禁止薬であっても、治療上必要な場合は事前に申請（TUE）し、承認されれば使用することができます。TUEの詳細については、2013年医師のためのTUE申請ガイドブックをご参照ください。

（<http://www.realchampion.jp/assets/uploads/2013/04/TUEguidebook2013.pdf>）

■主な禁止薬：

蛋白同化薬

蛋白同化男性化ホルモンやその類似物質は、筋肉増強作用、またその副作用により健康に障害を生じるため禁止されています。成分表記されずに蛋白同化薬が含まれていた海外製サプリメントを使用してしまった選手がドーピング違反となったケースもあり、注意が必要です。

ペプチドホルモン、成長因子など

成長ホルモン・インスリン・エリスロポエチン（赤血球増殖因子）などが競技力を向上させるとして禁止されています。

利尿薬

急激な減量及び、体内の薬物の排泄を促進させて禁止物質の使用を隠蔽するため、利尿薬の使用は禁止されています。

デスマプレシン

抗利尿作用により血漿を増量させ、血中の禁止物質やヘモグロビンの濃度を薄めるため禁止されています。デスマプレシンの類似物質であるフェリプレシンも禁止となりますが、歯科麻酔における局所投与は禁止ではありません。従って、「歯科用シタネストーオクタプレシン」の使用は問題ありません。

興奮薬

中枢神経を刺激することにより、集中力や敏捷性の増加、疲労感の緩和、闘争心の増強を生じるため禁止となっています。アドレナリン（エピネフリン）、エフェドリン、メチルエフェドリンなど医療用医薬品、市販薬に広く用いられる薬剤が禁止されているため、うっかりドーピングに注意が必要です。アドレナリン（エピネフリン）は局所麻酔薬との併用または単独での局所使用は許可されていますので、キシロカイン歯科用注などの使用は問題ありません。

麻薬

モルヒネやペチジン、フェンタニルなどの麻薬は禁止物質です。向精神薬であるペンタゾシン、ブプレノルフィンも麻薬として禁止物質となっています。但し、コデインは、禁止物質ではありません。

副腎皮質ホルモン（糖質コルチコイド）

幅広い薬効を持ちさまざまな疾患の治療薬として使用されますが、禁止されるのは内服や静注、筋注、経直腸使用（全身的な使用）の場合のみです。関節内や関節周囲などへの局所注射、吸入や皮膚、眼、耳、鼻、口腔内や歯肉、肛門周囲の疾患に対する局所使用は禁止ではありません。アフタゾロン軟膏のような口腔内軟膏の使用は問題ありません。

静脈注射

静脈内注入および／または6時間あたりで50mLを超える静脈注射は禁止されます。ただし、医療機関の受診過程（救急搬送中の処置、外来および入院中の処置を全て含む）、また臨床的検査において正当に受ける静脈内注入は禁止になりません（静脈注射に使用する薬物に関しては別途禁止物質かどうかの確認が必要です）。

[これら以外にも禁止の物質や方法があり、また特定競技のみで禁止されている物質もあります。

詳細はJADA資料(2013禁止表国際基準)でご確認ください。

なお、ご不明な点は、「東京都薬剤師会ドーピング防止ホットライン」へお問い合わせください。]

§ 使用可能 医療用医薬品リスト（「薬価基準による歯科関係薬剤点数表」より、主な商品名を抜粋）

局所麻酔薬：オーラ注歯科用カートリッジ、歯科用キシロカインカートリッジ、歯科用シタネストーオクタプレシンカートリッジ、スキヤンドネストカートリッジ 3%、ハリケインゲル歯科用 20%、ビーズカイン歯科用ゼリー20%

吸入麻酔薬：笑気ガス

歯科用軟膏・挿入剤：オキシテトラコーン歯科用挿入剤 5mg、テトラサイクリン塩酸塩パスタ 3%「昭和」、テトラ・コーチゾン軟膏、テラ・コートリル軟膏、ペリオクリン歯科用軟膏、ペリオフィール歯科用軟膏 2%

消炎鎮痛薬：アルボ、オステラック、オパイリン、カロナール、キョーリン AP2 配合、ジソペイン、ソランタール、ソレトン、ナイキサン、ニフラン、ハイペン、バファリン配合、フェナゾックス、ブルフェン、フロベン、ペオン、ボルタレン、ポンタール、ランツジール、ロキソニン、ロルカム

抗生物質・抗菌薬（経口）：イトリゾール、エリスロシン、オゼックス、オラセフ、クラビット、クラリシッド、ケフラール、ケフレックス、サワシリン、ジスロマック、ジョサマイシン、セフゾン、タリビッド、トミロン、バナン、ピクシリン、ビブラマイシン、フロモックス、ミノマイシン、メイアクトMS、ルリッド

健胃消化整腸薬：アルサルミン、ウルグート、エンテロノン-R、エントモール、オメプラール、乾燥水酸化アルミニウムゲル、ケルナック、合成ケイ酸アルミニウム、酸化マグネシウム、ザンタック、セルベックス、タケプロン、タフマックE配合、炭酸水素ナトリウム、天然ケイ酸アルミニウム、ピオフェルミン錠・配合・R、ピフィスゲン、ピフィダー、ベリチーム配合、ポリトーゼ、マーズレンS 配合、ミヤBM、ムコスタ、ラックビー微粒・R、レベニン

トローチ・うがい薬：SP トローチ、アズノール、イソジンガーグル、含嗽用ハチアズレ、デンターグル含嗽用

口腔用剤（外用）：アフタゾロン口腔用、アフタタッチ口腔用、ケナログ口腔用、サリベートエアゾール、サルコート、デキサルチン口腔用

抗不安・催眠鎮静剤：アモバン、エバミール、サイレース、セルシン、ダルメート、デパス、ネルボン、ハルシオン、プロバリン原末、ベノジール、ベンザリン、ホリゾン、リスミー、リーゼ、レンドルミン、ロヒプノール、ロラメット、ワイパックス

抗ヒスタミン薬：アレルギン、ゼスラン、タベジール、ニボラジン、ボララミン

止血薬：アドナ、トランサミン、ケーワン

その他：テグレートール、常用量のビタミン剤、エンピナース・P

※これらの医薬品の後発医薬品についても使用可能です。また、他にも使用可能薬はあります。

※禁止薬は、毎年1月1日に更新されます。上記は2013年末までの使用可能薬です。

§ 市販薬・漢方薬・サプリメントについて

市販薬・配置薬：かぜ薬や鼻炎の治療薬の多くに、禁止物質であるエフェドリン、メチルエフェドリン、プソイドエフェドリンが含まれていますので注意が必要です。

漢方薬：漢方薬は、いくつかの生薬を配合したものです。生薬の中には、麻黄やホミカのように明らかに禁止物質が含まれているものがあり、その生薬が配合された漢方薬は使用できません。例えば、麻黄を含む葛根湯、小青竜湯、防風通聖散などの漢方薬は使用できません。一方、生薬はすべての含有成分が明らかになってはいませんので、禁止物質が含まれているかどうかは不明であり保証できません。従って、漢方薬はなるべく使用しないことをおすすめします。

サプリメント：サプリメントは食品であり全成分表示の義務がありませんので、使用可能かどうかの明確な判断ができません。サプリメントを選択される際には、信頼できる商品（JADA の認定商品：JADA ホームページ <http://www.playtruejapan.org/qualified/> に掲載）がありますので、そちらを参考にして下さい。

§ 問い合わせ先

東京都薬剤師会 ドーピング防止ホットライン
FAX 03-3295-2333 TEL 03-3295-9532
[受付時間 9:00～17:00 平日のみ]
公益社団法人 東京都薬剤師会 薬事情報課
〒101-0054 千代田区神田錦町1-21
URL <http://www.toyaku.or.jp/>



スポーツ祭東京 2013「ゆりーと」

★東京都薬剤師会では、東京都で行われる第68回国民体育大会にあわせて、ドーピング防止対策のページ『STOP! うっかりドーピング』を開設いたしました。

東京都薬剤師会ホームページよりアクセスしてください。



第68回国民体育大会開催時は、Eメールにて24時間相談を受け付けます。

24時間相談受付期間（大会3日前～）

2013年9月8日～9月15日、9月25日～10月8日

夜間 17:00～翌朝 9:00・休日 24時間は、

質問専用メールアドレス doping.qa1089@gmail.com で受付します。

*お問い合わせの際は【氏名、年齢、性別、競技名、自分の立場（選手・コーチ・薬剤師・医師・歯科医師・その他 など）、内容（医薬品名は正確に）、電話番号】をお知らせください。



※ 回答は doping.qa1089@gmail.com から行います。受信拒否等の設定をされている場合は解除をお願いいたします。

※ 個人が特定されない形で、得られた結果を研究として発表することがあります。研究に使用しないことを希望する場合には、その旨の返信をお願いいたします。

● 回答は、内容により2～3日かかる場合があります。



スポーツ祭東京 2013「ゆりーと」

コピーしてご送付ください

ドーピング禁止薬に関する問い合わせ用紙(薬剤師会ホットライン用)

東京都薬剤師会 薬事情報課 宛

問い合わせ日時 : 年 月 日
所 属 : 氏 名 :
電話番号 : FAX 番号* :
※ 回答はFAX で行いますので、FAX 番号は必ずご記入下さい。

質問者の基本情報

- ① 質問者の分類 (該当するものに○をつけてください)
(医師・歯科医師・薬剤師・看護師・トレーナー・コーチ・選手・その他())
② 薬を使用される方の所属競技団体名()

使用者の基本情報 (②、③については、該当するものに○をつけてください)

- ① 薬を使用する方の年齢 ()才
② 薬を使用する方の性別 (男性・女性)
③ 薬の使用状況 (未服用・服用中・過去に服用)

問い合わせ対象薬

製品名(会社名)	備考
1. ()	
2. ()	
3. ()	
4. ()	
5. ()	

- ※ 医薬品名はフルネームで正確に記載して下さい。
※ 備考欄は、その医薬品に関して特別な事項がある場合にご記入下さい。
※ 内容によっては、回答に時間がかかることがありますので、ご了承下さい。

3-4 日本体育協会との連携

国体開会式の前日に日本体育協会主催で行われた「第 68 回国民体育大会ドクターズ・ミーティング」を後援した。出席者に対して、東京都薬剤師会におけるドーピング防止活動を紹介した。

出席者は、都道府県代表者（帯同ドクター、都道府県体育協会他）90 名、東京都関係者（東京都体育協会、東京都薬剤師会他）17 名、日本体育協会関係者、報道関係者他 31 名、計 138 名であった。



第68回国民体育大会(スポーツ祭東京2013)
ドクターズ・ミーティング プログラム

日時 : 平成25年9月27日(金) 13:00~17:30
会場 : グランドプリンスホテル新高輪 3階「天平」
(東京都港区高輪3-13-1)

テーマ	演者
1. 関係者ご挨拶	
1-1. 主催者挨拶	福林 徹 (日本体育協会スポーツ医・科学専門委員長)
1-2. 共催者挨拶	藤巻 有久 (東京都体育協会スポーツ医・科学委員会委員長)
2. 国民体育大会における医療・救護体制について	
2-1. ぎふ清流国体医療・救護実績報告	渡辺 郁雄 (岐阜県医師会 健康スポーツ医学委員会 委員長)
2-2. スポーツ祭東京2013医療・救護体制の紹介	伊藤 雅史 (東京都医師会 理事)
2-3. 東京都薬剤師会におけるドーピング防止活動	小林 百代 (東京都薬剤師会 東京国体対策特別委員会 委員長)
2-4. 頭頸部外傷に関する現場での指針	谷 諭 (東京慈恵会医科大学 脳神経外科)
3. 国立スポーツ科学センター(JISS) プログラム	
JISSにおけるデンタルサポート事業	上野 俊明 (東京医科歯科大学 スポーツ医歯学分野)
4. 日本アンチ・ドーピング機構(JADA) プログラム	
最新のアンチ・ドーピング情報と JADAの教育・啓発活動について	浅川 伸 (日本アンチ・ドーピング機構 専務理事)
5. 国体選手の医・科学サポート —東京都における取り組み—	
5-1. 東京都競技力向上推進本部 医科学サポート 事業の現状	藤巻 有久 (東京都体育協会 スポーツ医・科学委員会 委員長)
5-2. 3大学連携医科学サポート事業	中嶋 耕平 (国立スポーツ科学センター メディカルセンター)

東京都薬剤師会における ドーピング防止活動

公益社団法人 東京都薬剤師会
東京国体対策特別委員会 委員長
スポーツファーマシスト 小林 百代

東京都薬剤師会では



2006年度～
会員薬局への「ドーピング防
止ガイドブックの配布」



2011年度～
東京国体対策特別
委員会の設置

2009年度～
スポーツファーマシスト
の育成

2010年度～
支部指導者の育成



薬剤師のための ドーピング防止 ガイドブック

日本体育協会アンチドーピング
部会ドーピングデータベース作業班
の協力の下、日本薬剤師会で作成。
薬効分類別に使用可能薬を掲載し
ています。
都薬では毎年地区薬剤師会A会
員に配布しています！



日本薬剤師会のHPからも
ダウンロード可能

スポーツファーマシストの育成

公認スポーツファーマシスト認定制度

2009年度～ 毎年実務講習会を実施

2012年度 東京基礎講習会を実施
(東京国体前年度) 国体に向けてスポーツファーマシストの数を増やす対策

ドーピング防止活動 支部指導者育成講習会

2010年度 ドーピング防止活動総論
千葉国体における千葉県薬の活動報告

2011年度 山口国体視察報告

2012年度 岐阜国体視察報告
JADAアンチドーピング教育・啓発活動における
スポーツファーマシストとの連携
リハーサル大会での活動報告

いずれもスポーツ祭東京2013に向けて行うべきことについて伝達

地区(市や区)の薬剤師会と 連携することにより

大会開催地区独自のアンチドーピング活動

JADAアウトリーチプログラムの行われない会場での地区
薬剤師会独自の活動についてサポートを行う

地区単位で行政等からの依頼による勉強会
～ドーピング禁止薬が関係者に渡らないように～

地区薬剤師会に対し、保健所・スポーツ振興課等から依頼
のある勉強会への協力・支援を行う
(会員のいる薬局のみならず、地域の医薬品販売に携わる
方たちへの啓発活動・講師の派遣 等)

東京国体対策特別委員会の設置

平成23年7月より活動開始

3つのワーキンググループ

- ①システム作成
- ②グッズ作成&広報活動
- ③講習会・研修会

東京都薬剤師会
ホームページの
トップページ



このバナーより
ご覧ください

ようこそ

東京都薬剤師会 ドーピング防止対策のページへ

このホームページは、東京都薬剤師会が第68回国民体育大会（東京国体）に合わせて開設したものです。

わが国最大の総合競技大会である国体では、ドーピング検査を導入しています。東京国体で「うっかりドーピング」違反者を出さないためのドーピング防止対策として、選手、コーチ、トレーナーを対象とした情報提供を行っています。

こちらからお入りください。

選手・コーチなど
一般の方

薬剤師など
医療従事者の方

ドーピング防止について
ホットライン
禁止物質・TUE
スポーツファーマシスト 等について紹介

国体用ホットライン を 設置します

東京国体対策特別委員会では、
国体開催日の3日前から期間中
ホットラインを設置、24時間対応を
します。

平日9時から17時は、都薬業事情
報課が電話とFAXによる問合わせに
対応します。

それ以外の時間帯は、委員会がE
メールによるお問い合わせに対応
します。



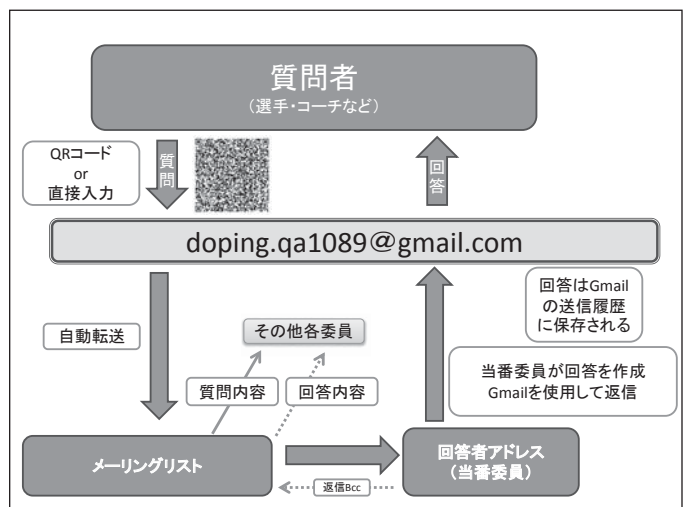
ホットライン問い合わせ先

平日の9時から17時は
東京都薬剤師会ドーピング防止ホットラインへ

FAX番号:03-3295-2333
電話番号:03-3295-9532

それ以外の時間帯は、Eメールで
doping.qa1089@gmail.com

(内容により日本薬剤師会へ問い合わせますので
回答に2~3日かかる場合があります)



質問者の情報 (送信時に記載してほしい内容)

- 年齢
- 性別
- 電話番号
- 氏名
- 競技名
- 自分の立場
(選手・コーチ・薬剤師・医師・その他)
- 内容(医薬品名は正確に)

冬季国体期間中電話対応記録

対象	件数	質問者	件数	内容	件数	種類	件数
国体関連	6件	選手本人	12件	医療用	15件	総合感冒薬	8件
国体外	22件	本人以外	19件	OTC	18件	解熱鎮痛剤	7件
不明	4件	不明	1件	医薬部外品	1件	胃薬	4件
計	32件			TUE申請	1件	止痢・整腸薬	4件
						鎮咳・去痰薬	4件

- * 1 ベンザフロックS : dl-メチルエフェドリン塩酸塩 ⇒ 使用不可
- * 2 ストナジェルサイナスS、ベンザフロックS : dl-メチルエフェドリン塩酸塩 ⇒ 使用不可
- * 3 JPSかぜ薬2号 : エフェドリン ⇒ 使用不可
- * 4 新ルルAゴールドDX : dl-メチルエフェドリン塩酸塩 ⇒ 使用不可
- * 5 ルルメディカルドロップ : dl-メチルエフェドリン塩酸塩 ⇒ 使用不可

14

冬季国体期間中 Gmailホットライン対応記録

対象	件数	質問者	件数	内容	件数	種類	件数
国体関連	1件	本人以外	1件	OTC	1件	総合感冒薬	1件
国体外	1件	本人以外	1件	医療用	5件	植物成分 鎮痛薬 止痢薬 ビタミン	1件 1件 1件 2件
計	2件						

- * 1 パフロンSゴールド : dl-メチルエフェドリン塩酸塩 ⇒ 使用不可



教育啓発・研修会

- 会員に対して
 - 地区薬剤師研修会での説明
 - 都薬雑誌へ連載
 - 国体対策チェックリストの作成・送付
- その他に対して
 - 保健所と連携
 - 旅館営業者および関係行政機関に対する講習会
 - 会員外の薬剤師・登録販売者向けの講習会
 - 三師会連携
 - 研修会
 - ドーピング防止ガイドの送付

対外的な都薬の取り組み

- ①日本薬剤師会 ドーピング防止対策委員会へ出席
- ②JADAとの連携
アウトリーチプログラムの概念および運営方法の説明を受け、人員の派遣等協力をする
- ③スポーツ祭東京2013実行委員会 医事専門委員会へ出席

対外的な都薬の取り組み

- ④東京都スポーツ振興局
スポーツ祭東京推進部との連携
- 1.競技会場の救護所の医薬品の選定
ドーピング禁止成分を含まない医薬品等を選定するための協議、アドバイスをを行った
 - 2.国体関係者への周知
東京を訪れる関係者に向け、有用な情報を発信都の作成するパンフレット等への情報提供を行った「t-薬局いんぷお」の検索機能からドーピングについて相談できる薬局を周知する

「ドーピング防止について相談できる薬局」「スポーツファーマシストのいる薬局」はt-薬局いんぷおで検索できます

t-薬局いんぷおは東京都福祉保健局による東京都薬局機能情報提供システムです

東京都薬剤師会のホームページからもリンクできます

JADAのスポーツファーマシストサイトと合わせてご利用ください



東京都薬局機能情報提供システム

t-薬局いんぷお

東京都薬局機能情報提供システム「t-薬局いんぷお」では、薬局の所在地、利用時間などを指定して、都内の薬局を検索することができます。薬局の営業時間等の基本的な情報は、薬局からの報告をもとに定期的に更新していますが、必要に応じて事前に薬局にご確認ください。

スポーツ祭東京2013開催にあたり、ドーピング防止に関して相談できる薬局が「相談したい内容」から検索できるようになりました。

○ 薬局を探す

薬局名	所在地	利用日時	相談したい内容	調剤対応など	その他のサービス・設備
で探す	で探す	で探す	で探す	で探す	で探す

→ 相談したい内容で探す

現在の該当件数
468件

下記の条件で検索する

相談に関する相談

- 一般用医薬品の相談
- 調剤相談
- 公衆衛生相談(食中毒・食中毒予防、病害など)
- 誤飲・誤食による中毒相談
- ドーピング防止に関する相談

☑ 全ての条件をクリア

大会期間中、お問い合わせには誠意をもって対応し
より一層のドーピング防止活動に努めて参ります

ご清聴ありがとうございました



3-5 日本アンチ・ドーピング機構（JADA）との連携

3-5-1 JADA との打ち合わせ会議

東京国体におけるドーピング防止活動を協力して実施するために、JADA スタッフと以下の4回にわたって打ち合わせ会議を開催した。

(1) 2011年6月23日（木） 13:10～

出席者：(JADA) 浅川 伸 事務局長、片山うい コーディネーター
(都薬) 上村 副会長、原 常務理事、石垣 常務理事、高橋 理事
議 題：2012年度 JADA 公認スポーツファーマシスト“特別認定プログラム”としての『東京基礎講習会』の開催について

(2) 2012年9月25日（火）13:00～

出席者：(JADA) 浅川 伸 事務局長、小林大祐 シニアマネージャー（教育・情報グループ）、落合陽子マネージャー（TUE グループ 企画室）
(都薬) 原 副会長、高橋常務理事
東京国体対策特別委員会 小林委員長、瀬谷副委員長
議 題：JADA アウトリーチプログラムの定義について
JADA アウトリーチと都薬支部独自のブースにおける活動の違いの確認

(3) 2013年2月19日（火）12:30～

出席者：(JADA) 浅川 伸 事務局長、井上健 コーディネーター（教育・情報グループ）、高須久望子 コーディネーター（TUE グループ）、落合陽子マネージャー（TUE / 企画・IR 室グループ）
(都薬) 原 副会長、高橋常務理事
議 題：国体における JADA アウトリーチプログラムへのスポーツファーマシストの参加手続き等について

(4) 2013年5月23日（木）10:00～

出席者：(JADA) 浅川 伸 事務局長、諸越由佳 コーディネーター（教育・情報グループ）、高須久望子 コーディネーター、落合陽子 マネージャー（企画・教育ユニット SP 推進グループ）
(都薬) 原 副会長、高橋常務理事
議 題：JADA アウトリーチプログラムの実施に向けてのスケジュール等について

アウトリーチプログラムとは

アウトリーチプログラム（以下「アウトリーチ」）とは、文部科学省の委託事業の一環として、公益財団法人日本アンチ・ドーピング機構（以下「JADA」）が、アンチ・ドーピングに関する教育啓発並びに情報発信をするため、競技会場にブースを展開することを指す。当プログラムは、競技者やその競技者支援要員（指導者、ドクター等）がアンチ・ドーピング活動に興味を持つきっかけを作り、アンチ・ドーピングを身近に感じさせること、JADA の存在を知ることが目的とする。

3-5-2 JADA アウトリーチプログラム参加者の事前準備

東京国体において JADA の主催するアウトリーチプログラムへ参加するスポーツファーマシストが、以下のイベント（ガイダンス、実地体験、直前講習会）へ出席した。

【JADA アウトリーチプログラム研修日程】

1. 第 68 回国民体育大会 JADA アウトリーチプログラム ガイダンス

開催日時：6月16日(日)10:00～12:00

開催場所：味の素ナショナルトレーニングセンター大研修室

参加者：61名

2. 第 68 回国民体育大会 JADA アウトリーチプログラム実地体験

開催日時：8月4日(日)～9月13日(金)

開催場所：(H25 年度アウトリーチ実地体験予定一覧 参照)

参加者：45名

3. 第 68 回国民体育大会 JADA アウトリーチプログラム直前講習会

開催日時：8月31日(土)10:00～12:00

開催場所：国立スポーツ科学センター研修室 A

参加者：45名

* 全参加者へアウトリーチで着用するポロシャツおよび缶バッジを授与

第 68 回国民体育大会
JADA アウトリーチプログラム
ガイダンス

2013 年 6 月 16 日

【司会】

落合 陽子 (JADA 企画・教育ユニット)

【講師】

- | | |
|----------------|--|
| 1. 10:15～10:20 | ご挨拶
原 博 (東京都薬剤師会副会長)
浅川 伸 (JADA 事務局長) |
| 2. 10:20～11:00 | アンチ・ドーピングにおける教育啓発活動
浅川 伸 (JADA 事務局長) |
| 3. 11:00～11:20 | アウトリーチプログラムの内容について
諸越 由佳 (JADA 企画・教育ユニット) |
| 4. 11:20～11:30 | 事務手続きについて
高須 久望子 (JADA 企画・教育ユニット) |
| 5. 11:30～11:45 | 質疑応答 |

展示：JADA アウトリーチプログラム ブース

第 68 回国民体育大会スポーツ祭東京 2013
JADA アウトリーチプログラム直前講習会

2013 年 8 月 31 日

【司会】

落合 陽子 (日本アンチ・ドーピング機構 企画・教育ユニット)

【講師】

1. 17:15～17:25 ご挨拶
 原 博 (東京都薬剤師会副会長)
2. 17:25～17:40 ご挨拶
 浅川 伸 (日本アンチ・ドーピング機構 専務理事)
3. 17:40～18:00 国民体育大会でのアウトリーチプログラムについて
 諸越 由佳 (日本アンチ・ドーピング機構 企画・教育ユニット)
4. 18:00～18:30 くすりの問合せについて
 高須 久望子 (日本アンチ・ドーピング機構 企画・教育ユニット)
5. 18:30～18:45 アウトリーチプログラムでの体験について
 佐藤 昌義 (公認スポーツファーマシスト)
6. 18:45～19:00 アウトリーチプログラムでの体験について
 山口 晶子 (公認スポーツファーマシスト)
7. 19:00～19:15 質疑応答

**第68回国民体育大会
アウトリーチプログラム外部協力者募集要項**

以下の要件を満たす方を募集いたします。

応募要件

- ①スポーツが好きな方
- ②会場でアスリート等に声かけができ、人との会話が好きな方
- ③長時間の立ち仕事が可能な方。
- ④荷物の運搬が出来る方。
- ⑤メール中心にご案内等を行うため、メールでの対応が可能な方
- ⑥以下のプログラムにご参加いただける方。(必須)
 - ・第68回国民体育大会 JADAアウトリーチプログラム ガイダンス
 - ・JADAアウトリーチプログラム現場体験(7月～9月実施されるうち原則1度参加)
 - ・第68回国民体育大会 JADAアウトリーチプログラム事前説明会
- ⑦本要項をお読みいただき、内容の承諾をされた方。

申請期限 2013年6月10日

第68回国民体育大会
JADAアウトリーチプログラム
ガイダンス内容

<2013年6月16日>

- ・JADAアンチ・ドーピング活動について
- ・アウトリーチプログラムについて
- ・外部協力者業務全般
- * 場所:味の素ナショナルトレーニングセンター 大研修室
- * 時間:10時～(概ね2時間程度)

JADAアウトリーチプログラム
現場体験(7月～9月)

・期間中のJADAが実施予定の全国大会等でのアウトリーチプログラムへ原則として1度参加をしていただく。

第68回国民体育大会
JADAアウトリーチプログラム
事前説明会内容

<2013年8月31日>

- ・第68回国民体育大会での業務について
- ・くすりの確認方法について
- * 場所:国立スポーツ科学センター 研修室AB
- * 時間:10時～(概ね2時間程度)

定員 おおむね30名前後

受講料

- 無料
- 第68回国民体育大会 JADAアウトリーチプログラム ガイダンス
 - JADAアウトリーチプログラム現場体験
 - 第68回国民体育大会 JADAアウトリーチプログラム事前説明会

※第68回国民体育大会JADAアウトリーチプログラム ガイダンス参加に関する交通費は自己負担となります。

申請書類送付先・
問い合わせ先

東京都薬剤師会薬事情報課 神戸・佐藤
TEL 03-3292-0735 FAX 03-3295-2333
E-mail LEK04125@nifty.ne.jp
(LEK:半角大文字、04125:数字)

注意事項

- ・定員以上の応募があった場合は、応募要件を満たしていても、参加ができない場合がございます。予めご了承ください。
(連日対応可能、会場近辺にお住まいの方優先)
- ・JADAアウトリーチプログラム現場体験、第68回国民体育大会JADAアウトリーチプログラム事前説明会への交通費はJADA規程に基づきお支払いさせていただきます。
- ※第68回国民体育大会JADAアウトリーチプログラム ガイダンス参加に関する交通費は自己負担となります。

H25年度アウトリーチ実地体験予定一覧

日程	競技種目	競技会名	会場地	会場名	SP					
7/20~21	自転車	第25回全日本マウンテンバイク選手権大会	静岡	日本OSC	21 齋 亜紀子					
7/28	テコンドー	JOGジュニアオリンピックカップ第6回全日本ジュニアテコンドー選手権大会	長野	松本市総合体育館メインアリーナ	28 清水晴子					
7/30~31	ボウリング	JOGジュニアオリンピックカップ 第37回全日本高等学校選手権	東京	品川プリンスホテルB/C	30 及川晶子 西村清志					
日程	競技種目	競技会名	会場地	会場名	SP	SP	SP	SP	SP	
8/4	綱引	全日本ジュニア綱引選手権大会	東京	駒沢オリンピック公園総合運動場体育館	中川明子	佐藤昌義	岡田英之			
8/11	ダンススポーツ	全日本ジュニアアカップ	千葉	千葉ポートアリーナ	町田恭一	薄井健介	加藤重好			
8/18	空手	カラテドリームカップ2013全国大会	東京	東京体育館	青山久美子	伊藤佳弘	平柳武義	吉岡加織		
8/11~13	テニス	ダンロップ全日本ジュニア選手権大会	大阪		山田純一					
8/14~17	器械体操	2013全日本ジュニア体操競技選手権大会	神奈川	横浜文化体育館	14 高橋正夫	14 山口晶子	14 栗山衛	15 鎌谷雅行	15 横山弥寿代	17 梅川智行
8/19~20	カヌースプリント	文部科学大臣杯平成25年度日本カヌースプリントジュニア大会	山梨	山梨県富士河口湖構遊湖カヌー競技場						
8/17~18	自転車	2013全日本オムニアム選手権大会	静岡	伊豆ベロドローム	荒川早苗	18 小竹慶子				
8/21~23	ゴルフ	JOGジュニアオリンピックカップ大会(第19回)日本ジュニアゴルフ大会	埼玉	霞ヶ関カンツリー倶楽部	藤本和子	21 貞松直喜	22、23 三刀屋亮			
8/24	クレー射撃	全日本学生選手権大会	群馬	群馬ジャイアント総合						
8/26~30	水泳	第36回全国JOGジュニアオリンピックカップ	東京	辰巳水泳場	26 遠藤敏	26 三森隆弘	27 永井倫典	28 野口佳子	29 江口浩子	30 小林百代
9/6~8	陸上	第81回天皇賜盃日本学生陸上競技対校選手権大会	東京	国立霞ヶ丘陸上競技場	6 原博	6 原田知子	7 田中美知子	7 高柳匡徳	8 松永みゆき	8 黒田雅子
9/8	近代五種	第1回日本選手権近代3種大会兼第8回JOGジュニアオリンピックカップ	千葉	日本エアロビクスセンター	8 小野沢岳					
9/14~15	ソフトテニス	第20回JOC杯・全日本ジュニア選手権大会	広島	広島市						
9/13~15	バドミントン	平成25年度第32回全日本ジュニアバドミントン選手権大会	石川	いしかわ総合スポーツセンター	13 中由那子					
9/6	ライフル		埼玉		野崎利香子					

第 68 回国民体育大会本大会 アウトリーチプログラム実施計画

- 【会 場 地】 東京都下
 【大会期間】 会期前：平成 25 年 9 月 11 日（水）～9 月 15 日（日）
 本大会：平成 25 年 9 月 28 日（土）～10 月 8 日（火）
 【実施予定数】 開会式、11 競技会場

1. アウトリーチプログラム実施会場

No.	競技種目	種別	競技会場	会場地	実施予定日
①	開会式		味の素スタジアム	調布市	9 月 28 日
②	陸上競技	全種別	味の素スタジアム	調布市	10 月 4 日～10 月 6 日 （※競技は 10 月 8 日まで）
③	水泳	シンクロ、 競泳・飛込	東京辰巳国際水泳場	江東区	9 月 11 日、 9 月 13 日～9 月 15 日
④	水泳	水球	東京体育館屋内プール	渋谷区	9 月 12 日～9 月 14 日 （※競技は 9 月 15 日まで）
⑤	サッカー	少年男子	西が丘サッカー場	北区	9 月 29 日～9 月 30 日 （※競技は 10 月 2 日まで）
⑥	ボート	全種別	荒川（平井運動公園周辺流域）	江戸川区	9 月 11 日～9 月 13 日 （※競技は 9 月 15 日まで）
⑦	ボクシング	全種別	日野市市民の森ふれあいホール	日野市	10 月 4 日～10 月 6 日 （※競技は 10 月 8 日まで）
⑧	セーリング	全種別	若洲海浜公園ヨット訓練所	江東区	9 月 29 日～10 月 1 日 （※競技は 10 月 2 日まで）
⑨	馬術	成年男子 成年女子 少年	（仮称）あきる野市特設馬術 競技場	あきる野市	10 月 3 日～10 月 5 日 （※競技は 10 月 7 日まで）
⑩	剣道	全種別	東京武道館	足立区	9 月 29 日～9 月 30 日 （※競技は 10 月 1 日まで）
⑪	空手道	全種別	日野市市民の森ふれあいホール	日野市	9 月 29 日～10 月 1 日
⑫	なぎなた	全種別	港区スポーツセンター	港区	9 月 29 日～9 月 30 日 （※競技は 10 月 1 日まで）

4. 国体期間中の活動

4-1 ドーピング防止ホットライン 24 時間対応

Gmail を利用した「ドーピング防止ホットライン」は、国体期間中に行った重要な活動の一つであり、大会期間中は 24 時間、選手やコーチ等関係者からの問合せに対応した。

国体に参加する選手の健康管理、体調を崩した際の薬物療法のサポート、サプリメントや健康食品に対するアドバイスをするため、委員会では、事務局での電話対応が終わる午後 5 時から翌日の午前 9 時まで、土曜・日曜日は日中も対応すべく、役員・委員全員が交代で選手や関係者からの相談に応じた。この活動の目的は、選手のドーピング違反の防止と最高のパフォーマンスで競技に参加できるようにスポーツファーマシスト・薬剤師がサポートすることにある。

担当の際には素早く対応ができるように、携帯電話、パソコン、ドーピング防止ガイドブック、WADA の禁止表国際基準等の資料を枕元に置いて準備をしている担当者も多く、担当日は、緊張感・責任感から眠りも浅くほとんど徹夜の状態の一晩が続いた。返答してからも、回答について担当者同士で議論し、選手にも配慮して翌朝に回答の補足をすることもあった。また、自分が担当でない時も、返事はどうなる、いつ返信メールを返すのか等を気かけながら担当者全員が見守っており、大会期間中は、担当者全員が毎日寝不足と戦いながら、緊張感・連帯感を持ってこのホットラインに参加していた。

大会が終了した時に、これでゆっくり眠ることが出来るとホッとしたのは、ホットライン担当者全員の偽らざる本音であり、今国体でのドーピング「ゼロ」がわかった時には委員会メンバー全員が歓喜したことは言うまでもない。

● 24時間ドーピング防止相談ホットライン担当

国体冬季大会／24時間ドーピング防止相談ホットライン担当

日にち	1月23日(水)		1月24日(木)		1月25日(金)		1月26日(土)		1月27日(日)		1月28日
時間	9:00		17:00		9:00		17:00		9:00		17:00
担当	主 ①小林委員長	事務局	主 ②藤本委員	事務局	主 ③小竹委員	事務局	主 ④対崎委員	事務局	主 ⑤薄井委員	事務局	主 ⑥小林委員長
副	高橋常務理事		原副会長		加藤委員		貞松理事		藤本委員		山田理事
											⑦上東委員
											⑧薄井委員

日にち	1月28日(月)		1月29日(火)		1月30日(水)		1月31日(木)		2月1日(金)	
時間	9:00		17:00		9:00		17:00		9:00	
担当	主 ⑨加藤委員	事務局	主 ⑩栗山委員	事務局	主 ⑪上東委員	事務局	主 ⑫瀬谷副委員長	事務局	主 ⑬薄井委員	事務局
副	高橋常務理事		小竹委員		山村理事		対崎委員			

国体本大会／24時間ドーピング防止相談ホットライン担当

前半

日にち	9月8日(日)		9月9日(月)		9月10日(火)		9月11日(水)		9月12日(木)		9月13日
時間	9:00		17:00		9:00		17:00		9:00		17:00
担当	主 ①小林	事務局	主 ②対崎	事務局	主 ④上東	事務局	主 ⑤栗山	事務局	主 ⑥藤本	事務局	主 ⑦瀬谷
副	薄井	高橋	高橋		貞松		山田		加藤		薄井

日にち	9月13日(金)		9月14日(土)		9月15日(日)	
時間	9:00		17:00		9:00	
担当	主 ⑧対崎	事務局	主 ⑨小林	事務局	主 ⑩小竹	事務局
副	貞松		栗山		薄井	原

後半

日にち	9月25日(水)		9月26日(木)		9月27日(金)		9月28日(土)		9月29日(日)		9月30日
時間	9:00		17:00		9:00		17:00		9:00		17:00
担当	主 ①小林	事務局	主 ②小竹	事務局	主 ③上東	事務局	主 ④対崎	事務局	主 ⑤薄井	事務局	主 ⑥薄井
副	藤本		貞松		瀬谷		加藤		貞松		貞松
											⑦小竹
											⑧瀬谷
											⑨上東

日にち	9月30日(月)		10月1日(火)		10月2日(水)		10月3日(木)		10月4日(金)		10月5日
時間	9:00		17:00		9:00		17:00		9:00		17:00
担当	主 ⑩栗山	事務局	主 ⑪藤本	事務局	主 ⑫小林	事務局	主 ⑬上東	事務局	主 ⑭薄井	事務局	主 ⑮加藤
副	山田		高橋		貞松		高橋		高橋		山田

日にち	10月5日(土)		10月6日(日)		10月7日(月)		10月8日(火)	
時間	9:00		17:00		9:00		17:00	
担当	主 ⑯対崎	事務局	主 ⑰瀬谷	事務局	主 ⑱薄井	事務局	主 ⑲上東	事務局
副	加藤		小竹		貞松		原	

《スポーツ祭東京 2013 におけるドーピング防止ホットライン集計結果》

【開設期間】 計：32 日間

第 68 回国民体育大会冬季大会

平成 25 年 1 月 23 日（水）～2 月 1 日（金） 10 日間

第 68 回国民体育大会

平成 25 年 9 月 8 日（日）～15 日（日） 8 日間

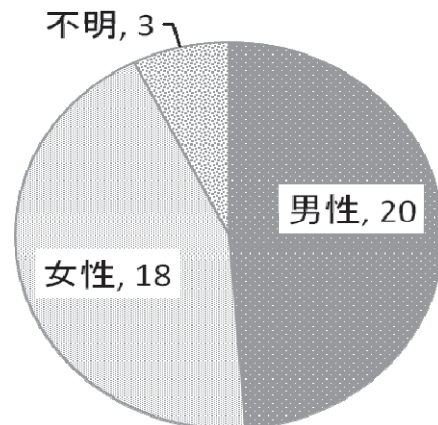
平成 25 年 9 月 25 日（水）～10 月 8 日（火） 14 日間

●Gmail による対応

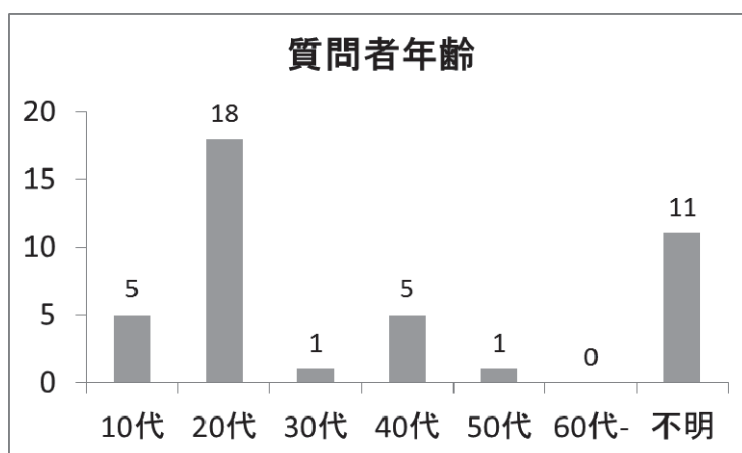
【問い合わせ件数および商品内訳】

		合計	冬季大会	対応 期間外	本大会
問い合わせ件数		41	2	4	35
のべ質問者数		34	2	5	27
問い合わせ商品		136	6	25	105
内 訳	医療用医薬品	76	0	21	55
	一般用医薬品	31	1	1	29
	サプリメント	23	0	3	20
	その他	6	5	0	1

【質問者性別】 のべ 41 名（実質 34 名）



【質問者年齢】 のべ41名（実質34名）



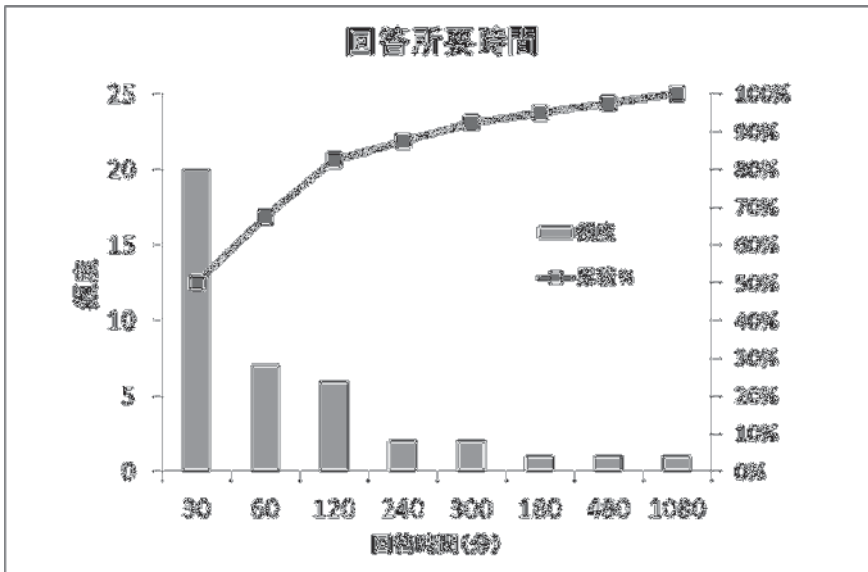
【質問者立場】

立場	人数
選手	8
監督・コーチ	6
トレーナー	15
マネージャー	2
薬剤師	7
医師	1
その他	1
不明	1
計	41

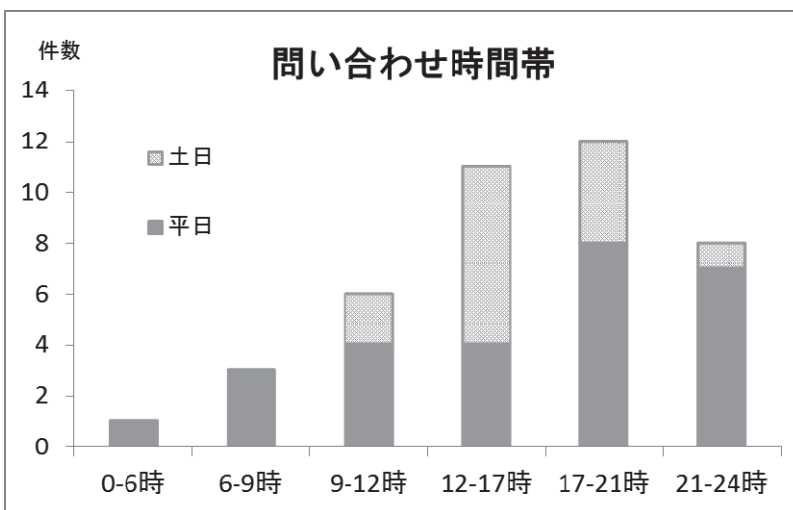
【競技種目】

競技	人数
アーチェリー	1
弓道	1
ゴルフ	1
サッカー	5
山岳競技	1
柔道	1
新体操	1
水泳	2
スピードスケート	1
ソフトテニス	1
軟式野球	1
バスケットボール	7
バスケットボール(車椅子)	1
バレーボール	2
ボウリング	2
ホッケー	4
陸上	4
不明	5

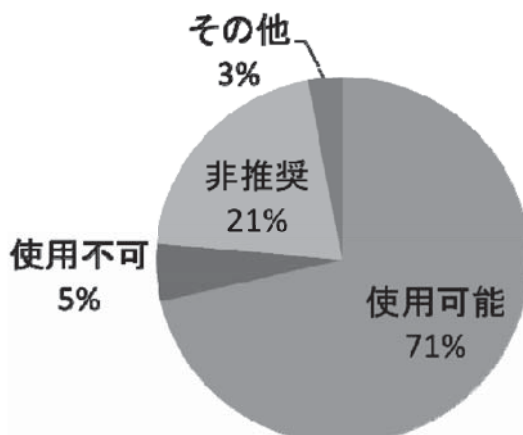
【回答所要時間】



【問い合わせ時間帯】



【使用可否】 全 136 品



使用禁止品

- ベンザブロック I P プラス 青
- 新ルル A ゴールド (第一三共)
- カコナール
- 鼻炎薬 A クニヒロ
- パブロン S ゴールド
- メプチンエアー
- ライトゲン配合シロップ

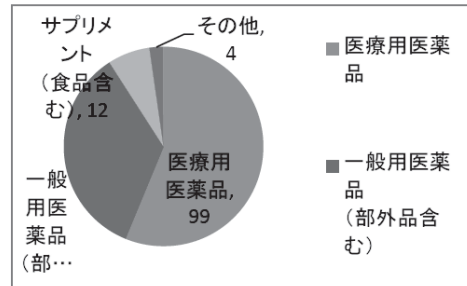
【問い合わせ医薬品の分類】

一般用医薬品	
種類	件数
点眼薬	6
軟膏・貼付	6
感冒薬	4
鎮痛薬	4
栄養	3
点鼻薬	2
止瀉薬	2
鼻炎薬	1
酔い止め	1
下剤	1
胃薬	1
計	31

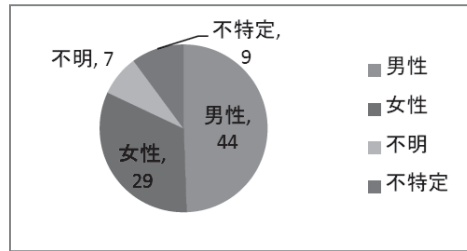
医療用医薬品	
種類	件数
軟膏・貼付	15
鎮痛剤	12
精神神経	7
抗アレルギー	6
胃薬	5
抗菌薬	5
ビタミン	4
喘息薬	3
循環改善	2
注射薬	2
糖尿病用薬	2
ホルモン	2
感冒薬	1
漢方	1
去痰薬	1
筋弛緩薬	1
止瀉薬	1
抗ウイルス薬	1
脂質改善薬	1
整腸剤	1
鎮咳薬	1
鉄剤	1
その他	1
計	76

●TEL、FAXによる対応

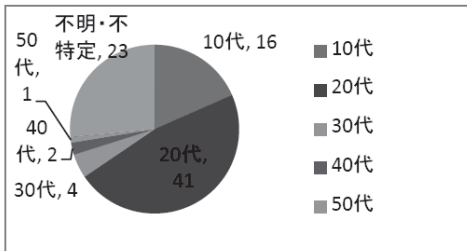
		合計	冬季大会	本大会
問い合わせ件数		85	32	53
問い合わせ商品数		172	65	107
内訳	医療用医薬品	99	27	72
	一般用医薬品 (部外品含む)	61	37	24
	サプリメント (食品含む)	12	1	11
	その他	4	1	3



使用者性別	合計	冬季大会	本大会
男性	44	16	28
女性	29	13	16
不明	7	1	6
不特定	9	6	3

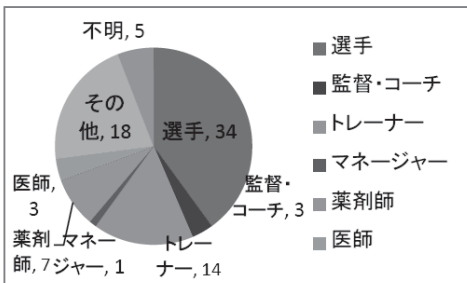


使用者年代	合計	冬季大会	本大会
10代	16	7	9
20代	41	17	24
30代	4	2	2
40代	2	0	2
50代	1	0	1
不明・不特定	23	6	17



不特定…薬局店頭ポップの相談等

質問者立場	合計	冬季大会	本大会
選手	34	12	22
監督・コーチ	3	1	2
トレーナー	14	6	8
マネージャー	1	0	1
薬剤師	7	2	5
医師	3	1	2
その他	18	9	9
不明	5	1	4



競技種目

冬季大会		本大会	
スケート関連	7	ラグビー	4
バレーボール	5	サッカー	3
アイスホッケー	3	体操	3
柔道	3	陸上	3
野球	2	剣道	2
アルペンスキー	1	ゴルフ	2
車椅子バスケットボール	1	ソフトテニス	2
ゴルフ	1	電動車椅子サッカー	2
サッカー	1	飛び込み	2
バスケットボール	1	アーチェリー	1
ビリヤード	1	アメリカンフットボール	1
フットサル	1	アルティメット	1
ボウリング	1	カヌー	1
不明	4	クレー射撃	1
		障害者ベンチプレス	1
		相撲	1
		ソフトボール	1
		テコンドー	1
		軟式野球	1
		バスケットボール	1
		バドミントン	1
		武術太極拳	1
		ボウリング	1
		ボクシング	1
		盲人マラソン	1
		不明	12
		不特定	2

問い合わせ件数

種類別		薬効別(医療用、OTC合算)	
医療用医薬品	99	解熱鎮痛剤	22
OTC医薬品	58	総合感冒薬	10
医薬部外品	3	胃薬	9
健康食品	2	ビタミン剤	9
JADA認定サプリ	3	抗アレルギー薬	9
認定外サプリ	3	喘息治療薬(内服・吸入)	8
雑貨	0	止瀉薬	6
食品	4	鎮咳去痰薬	5
その他	4	抗生物質	4
計	176	整腸剤	3
		便秘薬	3
		うがい薬	2
		抗ウイルス薬	1
		ワクチン	1
		皮膚外用薬	25
		目薬	7
		点鼻薬	2
		輸液	1
		漢方薬	6
		栄養ドリンク剤	4
		サプリメント	6
		食品・健康食品	6
		その他	23
		計	172

本大会) (2013/9/8～9/15、9/25～10/8)

医療用医薬品(内服薬)

種類	件数	内訳
鎮痛剤	9	ロキソニン錠 4件 カンファタニン錠 1件 ソレルモン錠 2件 ロルカム錠 2件
抗アレルギー薬	8	アレグラ錠 3件 アレジオン錠 アレロック錠 クラリチン錠 ザジテンカプセル ゼスラン錠
ビタミン剤	4	シナール配合錠 リボビス錠 リボビックス錠 メチコパール錠
胃薬	3	ムコスタ錠 2件 プロテカジン錠
降圧剤	3	ニフェジピンCR錠 ミカルデイス錠 ロサルタンカリウム錠
抗生物質・抗菌剤	3	クラビット錠 レボフロキサシン錠 ジスロマック錠
抗不整脈薬	3	サンリズムカプセル ワソラン錠 アンカロン錠
アミノ酸製剤	2	タウリン散 リーバクト配合顆粒
筋弛緩薬	2	テルネリン錠 ミオナール
過活動膀胱治療剤	1	ベタニス錠
漢方(マオウ)	1	ツムラ小青竜湯エキス顆粒「医療用」(エフェドリン:使用禁止)
漢方(ヨクイニン)	1	ヨクイニンエキス錠
抗血小板剤	1	バイアスピリン錠
甲状腺	1	チラーヂンS錠
酵素製剤	1	エンピナーズ・P9000
抗不安薬	1	デパス錠
止瀉薬	1	アドソルビン原末
循環改善薬	1	ストミンA配合錠
ステロイド	1	プレドニン錠
整腸剤	1	ラックビー微粒N
鎮咳薬	1	アストミン錠
鎮痙薬	1	ブスコパン錠
痛風発作治療薬	1	コルヒチン錠
ホルモン剤	1	プラノパール配合錠
計	52	

医療用医薬品(外用剤)

種類	件数	内訳
軟膏・貼付	15	アズノール軟膏 アンテベート軟膏 オイラックスクリーム
		サトウザルベ軟膏20% スレンダム軟膏 ヒルドイドソフト軟膏 1件
		ヒルドイドローション 2件 プロパデルム軟膏 1件 プロペト 1件
		ホクナリンテープ 1件(β作用薬:使用禁止)
		リンデロン-VG軟膏 2件 レスタミンコーワクリーム 1件 ロキソニンテープ
吸入剤	2	サルタノールインヘラー シムビコートタービューヘイラー
注射	1	ソル・メドロール静注
点鼻薬	1	インタール点鼻液
トローチ	1	オラドールトローチ
計	20	

一般用医薬品

種類	件数
解熱鎮痛薬	5
栄養ドリンク(生薬含有)	3
胃薬	2
総合感冒薬	2
鎮咳薬(生薬)	2
目薬	2
うがい薬	1
催眠鎮静薬	1
止痢薬	1
整腸薬	1
ビタミン剤(生薬含有)	1
便秘薬	1
計	22

医薬部外品

種類	件数
リップ	1
トローチ	1
計	2

本大会時の禁止物質含有医薬品

ツムラ小青竜湯エキス顆粒「医療用」:マオウ(エフェドリン)
 ホクナリンテープ:ツロブテロール

冬季大会(2013/1/23~2/1)

医療用医薬品

解熱鎮痛剤	6
胃薬	3
去痰薬	2
止痢薬	2
喘息治療薬	2
総合感冒薬	2
皮膚外用薬	2
関節注	1
抗ウイルス薬	1
抗生物質	1
整腸剤	1
ワクチン	1
計	24

一般用医薬品

総合感冒薬	6
軟膏・貼付	3
栄養	2
鎮咳薬	2
点鼻薬	2
ビタミン剤	2
便秘薬	2
胃薬	1
漢方薬	1
解熱鎮痛剤	1
抗アレルギー薬	1
止痢薬	1
喘息治療薬	1
目薬	1
計	26

冬季大会時の禁止物質含有医薬品

ベンザブロックS:dl-メチルエフェドリン塩酸塩(2件)
 ストナジェルサイナスS:dl-メチルエフェドリン塩酸塩
 JPSかぜ薬2号:エフェドリン
 新ルルAゴールドDX:dl-メチルエフェドリン塩酸塩
 ルルメディカルドロップ:dl-メチルエフェドリン塩酸塩

参考)食品・栄養ドリンク内訳

9/11 ミキブルー、ミキジョイントビューティ、ミキプロテイン、ミキピオ-C、ミキG6
 9/12 レバコールロイヤルS、ユンケル黄帝液、ユンケル黄帝液-L
 9/13 伊藤園ミネラル麦茶
 9/26 レッドブル
 9/26 ネイチャーメードマルチビタミン(JADA認定商品)、ネイチャーメード鉄(JADA認定商品)、アミノフライト4000
 9/30 アミノバイタルプロ(JADA認定商品)
 10/1 アミノフライト、ホエイプロテインKentai
 10/2 リボビタンD、チオピタドリンク2000、強力グルコサミン
 10/3 レッドブル

スポーツ祭東京2013における
ドーピング防止ホットラインの問合わせ/回答内容について
<Gmail/本大会後半>

期間：2013年9月25日 00:00 ~ 2013年10月8日 17:00
質問件数：31件

番号	質問者	競技	質問対象	対応者	所要時間
1	監督	弓道	医療用医薬品	委員	28分
2	薬剤師		一般用医薬品	事務局	17時間1分
3	トレーナー	女子サッカー	医療用医薬品	委員	16分
4	薬剤師		一般用医薬品 サブリエメント	事務局	27分
5	選手	アーチェリー (本文記載なし)	医療用医薬品	事務局	30分
6	コーチ	新体操	サブリエメント	委員	14分
7	薬剤師	女子ホッケー	医療用医薬品	委員	37分
8	薬剤師 (薬剤師会)		化粧品	委員	5時間20分
9	トレーナー	バスケットボール	医療用医薬品 一般用医薬品 サブリエメント	委員	1時間19分
10	トレーナー	バスケットボール	一般用医薬品 サブリエメント	委員	1時間
11	薬剤師	山岳競技	医療用医薬品	委員	24分
12	トレーナー	女子サッカー	医療用医薬品 一般用医薬品	委員	23分
13	コーチ	女子ゴルフ	サブリエメント	委員	17分

14	トレーナー	女子バスケットボール	医療用医薬品	委員	20分
15	トレーナー	女子サッカー	医療用医薬品	委員	27分
16	トレーナー	女子バスケットボール	サブリエメント	委員	27分
17	監督	少年男子ホッケー	一般用医薬品	委員	1時間20分
18	選手	ホッケー	一般用医薬品	委員	41分
19	トレーナー	バスケットボール	漢方	事務局	39分
20	トレーナー	バスケットボール	医療用医薬品	委員	26分
21	選手	ボウリング	一般用医薬品	委員	54分
22	監督	ボウリング	一般用医薬品	委員	2時間44分
23	トレーナー	バスケットボール	医療用医薬品 一般用医薬品	委員 事務局	4時間30分
24	トレーナー	ソフトテニス	医療用医薬品 (注射)	事務局	17分
25	トレーナー	バスケットボール	医療用医薬品 (TUE)	事務局	21分
26	体育協会	軟式野球	医療用医薬品	委員	28分
27	選手	陸上	医療用医薬品 一般用医薬品 サブリエメント	委員	1時間1分
28	選手	陸上	サブリエメント	委員	24分
29	薬剤師		医療用医薬品	委員	1時間7分
30	トレーナー	陸上	一般用医薬品	委員	17分
31	トレーナー	陸上	一般用医薬品	委員	22分

No. 4

性別： 女性
年齢：
競技：
立場： 薬剤師
質問日時： 2013年9月26日 11:29
回答日時： 2013年9月26日 11:56
所要時間： 27分

【質問内容】

お世話になっております。
調剤薬局の薬剤師のものです。
薬品陳列の際、選手の服用の可否標示をたく、お問い合わせ致します。
急ぎませんので、ご回答をお願いいたします。

問い合わせ対象薬物
スマイル 4 OEX (ライオン株式会社) OTCの目薬です
LOLA マルチビタミン (meiji) サプリメントです
LOLA 鉄+葉酸
LOLA 食物繊維+オメガ3
LOLA カルシウム+D

宜しくお願い致します。

【回答】

・スマイル 4 OEX は、いつでも使用することができます。説明書の注意事項を守り、正しくお使いください。
・LOLA マルチビタミン、LOLA 鉄+葉酸、LOLA 食物繊維+オメガ3、LOLA カルシウム+Dは、使用をお勧めできません。
明らかに禁止される物質は確認できませんでしたが、サプリメントには表示成分以外に禁止物質を含む可能性があります。確実に使用可能であるとは言えません。

詳細はこちらをご覧ください。
東京都薬剤師会トップページから「STOP らっかりドーピング」をクリックしてください。URL <http://www.toyaku.or.jp/index.html>
回答者番号 15

No. 9

性別： 男性
年齢： 27歳
競技： バスケケットボール
立場： トレーナー
質問日時： 2013年9月28日 13:26
回答日時： 2013年9月28日 14:45
所要時間： 1時間19分

【質問内容】

この度は大変お世話になります。
以下の薬物が鎮止薬物であるかどうか判断いただきたくメールさせていただきました。
お忙しいところ申し訳ございませんが、可能でしたら迅速な対応をよろしくお願い致します。

フェキソフェナジン塩酸塩錠 60mg SAMIK
アレグラ 60mg、セチリジン、アネロニクスキャップ
プレシジョン錠 25mg、メイアクトMS錠 100mg、ロートCキューブアイスクール
Life Pack DL34821、オーバードライブ、チオビタドリンク、レッドブルー
カコナール、ピフロキシニン配合錠、ロキシシロマイシン錠 150mg「マイラン」

【回答】

お問い合わせをいただきましてお乗などについて
回答いたします。

・フェキソフェナジン塩酸塩錠 60mg SAMIK
・アレグラ 60mg
・セチリジン
・アネロニクスキャップ
こちらの4品はいつでも使用可能です。
ただし、人によっては眠気を感じる場合があります。
競技前の使用には注意をしてください。

・プレシジョン錠 25mg
(一該当商品がみつかりませんでしたので「プレシジョン25mg」でお調べしました。)
・メイアクトMS錠 100mg
・ロートCキューブアイスクール

No. 2 4

性別： 女性
年齢： 21 歳
競技： ソフトテニス
立場： トレーナー
質問日時： 2013 年 10 月 2 日 14 : 16
回答日時： 2013 年 10 月 2 日 14 : 33
所要時間： 17 分

【質問内容】

「ソリタ T-3 号輸液」 味の素製薬株式会社の薬は使用可能でしょうか？

【回答】

ソリタ T-3 号輸液には、禁止されている物質は含まれていませんが、静脈内注入に関しては制限があります。成分が禁止物質ではなくとも、成分の静脈内注入および 6 時間あたりで 50ml を超える静脈注射は禁止方法です。但し、医療機関の受診過程、また臨床的検査において正当に受ける静脈内入は除きます。

スポーツクーター等にご相談ください。

詳細はこちらをご覧ください。

東京都薬剤師会トップページから「STOP うっかりドーピング」をクリックしてください。

URL <http://www.toyaku.or.jp/index.html>

回答者番号 15

・ピフロキシニン配合錠

・ロキシシロマイシン錠 150mg「マイラン」
こちらの 5 品はいつでも使用可能です。

・Life Paack DL34821

・オーバードライブ

こちらのサプリメント 2 品については詳細をお調べすることが出来ませんでした。

そのため、判断することが出来ません。

サプリメントには、表示成分以外に禁止物質が含まれることがありますので使用をお勧めすることができません。

・チオビタドリンク

チオビタという名称のドリンク剤で

チオビタドリンク、チオビタドリンク 2000、チオビタドリンクアイピタス、チオビタドリンク 1000 は使用することが出来ます。

チオビタゴールド、チオビタゴールド 2000 は、生薬を含んでいます。

生薬には様々な成分が含まれているため、確実に使用可能であるとは言えません。そのため、使用をお勧めすることができません。

・レッドブル

明らかに禁止される物質は確認できませんでしたが、サプリメントには表示成分以外に禁止物質を含む可能性があります。確実に使用可能であるとは言えないため、使用をお勧めすることができません。

・カロナール

明らかに禁止物質を含んでいます。使用しないでください。

使用可能なものについては

説明書の注意事項を守り、正しくお使いください。

詳細はこちらをご覧ください。

東京都薬剤師会トップページから「STOP うっかりドーピング」をクリックしてください。

URL <http://www.toyaku.or.jp/index.html>

回答者番号 0 7

No. 25【No. 9、No. 10、No. 19、No. 20、No. 23と同一質問者】

性別： 男性
年齢： 27歳
競技： バスケットボール
立場： トレーナー
質問日時： 2013年10月3日 09:01
回答日時： 2013年10月3日 10:22
所要時間： 21分

【質問内容】

度々申し訳ございません。
昨日の甲状腺ホルモン、チラージンS錠について、事前に tue は申請していませんが、使用することは可能で、検査があった場合には申請が必要という認識でよろしかったでしょうか。
初歩的な質問で申し訳ございません。

【回答】

チラージンS錠につきまして、説明が不足しており、申し訳ありませんでした。
チラージンS錠は、使用可能です。事前の TUE 申請は必要ありません。
しかし、チラージンS錠（薬の成分：レボチロキシンナトリウム水和物）には、薬の作用として、ドーピングが疑われるような作用（基礎代謝を上げるような作用）があります。
よって、チラージンS錠を使用した際には、治療のための正当な使用であることを示すため、ドーピング検査を受ける際に作成する「公式記録書」の中の「医薬品とサプリメントの申告」欄*に記載をお願いいたします。
（記載を忘れた場合であっても、罰則等はありません。）

*7日以内に使用した薬やサプリメントを申告する欄

回答者番号 16

4-2 他県からの視察者への対応

国体開会式当日、事前に連絡を頂いていた長崎、和歌山、山形、岩手の4県薬剤師会の視察の方を都薬会館にお招きした。

会館では、これまで行ってきた東京都薬剤師会としてのアンチ・ドーピング活動、そして当日も機能していたホットライン24時間対応の説明を行った。

その後、開会式会場の味の素スタジアムへ移動し、ADカードを取得出来ていた県薬の方は同会場のJADAアウトリーチブースへ、その他の方は会場近くの会員薬局へご案内した。

翌日以降は、視察を希望されるアウトリーチ会場、地区薬剤師会が行うアンチ・ドーピング会場へご案内した。

スポーツ祭東京2013 視察スケジュール

日程		参加メンバー	
9月27日(金)	13:30	(直接会場に) ドクターズ・ミーティング 会場:グランドプリンスホテル新高輪3階「天平」	長崎県薬剤師会(1) 西村氏 和歌山県薬剤師会(1) 山下氏 山形県薬剤師会(2) 田中氏、石川氏 岩手県薬剤師会(1) 本田氏 東京都薬剤師会(8) 原・石垣副会長、高橋常務理事、貞松・山田理事、小林委員長、瀬谷副委員長、神戸
	17:30		
9月28日(土)	12:00	昼食をとりながらミーティング 東京都薬剤師会会館3階会議室	長崎県薬剤師会(5) 井手氏、七嶋氏、宮崎氏、西村氏、徳永氏 和歌山県薬剤師会(1) 山下氏 山形県薬剤師会(2) 田中氏、石川氏 岩手県薬剤師会(2) 中田氏、佐藤氏 東京都薬剤師会(6) 原副会長、高橋常務理事、小林委員長、瀬谷副委員長、神戸、佐藤
	13:00	開会式会場<味の素スタジアム>へ移動 都営新宿線「小川町駅」より京王線「飛田給駅」へ(42分) 徒歩5分	長崎県薬剤師会(5) 井手氏、七嶋氏、宮崎氏、西村氏、徳永氏 和歌山県薬剤師会(1) 山下氏 山形県薬剤師会(2) 田中氏、石川氏 岩手県薬剤師会(2) 中田氏、佐藤氏 東京都薬剤師会(4) 原副会長、高橋常務理事、小林委員長、瀬谷副委員長
	14:00	「飛田給駅」にて、JADA浅川氏と待ち合わせ (日薬/藤垣先生もいらっしゃいます) アウトリーチ見学	長崎県薬剤師会(5) 井手氏、七嶋氏、宮崎氏、西村氏、徳永氏 和歌山県薬剤師会(1) 山下氏 岩手県薬剤師会(2) 中田氏、佐藤氏 東京都薬剤師会(3) 原副会長、高橋常務理事、小林委員長
		開会式入場(14:00~16:15)	長崎県薬剤師会(5) 井手氏、七嶋氏、宮崎氏、西村氏、徳永氏 岩手県薬剤師会(2) 中田氏、佐藤氏 東京都薬剤師会(3) 原副会長、高橋常務理事、瀬谷副委員長

JADAアウトリーチ/薬剤師会ブース設置会場

競技	会場	9/29(日)	9/30(月)	10/1(火)	10/2(水)	10/3(木)	10/4(金)	10/5(土)	10/6(日)	10/7(月)
JADAアウトリーチ	サッカー (北区)									
	セーリング	ID不要	ID不要	ID不要						
	剣道									
	空手道									
	なぎなた									
	馬術									
	陸上競技									
	ボクシング									
	バレーボール	9-17	9-17	9-17	9-12					
	バドミントン							9-17	9-17	9-17
	ハンドボール						9-17	9-17		
	ハンドボール						9-16	9-17	9-17	9-14
	剣道									
	柔道				9-17					
薬剤師会ブース	テニス	9-17	9-17					9-17	9-17	9-17
	ソフトテニス						9-17	9-13		
	ラグビーフットボール	9-17.5								
	バスケットボール								9-18	
	ラグビー	10-16	10.5-14		10.5-14	10-12				
	ローラースポーツ								9-17	

スポーツ祭東京2013 視察名簿 (敬称略)

薬剤師会	名前	役職	9/27(金)	9/28(土)		9/29(日)	9/30(月)
			ドクターズ・ミーティング	味の素スタジアム アウトリーチ	開会式	アウトリーチプログラム	
長崎県薬剤師会	井手 陽一 (いで よういち)	(一社)長崎県薬剤師会 常務理事 学校薬剤師部会・部会長 長崎国体準備特別委員会委員長 スポーツファーマシスト	—	○	○	セーリング(若洲海浜公園ヨット 訓練所/江東区)	—
	七嶋 和孝 (ななしま かずたか)	(一社)長崎県薬剤師会 理事 長崎国体準備特別委員会副委員長 スポーツファーマシスト	—	○	○	区) なぎなた(港区スポーツセン ター/港区)	—
	宮崎 彰宣 (みやざき あきのぶ)	(一社)長崎県薬剤師会 理事 長崎国体準備特別委員会委員(諫早) スポーツファーマシスト	—	○	○	剣道(東京武道館/足立区) サッカー(西が丘サッカー場/北 区)	—
	西村 泰徳 (にしむら やすのり)	長崎国体準備特別委員会委員(長崎)	○	○	○	剣道(東京武道館/足立区)	—
	徳永 修 (とくなが おさむ)	長崎国体準備特別委員会委員(佐世保) スポーツファーマシスト	—	○	○	空手道(日野市市民の森ふれあ いホール/日野市)	—
和歌山県薬剤師会	山下 真経 (やました まさのり)	(一社)和歌山県薬剤師会 常務理事 国体対策特別委員長	○	○	—	—	—
山形県薬剤師会	田中 久美 (たなか くみ)	(一社)山形県薬剤師会 アンチ・ドーピング薬物乱用防止委員会委員 スポーツファーマシスト活動推進担当者	○	—	—	セーリング(若洲海浜公園ヨット 訓練所/江東区)	—
	石川 裕史 (いしかわ ひろし)	(一社)山形県薬剤師会 アンチ・ドーピング薬物乱用防止委員会委員 スポーツファーマシスト活動推進担当者	○	—	—	セーリング(若洲海浜公園ヨット 訓練所/江東区)	—
岩手県薬剤師会	中田 義人 (なかた よしひと)	(一社)岩手県薬剤師会常務理事	—	○	○	(未定)	(未定)
	佐藤 大峰 (さとう ひろたか)	(一社)岩手県薬剤師会 アンチ・ドーピング委員会委員 花巻地区 理事	—	○	○	(未定)	(未定)
東京都薬剤師会	原 博 (はら ひろし)	(公社)東京都薬剤師会 副会長	○	○	○		
	高橋 正夫 (たかはし まさお)	(公社)東京都薬剤師会 常務理事	○	○	○	セーリング(若洲海浜公園ヨット 訓練所/江東区)	
	小林 百代 (こばやし ももよ)	(公社)東京都薬剤師会 東京国体対策特別委員会委員長 玉川砦薬剤師会理事	○	○	—		
	瀬谷 雅行 (せや まさゆき)	(公社)東京都薬剤師会 東京国体対策特別委員会副委員長 町田市薬剤師会会長	○	—	○		



4-3 JADA アウトリーチプログラムへの協力

JADA との連携のもと、JADA アウトリーチプログラム参加のための3つの研修会（ガイダンス、実地体験、直前講習会）（3-5-2 参照）を終えたスポーツファーマシストが、JADA アウトリーチプログラムに参加した。

ブースでは、選手・コーチ等に対しアンチ・ドーピングに関する情報発信を行うとともに、ドーピング禁止薬に関する問合せにも対応した。




第68回国体体育大会 アウトリーチプログラム実施計画表		9月11日 水	9月12日 木	9月13日 金	9月14日 土	9月15日 日	9月28日 土	9月29日 日	9月30日 月	10月1日 火	10月2日 水	10月3日 木	10月4日 金	10月5日 土	10月6日 日	10月7日 月	10月8日 火	
アウトリーチプログラム参加SPリスト																		
1	水泳 (水球)	永井 倫典 榎崎 利香子		三森 隆弘 永井 倫典	及川 晶子 榎川 智行	高橋 立夫 及川 晶子												
2	水泳 (水球)		西村 清志 小林 百代	西村 清志 岡田 英之	西村 清志 古畑 元子													
3	ボート	遠藤 敦 町田 森一	黒田 雅子 高柳 匡徳	佐藤 昌義 青山 久美子														
4	開会式																	
5	サッカー																	
6	セーリング																	
7	剣道																	
8	空手道																	
9	なぎなた																	
10	馬術																	
11	陸上競技																	
12	ボクシング																	
				栗山 衛 田中 美知子				三刀屋 亮 松永 みゆき	三刀屋 亮 小野沢 岳									
								石川 正敏 加藤 重好	平柳 武義 上東 悦子	三森 隆弘 榎崎 利香子								
								鈴木 康大 吉岡 加織	鈴木 康大 吉岡 加織									
								榎山 弥寿代 伊藤 佳弘	榎山 弥寿代 江口 浩子	瀬谷 雅行 田中 由那子								
								中川 明子 清水 晴子	中川 明子 藤本 和子									
												山田 純一 眞水 淳	荒川 早苗 藤本 和子	荒川 早苗 貞松 直喜				
														小竹 慶子 原 博	栗山 衛 榎崎 利香子			
														原田 知子 山口 晶子	河西 ゆかり 山口 晶子			

4-4 国体参加者へのアンケート（北里大学薬学部）への協力


国体時にアンチ・ドーピングブースを出展する地区薬剤師会に対して、北里大学薬学部から統一アンケートの要請があった。

5 地区薬剤師会、8 競技会場でアンケートを行った。回答用紙は 2000 枚近く回収したが、ターゲットとする選手からは、14.1%しか回収できなかった。

真剣勝負の国体会場において、選手の協力を得ることは難しかった。



スポーツ祭東京 2013 参加選手・関係者の方へ



今後のドーピング防止活動の参考とするため、以下のアンケートにご協力をお願いします！

あなた自身のことについてお答えください。なお集計結果は研究発表にて使用しますが、個人が特定されることはありません。

1 病院へ行かずに買える薬（市販のかぜ薬など）を使う場合、薬をどこから手に入れていますか。
✓をしてください。（例：☑）（✓はいくつでも）

薬局 ドラッグストア インターネット 家族や友人 チームの薬

☞薬局、ドラッグストア、インターネットいずれかひとつにでも✓をした方は**2**へ。それ以外の方は**3**へ。

2 薬を買うときに、ドーピング禁止物質が含まれているか購入先に確認していますか。
最も多いケースの番号を○で囲んでください。

●薬局に✓をした方 (A B C D)

●ドラッグストアに✓をした方 (A B C D)

●インターネットに✓をした方 (A B C D)

A 確認して、はっきりと答えてもらえる。 B 確認しているが、はっきりと答えてもらえない。

C 確認していないが、他の方法で確認している。 D 全く確認していない。

◆ 以下の**3**～**5**について、どちらか当てはまる方に✓をしてください。

3 国体期間中、東京都薬剤師会がドーピングの問い合わせをメールで受け付けているのは知っていますか。

はい いいえ

4 ここ1週間以内に、病院へ行かずに買える薬（市販のかぜ薬など）を使用しましたか。

はい いいえ

5 ここ1週間以内に、サプリメントを使用しましたか。

はい いいえ

☞はいと答えた方へ。それは日本アンチ・ドーピング機構の認定商品ですか。（✓はひとつ）

はい いいえ 認定商品とそうでないもの両方使用 わからない

◆ 以下の**6**～**10**について、✓やカッコ内に文字を記入してください。

6 性別： 男性 女性


7 立場： 選手 監督/コーチ 家族 大会関係者 応援/見学 その他 ()

8 年代： 中学生 高校生 大学（短大や専門学校を含む）

◆ 社会人 (10代 20代 30代 40代 50代 60代以上)

9 競技種目： () ※選手以外の方は関係する選手についてお答えください。

10 都道府県： () ※同上



質問は以上です。ご協力ありがとうございました！

北里大学 薬学部 薬物治療学Ⅲ教室 薄井 健介, 近藤 香奈子

アンケート集計結果

背景・目的

ドーピング

競技力を高めるために禁止された薬物や方法などを使用することで、スポーツ精神に根本的に反する行為である。違反事例には医療用医薬品やOTC医薬品、サプリメント使用によるものがある。

公認スポーツファーマシスト

最新のドーピング防止規則に関する正確な知識を持ち、競技者を含めたスポーツ愛好家などに対し、薬の正しい使い方の指導、薬に関する健康教育などの普及・啓発を行える薬剤師であり、平成21年度より認定されている。

国民体育大会におけるドーピング検査

全ての選手が検査対象者となりえる。平成15年の静岡大会より導入されており、現在まで陽性者は一人も出ていない。

近年、薬事法及び薬剤師法の一部が改正され、OTC医薬品のインターネット販売が認められた。

また以前に比べて中高生のサプリメントの摂取率は高くなっているという報告¹⁾²⁾がある。

医薬品の入手環境の変化やサプリメント摂取の増加によって、選手のドーピング防止への意識は変化すると推測できる。

そのためOTC医薬品の入手方法やドーピング防止に関する意識、サプリメント摂取状況について現状を把握し解析することが、今後の啓発活動に必要と考えられる。

- 1) 加藤公・小山由基,他. 三重県内の中・高生のサプリメントなどに対する意識などの調査, 骨・関節・筋系, 14(6), 535-540 (2001).
 2) 福田亜紀, 西村明展, 他. 中学生・高校生のサプリメントに対する意識調査, 臨床スポーツ医学, 27(12), 1391-1394, (2010).

国民体育大会会場にてドーピング防止の意識等に関する現状をアンケート調査し、薬剤師による今後のドーピング防止活動の課題を明らかにすることとした。

方法

調査大会 第68回国民体育大会(東京都)

調査期間 平成25年9月14日～平成25年10月8日

調査場所 第68回国民体育大会会場

調査対象者 選手を含む来場者(原則的に中学生以上)

調査地区および会場競技

・世田谷区: テニス、ソフトテニス

・江戸川区: ボート

・調布市: サッカー、陸上

・町田市: バレーボール、バドミントン

・西東京市: バasketボール

質問内容(アンケート用紙参照)

●現状に関する調査

質問①: OTC医薬品の入手先および入手経験

質問②: OTC医薬品入手時の禁止物質の確認と入手先の対応

質問③: 東京都薬剤師会によるドーピング防止ホットライン^{*}の認知

質問④: 一週間以内のOTC医薬品使用の有無

質問⑤: 一週間以内のサプリメント使用の有無とその種類

●回答者背景

質問⑥～⑩: 性別、立場、年代、選手の競技種目および都道府県

^{*}ドーピング防止ホットライン: ドーピング防止に関する問い合わせに応じる24時間対応の電子メール版ホットライン

結果

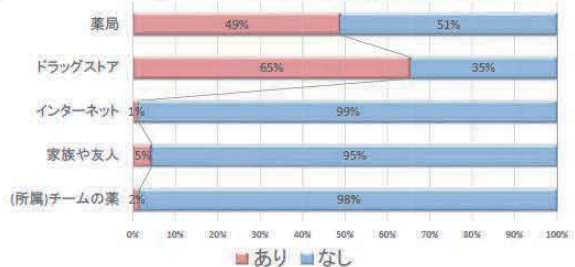
回収数: 1985 枚

回答者立場	n (%)	全回答者		選手		選手競技	
		n	n	n	n	n	n
選手	280 (14.1)	中学生	203	21	テニス	37	
監督等	95 (4.8)	高校生	461	188	ソフトテニス	44	
選手家族	128 (6.4)	大学/短大/専門	67	31	ボート	30	
大会関係者	259 (13.0)	社会人10代	63	2	サッカー	6	
応援/見学	1,117 (56.3)	社会人20代	101	29	陸上	77	
その他	66 (3.3)	社会人30代	201	3	バレーボール	26	
未記入	40 (2.0)	社会人40代	343	0	バドミントン	19	
		社会人50代	140	0	バスケットボール	31	
		社会人60代以上	251	1	その他	2	
		未記入	155	5	未記入	8	

性別	全回答者		選手	
	n	n	n	n
男性	918	142		
女性	1,022	135		
未記入	45	3		

※監督等: 監督/コーチ/トレーナー

全回答者 ①病院へ行かずに買える薬を使う場合、薬をどこから手に入れていますか。(複数回答可、n=1573)



主な入手先は薬局とドラッグストアであった

⇒薬局とドラッグストアのみ抜粋

選手

①病院へ行かずに買える薬を使う場合、薬をどこから手に入れていますか。(複数回答可、n=257)



選手以外

①病院へ行かずに買える薬を使う場合、薬をどこから手に入れていますか。(複数回答可、n=1316)



選手以外は、薬局よりドラッグストアで入手する人が有意に多い

選手

②薬を買うときに、ドーピング禁止物質が含まれているか購入先に確認していますか。



- 確認して、はっきりと答えてもらえる
- 確認しているが、はっきりと答えてもらえない
- 確認していないが、他の方法で確認している
- 全く確認していない

入手時、薬局では確認してはっきりと答えてもらえる人がドラッグストアでは全く確認していない人がそれぞれ有意に多い

選手自身の対応(確認しているかいないか)に注目すると

何らかの方法で禁止物質を確認しているのは
薬局では55%、ドラッグストアでは37%

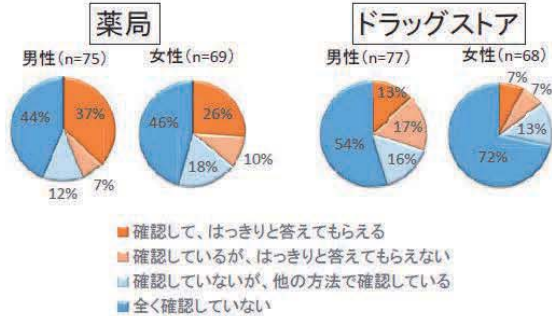
入手先(薬局・ドラッグストア)の対応に注目すると

薬局に確認している40%のうち
はっきりと答えてもらえる: 46名(79%)
はっきりと答えてもらえない: 12名(21%)

ドラッグストアに確認している22%のうち
はっきりと答えてもらえる: 15名(45%)
はっきりと答えてもらえない: 18名(55%)

選手

【性別比較】②薬を買うときに、ドーピング禁止物質が含まれているか購入先に確認していますか。



- ・男性の方が女性に比べて、確認してはっきりと答えてもらっている人の割合が多い
- ・女性の方が男性に比べて全く確認していない人の割合が多い

③国体期間中、東京都薬剤師会がドーピングの問い合わせをメールで受け付けているのは知っていますか。



④ここ1週間以内に、病院へ行かずに買える薬を使用しましたか。

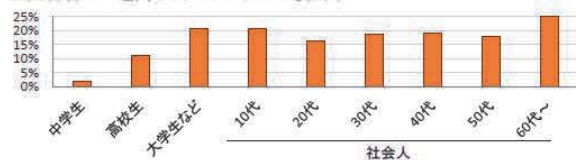


「あり」と答えた選手20名(8%)のうち
薬局での購入経験あり: 9名
ドラッグストアでの購入経験あり: 15名
⇒そのうち禁止物質を全く確認していない人
薬局: 5名
ドラッグストア: 10名

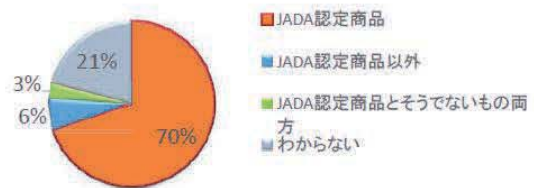
⑤ここの一週間以内に、サプリメントを使用しましたか。



全回答者の一週間以内のサプリメント使用率



選手 ⑤はいと答えた(ここの一週間以内にサプリメントを使用した)方へ。それは日本アンチ・ドーピング機構の認定商品ですか。(n=33)



JADA認定商品が70%と最も多い

JADA(日本アンチ・ドーピング機構)認定商品:
JADAが禁止物質を含まず安全に使用できると認定している商品

考察

- OTC医薬品の入手先および入手経験
- OTC医薬品入手時の禁止物質の確認と入手先の対応

・選手は選手以外に比べて、薬剤師が常駐している薬局で入手している割合が高く、さらに薬局では禁止物質を確認してはっきりと答えてもらえる人が多いことから、**薬剤師による対面での情報提供を期待している**と推測できた。一方で、薬局・ドラッグストアともに全く確認していない選手がいることから、意識は十分とは言えない。

・確認しているにも関わらずはっきりと答えてもらえない選手がいることから、**入手先の情報提供体制は不十分**である。

・女性はドーピングの関心度が低いという報告³⁾がある。本調査においても、女性の方が禁止物質を全く確認していない割合が高かったことから、女性に対する意識づけが重要であると考えられる。

3)山口功ほか、競技スポーツ選手の態度と行動特性に関するアンケート調査の検討、薬学雑誌、133(11)、1249-1259、(2013)

●東京都薬剤師会によるドーピング防止ホットラインの認知

・認知度は十分とは言えない。有用な手段であるので、今後の大会では認知度を如何に上げるかが課題である。

●一週間以内のOTC医薬品使用の有無

・選手の中には購入時に禁止物質を全く確認していない者がおり、違反者となる危険性があった。十分な指導方法を検討する必要がある。

●一週間以内のサプリメント使用の有無とその種類

・選手の使用するサプリメントの種類はJADA認定商品が70%と最も多く、認定商品の認知度は高いと考えられる。しかし認定商品以外を使用していたり、認知をしていない選手がいるため啓発が必要である。

本調査を実施した時点ではインターネット、家族・友人、チームの常備薬による入手はほとんど確認されなかったため、解析から除外した。

結語

薬剤師によるドーピング防止活動の課題

薬剤師が対面で継続的に情報提供することで、ドーピング防止規則違反を未然に防ぐことおよび選手自身の意識を高めることが期待される。



選手やチームにかかりつけのスポーツファーマシストを持つことを推奨したい。

そのためにはスポーツファーマシストの認知度を上げる取り組みが肝要である。

第47回 日本薬剤師会学術大会
COI 開示

筆頭発表者名：薄井 健介

演題発表に関連し、開示すべきCOI関係にある企業などはありません。

本研究は、北里大学北里研究所病院研究倫理委員会の承認の後に実施している。

5. 東京国体ドーピング検査実施結果

国体におけるドーピング検査は、2003年の第58回大会（NEW!!わかふじ国体）より実施されている。以来10年間、本大会冬季大会ともに陽性の検体は1例も出たことがなかった。11年目となった第68回大会では、ドーピング検査は競技会検査のみ行われた。競技会検査の検体数としては過去最多で、冬季大会が26検体、本大会が214検体であったが、ドーピング陽性は0検体で終わることができた。

◆第68回国民体育大会 ドーピング検査検体数

冬季大会	26 検体
本大会	214 検体
計	240 検体

◆検査結果

陽 性 数	0 検体
-------	------

●第68回国民体育大会冬季大会（東京都・秋田県）

検査概要 <<競技会検査>>

	実施対象競技	期 日	検査実施 会場地	検査会場	被検査者数		
					男	女	計
1	スケート競技(フィギュア)	1/28	渋谷区	国立代々木競技場 第一体育館	3	3	6
2	スケート競技(スピード)	1/30～31	郡山市	郡山スケート場	6	6	12
3	スキー競技 (スペシャルジャンプ・クロ スカントリー)	2/17	鹿角市	花輪スキー場	4	4	8
合 計					13	13	26

●第 68 回国民体育大会本大会（東京都）
検査概要 《競技会検査》

実施対象競技	期 日	検査実施会場地	検査会場	被検査者数			
				男	女	計	
1	陸上競技	10/6～7	調布市	味の素スタジアム	9	9	18
2	水泳	9/13～15	江東区	東京辰巳国際水泳場	9	9	18
3	サッカー	10/2	調布市	味の素スタジアム	8	0	8
4	ボクシング	10/8	日野市	日野市市民の森ふれあいホール	7	0	7
5	バレーボール	10/2	羽村市	羽村市スポーツセンター	0	4	4
6	バスケットボール	10/7	武蔵野市	武蔵野市立武蔵野総合体育館	4	0	4
7	レスリング	10/5～7	文京区	文京スポーツセンター	12		12
8	ウエイトリフティング	10/3～4	国立市	くにたち市民総合体育館	16		16
9	ハンドボール	10/5～6	墨田区 新宿区	墨田区総合体育館 新宿区立新宿スポーツセンター	8	8	16
10	自転車	9/29	奥多摩町	特設ロード・レース・コース	6		6
11	軟式野球	10/7	昭島市	昭島市民球場	4		4
12	馬術	10/4	あきる野市	あきる野市特設馬術競技場	2	2	4
13	フェンシング	10/5～6	台東区	台東リバーサイドスポーツセンター体育館	6	6	12
14	柔道	10/5～7	足立区	東京武道館	11	6	17
15	バドミントン	10/7	町田市	町田市立総合体育館	4	4	8
16	ライフル射撃	10/7	埼玉県 秩父郡	埼玉県長瀬総合射撃場	4	2	6
17	剣道	9/29,10/1	足立区	東京武道館	4	4	8
18	ラグビーフットボール	9/30	武蔵野市	武蔵野市立武蔵野陸上競技場	8		8
19	山岳	10/6	東久留米市	東久留米市スポーツセンター屋外特設会場	4	2	6
20	カヌー	10/5	青梅市	御嶽溪谷特設カヌー競技場	3	3	6
21	アーチェリー	10/5	三鷹市	三鷹市大沢総合グラウンド特設会場	3	3	6
22	空手道	9/29	日野市	日野市市民の森ふれあいホール	4	2	6
23	クレー射撃	10/1	千葉県 印西市	成田射撃場	6	0	6
24	ゴルフ	10/1	八王子市	八王子カントリー倶楽部 GMG 八王子ゴルフ場	4	4	8
合 計					146	68	214

※被検査者数欄の斜線は競技会未実施の種別

6. スポーツ祭東京 2013 地区薬剤師会での取り組みに関するアンケートの実施

スポーツ祭東京 2013 におけるドーピング防止活動への取り組み状況を、次年度以降の国体あるいは 2020 年東京オリンピック・パラリンピック競技大会に活かすため、地区薬剤師会に対してアンケート調査を実施した。

スポーツ祭東京 2013 地区薬剤師会での取り組みに関するアンケート

地区薬剤師会名： _____

問 1. スポーツ祭東京 2013 開催にあたり、地区薬剤師会において取り組みを行いましたか？

- ① 行った ② 行わなかった（下記に理由を記載して下さい。）
(_____)

問 2. 地区薬剤師会での取り組み内容についてチェックして下さい（複数回答可）。

- ① 会員薬局に向けての講習会の開催
 ② 他団体（医師・歯科医師・登録販売者・行政など）に向けての講習会の開催
 ③ スポーツ祭東京 2013 開催期間中に競技会場で薬剤師会ブースを開設
 ④ その他（以下に具体的に記載してください。）
(_____)

問 3. 薬剤師のドーピング防止活動は行政との適切な連携が図れましたか？

- ① はい ② いいえ（下記に問題点を記載して下さい。）
(_____)

問 4. 東京国体対策特別委員会で作成したグッズは啓発活動に活用できましたか？

- ① はい ② いいえ（使えなかったグッズを記載して下さい。）
(_____)

問 5. 東京国体対策特別委員会では 24 時間問い合わせ対応を始めとする、様々な情報を発信してきましたが、その評価はどれ位ですか？

- ① 満足 ② やや満足 ③ やや不満 ④ 不満

※ 満足頂けた点、改善すべき点がありましたら記載して下さい。

(_____)

問 6. 問 2 で「③ 競技会場で薬剤師会ブースを開設した」と回答した方に対する質問です。

問 6-1. 以下に、競技名、開設日数をご記入下さい。

(競技名： _____ 開設日数： _____ 日)

問 6-2. 薬剤師会ブースで活動いただいた薬剤師の延べ人数をご回答下さい。

また、そのうち、スポーツファーマシストの人数をご回答下さい。

延べ人数： _____ 名 (うち、スポーツファーマシスト： _____ 名)

問 6-3. ブースを訪れた人数（総数）をご回答下さい。

(約 _____ 人)

問6-4. ブースを訪れた方の多い順に()内に数字を入れて下さい。

- ① 国体参加選手() ② 競技関係者(監督、コーチなど)()
③ 大会運営関係者(役員など)() ④ 他県薬剤師会の国体担当者()
⑤ 一般の方() ⑥ その他() ()

問6-5. ブースでの活動内容すべてをチェックでご回答下さい。

- ① ドーピング防止のためのクイズ ② アンケート調査
 ③ ドーピング禁止薬に関する相談
 ④ ドーピング防止に関する資材の配布(既製・独自)
 ⑤ その他(具体的に:)

問6-6. ブースで受けた問い合わせ内容についてすべてをチェックしてください。

- ① 医療用医薬品 ② 一般用医薬品 ③ 漢方薬
 ④ サプリメント(JADA 認定) ⑤ 食品(④を除く)
 ⑥ その他()
 ⑦ 特になし

問7. 「スポーツ祭東京 2013」では皆様のお蔭をもちまして、ドーピング検査「陽性0」で無事終了する事ができました。

地区薬剤師会として、スポーツファーマシストを今後どの様に活用されるお考えでしょうか。また、スポーツファーマシストについてご意見がございましたら、下記にご記入下さい。

国体を終えての感想・ご意見等もご記入ください。

ご協力ありがとうございました

ご回答者名: _____

ご回答者連絡先: TEL/FAX _____ / _____

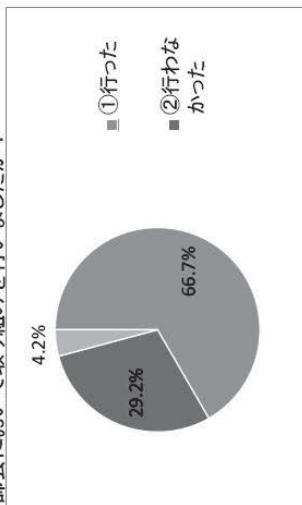
送付先: FAX 03-3295-2333

送付期限: 1月31日(金)まで

スポーツ祭東京2013 地区薬剤師会での取り組みに関するアンケート調査結果

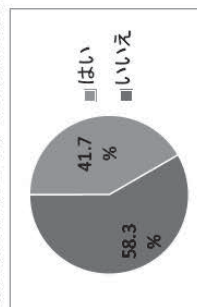
設問	回答	回答数(全48地区*のうち)	
問1 スポーツ祭東京2013開催にあたり、地区薬剤師会において取り組みを行いましたか？	①行った	32	66.7%
	②行わなかった	14	29.2%
	未回答	2	4.2%
	理由	<ul style="list-style-type: none"> ・千代田区では競技がなかったため(千代田区) ・管内には競技会場がないため(日本橋) ・中央区は国体会場とならなかった(京橋) ・区内において開催される競技会場がない ・行政等他団体・競技団体よりドーピング防止活動についての問い合わせなし(目黒区) ・JADAのブースでJADAと連携のもと活動した(北区) ・スポーツ祭東京国立市実行委員会メンバーとなったが、特に薬剤師会としては行わなかった。(北多摩・国立) ・前執行部からの問題のため不明(八王子) 	
問2 地区薬剤師会での取り組み内容についてチェック回答) 複数回答)	①会員薬局に向けての講習会の開催	20	41.7%
	②他団体(医師・歯科医師・登録販売者・行政など)に向けての講習会の開催	7	14.6%
	③スポーツ祭東京2013開催期間中に競技会場で薬剤師会ブースを開設	10	20.8%
	④その他	17	35.4%
<ul style="list-style-type: none"> ・防止フックの配布、都薬開設の電話窓口の紹介(港区) ・①アンチドーピングのリーフレット作成②区が会場におく薬のドーピングの可否の判定③試合視察(浅草) ・いろいろな不安があったがブースを立ち上げてよかったと思う(墨田区) ・他団体、会員に対し説明を行った。(江東区) ・地区研修会での発表(活動内容)報告(品川) ・宿泊施設へうっかりドーピング防止への協力をお願いしに行つた(玉川台) ・スポーツ祭東京2013開催期間中にJADAアウトリーチプログラムに参加、各薬局に情報提供(渋谷区) ・店頭での「うっかりドーピング」防止の推進(杉並区) ・JADA、JSAAと協力してアンチドーピングクイズをしてアウトリーチプログラムを実施した。(北区) ・地区研においてグッズ使用の促進、開催期間のお知らせ、薬局での対応を伝えた(板橋区) ・開催期間中選手控え室へのポスター掲示 			

* 渋谷から2名回答、北多摩は5市それぞれから回答あり
問1. スポーツ祭東京2013開催にあたり、地区薬剤師会において取り組みを行いましたか？

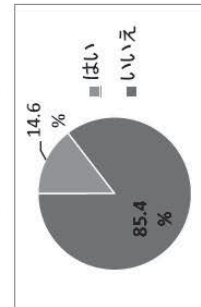


問2. 地区薬剤師会での取り組み内容についてチェック回答) 複数回答)

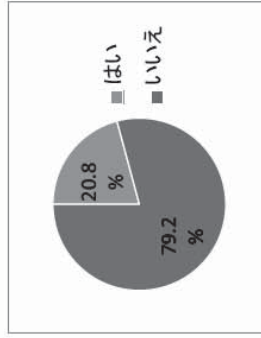
①会員薬局に向けての講習会の開催



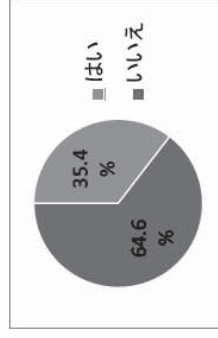
②他団体(医師・歯科医師・登録販売者・行政など)に向けての講習会の開催



* 渋谷から2名回答、北多摩は5市それぞれから回答あり
 ③スポーツ祭東京2013開催期間中に競技会場で薬剤師会ブースを開設



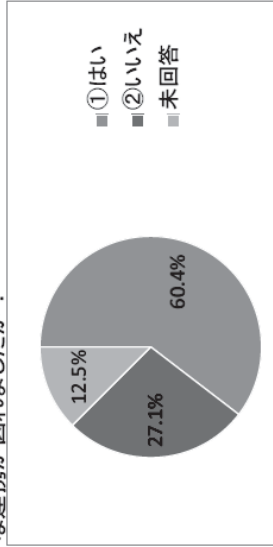
④その他



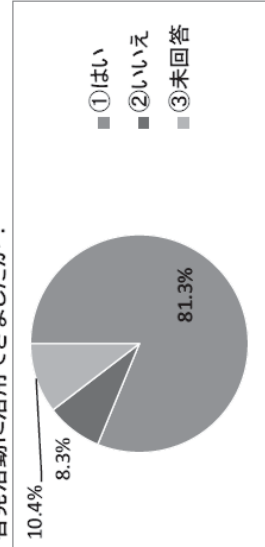
設問	回答	回答数(全48地区*のうち)
	<p>具体的に</p> <ul style="list-style-type: none"> ・会員へ大会直前チャットリストの配布 ・ドーピング防止ガイドブック使い方Q&Aの作成及び配布 ・区、スポーツ祭東京総会にて各種団体へ啓発をした(練馬区) ・のほり旗、冊子の配布のみ(葛飾区) ・ドーピング防止啓発ポスターの掲示・配布(区内の中学校・高等学校、区管轄スポーツ施設、スポーツクラブ、スポーツ関連団体、JR総武線平井駅等) ・Facebookを通じたリアルタイムの情報発信 ・iPadを利用したドーピング意識調査 ・区内の非会員薬局に啓發文書・ポスター・使用可能薬リストの配布(江戸川区) ・当薬剤師会地域内でJADAアウトリーチ開設ブースに会員スポーツファーマシスト7名が参加 ・保健所へ情報開示申請をして会員外の薬局・ドラッグストアへ講習会通知を出し合同説明会を行った(南多摩) ・非会員薬局や登録販売業に直接出向き、うっかりドーピング防止を呼びかけた。(町田市) ・行政との連携:大会中使用薬の確認(京王・狛江) ・会員薬局に向けての講習会 ・会員外薬局にむけての講習会 ・医師会に向けての講習会 ・行政との話し合いの場、実行委員会への参加 ・サッカークラブ、陸上競技開催中に薬剤師会ブース開設(京王・調布) ・研修会での注意のうながしと、ドーピング防止ガイドブックの使い方の再確認を行った。(多摩中央) ・市医師会ニュースに文章を寄稿した(北多摩・立川) ・国立市はウェイトリフティング競技会だったのでブースそのものも小さく薬剤師会として開設することはできなかった(北多摩・国立市) ・のほり、はたの作成、提供(三鷹市) ・選手に対し、アンケートの実施(配布物と一緒に封入し、Fax回答を依頼)及びドーピング防止講習会参加薬局のリスト(会員・非会員問わず)の配布(西武・小平市) ・定例会等にて情報を伝達(グッズなど)(西武・東久留米市) 	

設問	回答	回答数(全48地区*のうち)
問3 薬剤師のドーピング防止活動は行政との適切な連携が図れましたか？	①はい	29
	②いいえ	13
	未回答	6
	問題点 その他	
問4 東京国体対策特別委員会で作成したグッズは啓発活動に活用できましたか？	①はい	39
	②いいえ	4
	③未回答	5
	具体的に	

* 渋谷から2名回答、北多摩は5市それぞれから回答あり
問3. 薬剤師のドーピング防止活動は行政との適切な連携が図れましたか？

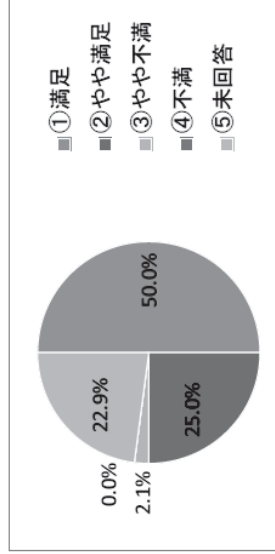


問4. 東京国体対策特別委員会で作成したグッズは啓発活動に活用できましたか？



設問	回答	回答数(全48地区*のうち)
問5 東京国体対策特別委員会では24時間問い合わせ対応を始めとする、様々な情報を発信してきたが、その評価はどれ位ですか？	①満足	24 50.0%
	②やや満足	12 25.0%
	③やや不満	1 2.1%
	④不満	0 0.0%
	⑤未回答	11 22.9%
	<p>・医師会、行政にアピール出来た(港区)</p> <p>・24時間対応が良い(文京区)</p> <p>・東京国体対策特別委員会副委員長瀬谷先生にいろいろ教えていただいた。(墨田区)</p> <p>・会員や他団体への説明がしやすかった(江東区)</p> <p>・当区では活用の報告がない(目黒区)</p> <p>・ドレーピング検査「陽性0」を目標に、関係者の努力の結果が結実したのと思っています(杉並区)</p> <p>・各会員に向けて、うっかりドレーピング等啓蒙できましたと思います。(荒川区)</p> <p>・会員薬局に伝えやすかった(板橋区)</p> <p>・24時間対応は安心感があった。地区研都業アワーでご講演いただいた内容が、会員向けの講習のかわりになったと思います。ありがとうございました。(練馬区)</p> <p>・心強かったです。ただし、24時間問い合わせ先を知らない薬剤師も多かった。これは、地区薬剤師会にも原因はあるが、その点を改善できれば、もっと良かったと思います。(足立区)</p> <p>・アウトリーチプログラムに参加したい者への要望の回答がなかった。(町田市)</p> <p>・FAX態勢ができていた事(北多摩・昭島市)</p> <p>・情報がうまく発信できていなかったと思う(北多摩・国立市)</p> <p>・他の地区の活動の情報をもらえると、活動の参考にできたのではと思う。(武蔵野市)</p> <p>・会員以外の薬局、一般販売業者へのアピールが不足していた(西武・小平市)</p>	
	満足した点、改善すべき点	

* 渋谷から2名回答、北多摩は5市それぞれから回答あり
問5. 東京国体対策特別委員会では24時間問い合わせ対応を始めとする、様々な情報を発信してきましたが、その評価はどれ位ですか？



問6. 各地区ブース内容

地区	SP人数	競技種目	ブース訪問総数(人)		訪れた方(多い順)注	活動内容	問い合わせ内容
			開設日数	開設人数			
墨田区	5	20 ハンドボール	45		関係者 > 選手 > 他県業 > 運営 > その他 > 一般 その他: 大学生(スポーツ科学部)	ドーピング防止のためのクイズ ドーピング禁止薬に関する相談 ドーピング防止に関する資料の配布(既製)	医療用医薬品 一般用医薬品 サブプリメント(JADA認定) その他(薬膳編)
世田谷	3	13 テニス、ソフトテニス	(不明)		選手 > 関係者 > 一般	ドーピング防止のためのクイズ アンケート調査 ドーピング禁止薬に関する相談 ドーピング防止に関する資料の配布	一般用医薬品 サブプリメント(JADA認定) 食品(JADA認定商品を除く)
足立区	2	6 剣道/柔道	20		一般 > 運営 > 選手 > 関係者 > 他県業	ドーピング防止のためのクイズ アンケート調査 ドーピング禁止薬に関する相談 ドーピング防止に関する資料の配布	一般用医薬品 食品(JADA認定商品を除く)
町田市	30	79 右記参照	1,200		一般 > 運営 > 関係者 > 選手 > 他県業 バドミントン、バレーボール	ドーピング防止のためのクイズ アンケート調査 ドーピング禁止薬に関する相談 ドーピング防止に関する資料の配布	医療用医薬品 一般用医薬品 食品(JADA認定商品を除く)
西東京市	8	25 バスケットボール	260		一般 > 運営 > 選手 > 関係者 (140人) (80人) (30人) (10人)	ドーピング防止のためのクイズ アンケート調査 ドーピング禁止薬に関する相談 ドーピング防止に関する資料の配布	医療用医薬品 一般用医薬品 漢方薬 サブプリメント(JADA認定)

(注) 選手：国体参加選手
関係者：競技関係者(監督、コーチ、トレーナーなど)
運営：大会運営関係者(役員など)
他県業：他県薬剤師会の国体担当者
一般：一般の方
その他：その他

7. 地区薬剤師会の活動記録

委員会では、東京の広域性と地区ごとの会員の多さ、エリアの広さを考え、これまでの各県での活動をあてはめることは難しいと判断し、各地区に指導者を養成して地区での細やかな対応をお願いすることとした。「支部がささえる東京国体」を合言葉に、アンチ・ドーピング活動を進めていった。

地区によっては、JADAの「アウトリーチプログラム」の対象となった競技会場もあり、その場所においてはJADAの指導の下、スポーツファーマシストが対応した。

それ以外の競技会場や競技が行われなかった地区では、それぞれが独自のブースを設けるなどの活動で対応した。

【地区薬剤師会の活動記録報告 記載内容】

○準備したもの

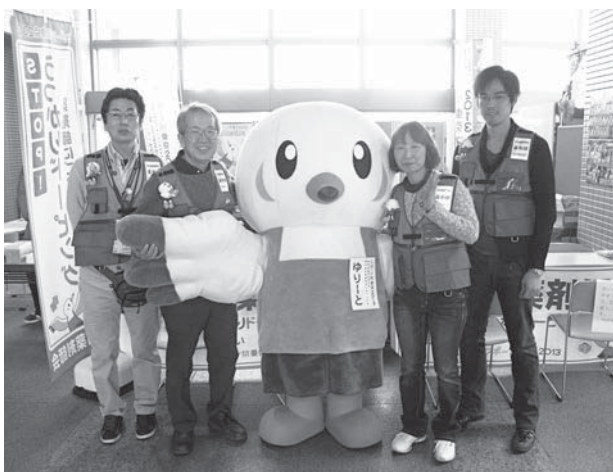
(都薬で準備したツール等以外に独自または自治体の援助で作成したものなど)

○準備期間

(対策を開始した時期、いつどこにアプローチをしたかなど)

○活動内容

(どのような場所で、どのような方達を対象に、どのようなことを行ったか)



品川薬剤師会

【準備したもの】

- 品川薬剤師会のぼり旗
- 独自ポスター作製
- 大塚製薬からポカリスエットを支援物資
- OTC 使用薬品リスト
- ドーピングについてのクイズを作成

【準備期間】

- ・ H24 年 12 月 4 日 品川地区東京国体対策ワーキングチーム立ちあげ、地域 SP へのアプローチをおこなう。
- ・ 地区研修会での啓蒙活動

【活動内容】

- 場所：品川薬剤師会会館事務所
- 対象者：SP
- ・ 東京国体までの流れ・取組みについて（2013 年国体に向け薬局・薬店へのポスター掲示・ドーピング防止ガイドブック利用推進・OTC 使用可能例リスト配布）
- ・ 品川区におけるドーピング防止活動
- ・ SP 認定薬剤師の今後の活動内容について検討
- ・ H25 年 1 月 12 日（土）にハンドボールのイベント「ハンドボールフェスタ」が開催
- ・ 品川 SP や地域薬剤師への協力
- ・ 作成したドーピングクイズを来場した方・選手にやってもらった（SP の周知）

玉川砦薬剤師会

【準備したもの】

ドーピングにならない薬の選び方
ちよっと待って！そのお薬大丈夫？？～みんなでアンチ・ドーピング～
STOP！うっかりドーピング～禁止物質を含まない医薬品を調べるには～
（いずれも独自に作成）

【準備期間】

- 2011 年 5 月頃 世田谷区スポーツ振興担当者へ薬剤師会をアピール
- 2012 年 6 月～ 世田谷区国体・障害者スポーツ大会推進担当課とリハースポーツ大会に向けた交渉と準備（救護所の医薬品チェックや競技会場でのアンチ・ドーピング活動について）
- 2013 年 6 月～ 世田谷薬剤師会のアンチ・ドーピング担当者と協議
- 世田谷区国体・障害者スポーツ大会推進担当課と国体本大会に向けた交渉と準備（救護所の医薬品チェックや競技会場でのアンチ・ドーピング活動について）
- 2013 年 7 月 世田谷薬剤師会のアンチ・ドーピング担当者と協議
- 玉川砦薬剤師会・世田谷薬剤師会合同で会員向け講習会を実施
- 2013 年 9 月 世田谷区内の国体選手の宿泊施設へ協力依頼
- 区を介して、国体監督会議において都薬作成のチラシを配布

【活動内容】

- 2012 年 7 月 リハースポーツ大会でアンチ・ドーピング活動
- 全国都市対抗テニス大会で 3 日間、全日本実業団ソフトテニス選手権大会で 2 日間、選手・関係者を対象にうっかりドーピング防止について啓発。同時に保健所と合同で熱中症対策や薬物乱用防止についても啓発。
- 2013 年 9 - 10 月 国体会場でアンチ・ドーピング活動
- テニス競技会場で 2 日間、ソフトテニス競技会場で 2 日間、選手・関係者・観戦者・大会運営者を対象にうっかりドーピング防止について啓発。
- 北里大アンケートを実施。

北区薬剤師会

【準備したもの】

特にありません

【準備期間】

当年の4月頃より北区の行政に対して国体の準備状況を確認した。

【活動内容】

9月29日～10月2日まで西が丘にある味の素フィールド西が丘において正式競技の少年サッカーが開催されました。その競技期間の9月29日～30日までJADAで行ったアウトリーチプログラムに参加してきました。

実際の仕事としては、ドーピングを身近にとらえている人が少ないため、ブースにきてもらうことから始めなければいけませんでした。観覧席に入っていく人たちにうちわを配ってブースにきてもらい、クイズを実施して、ドーピングという言葉を知ってもらうというとても地味な仕事です。幸い選手や観客の100名近い人にブースにきてもらい、色々な人と話すことができました。

今回は女子柔道の銀メダルと銅メダルを獲得されているJADAのアスリート委員長でもいらっしゃいます田辺陽子さんと一緒に活動させていただきました。

2020年にオリンピックが東京に決定した要因の一つには、日本ではドーピング違反のないクリーンなスポーツが行われているということがあると思っております。

JADAのホームページの中にあるプロモーションビデオの中にも、日本ではスポーツフェアマシストが関与して教育が行われていることが紹介されています。

スポーツフェアマシストという制度があるのは、世界で日本だけです。スポーツフェアマシストでなくとも薬剤師ができるアンチ・ドーピング活動があるということは、今回のスポーツ祭東京2013において実感された方もいると思います。幸いなことに、今回のスポーツ祭東京2013で実施された214の競技会検査においてドーピング違反はありませんでした。今後、国民に対してドーピングの意識をさらに深める役目を我々薬剤師が持っているという意識で仕事していかなくてははいけないと思いました。

江戸川区薬剤師会

【準備したもの】

- ・選手、コーチ等を対象にしたインターネット上QRコード対応相談フォーム
- ・うっかりドーピングの防止、相談フォーム啓発パンフレットの作成
- ・会場薬剤師会ブースに設置するうっかりドーピング啓蒙クイズとパネル
- ・スパイロメトリー
- ・会場最寄駅に掲示するうっかりドーピングの防止、相談フォーム啓発ポスターの作成

【準備期間】

スポーツフェアマシストワーキンググループを2011年に設立し、薬剤師会内で2012年より委員会化し定例会議を開始。

【アプローチ先】

- 江戸川区文化共有部スポーツ振興課 (2012年春～)
- 区営運動施設 7つポスター掲示依頼 (2013年8月～)
- フィットネスジム等区内運動関連商業施設 (2013年8月～)

【活動内容】

選手、コーチ等を対象にしたインターネット上QRコード対応相談フォームより入力があると、当薬剤師会スポーツフェアマシスト委員会に即座にEメールが送られ、委員会内ダブルチェックの後、質問者に回答する仕組みを作成。その啓蒙を江戸川区民祭り、ウォーキングフェスタにて配布。同内容A0版ポスターを会場最寄駅広告スペースに掲載。区内中学高校、運動関連商業施設にも配布し掲示を依頼。

国体会場にてスパイロメトリーを用いた肺年齢測定を行い、同時に薬とスポーツに関する相談の対応を実施。同時にうっかりドーピングに関するクイズを国体会場に掲示、それを通しての競技者へのうっかりドーピング防止啓蒙。

国体会場でのiPadを用いた主に選手に対するアンケートを実施。ドーピングに関する教育状態と実際の持参薬の管理状態を検討。

南多摩薬剤師会

【準備したもの】

- ・ドーピング防止ガイドブックを簡略化したものを作成。病院、クリニック、宿泊所で、ガイドブックを開いて、問い合わせに対応してもらおうのは大変だと思ったので、簡略化して、手元においてもらった。

【準備期間】

- ・地区の薬剤師向けに、2011年4月から、11回、地区薬剤師会の会報送付の際に“2013スポーツ祭東京に向けて”というコラムを掲載。ドーピングについて、薬剤師が出来ること等をテーマに啓蒙活動をした。
- ・各市の準備委員会に参加（他職種の方への啓蒙）
 1. 常備薬のチェック
 2. ドーピングについての説明
 3. 薬剤師がアンチ・ドーピング活動でできることの説明
- ・地区薬剤師（東京都薬剤師会会員だけでなくすべての薬剤師）に向けて勉強会実施

平成25年4月18日 19:30～21:00 パルテノン多摩第一会議室においてドーピング防止講習会（講師：都薬理事：山田先生、瀬谷先生）

【活動内容】

医師会：ドーピングに関わる薬が処方薬の中にもあることを説明、注意喚起を医師会長から、医師会会員に向けてアピールしてもらった。
宿泊所：簡単に市販薬を販売しないように説明。使用可能薬剤のリストを渡しながら、迷ったら連絡をもらえようように、段取りをした。
アウトリーチプログラム：JADAの方たちと協力しアンチ・ドーピングのテキストを設営し、アンチ・ドーピング活動を選手、家族、監督等に主に行い、試合を見に来ていた一般の方にも、スポーツ精神等について解説（アンケート、設営のためのポスター、資料についてはJADAで用意してくれた）。

町田市薬剤師会

2010.8	町田市国体実行委員会設立総会
2011.2	同常任委員会
2011.5	同医事衛生委員会
2011.8	同常任委員会、総会
2011.10.21	南多摩保健所講習会町田会場にてアンチドーピングアナウンス
2012.2.8	町田市国体常任委員会
2012.5.10	薬局管理者講習会（高橋常務理事からアンチドーピング活動）
2012.8.8	町田市国体常任委員会、総会
2012.8.23	町田市国体対策課と打合せ会
2012.10.4～6	岐阜国体、池田町バドミントン大会視察
2012.11.14	町田市薬剤師会リハースアル大会説明会
2012.11.23～25	国体リハースアル大会（バドミントン2部リーグ）
2013.2.12	町田市国体常任委員会
2013.5.22	町田市国体対策課と打合せ会
2013.6.27	うっかりドーピング防止対策（町田保健所と共催）
2013.7.22	薬剤師へのアンチ・ドーピング打合せ会
2012.8.9～19	アンチ・ドーピング、登録販売業への個別周知活動
2013.8.23	相模原薬剤師会国体対策要請
2013.9.2	国体対策課と打合せ会
2013.9.25	アンチ・ドーピング、宿泊施設7箇所の対応依頼
2013.9.29～10.2	アンチ・ドーピング防止活動（バレーボール少年男女）
2013.10.4～7	アンチ・ドーピング防止活動（バドミントン全種目）
2014.2.6	町田市国体実行委員会総会

西東京市薬剤師会

〔準備したもの〕

- ・配布資料としてアンチ・ドーピンググッズ及びアンケート、クイズ及びビンケート回答参加賞として森永製菓より JADA 公認飲料ウィダーインゼリー、大塚製薬ポカリスエットを協賛。
- ・禁止薬、使用可能薬の相談、その他薬の相談においては、検索、問合せ用にドーピング防止ガイドブック、パソコン用意。

〔準備期間〕

- ・平成22年から西東京市国体実行委員会の委員として携わり統括事項を決定。大会前年8月にリハサル大会が開催、競技会場救護所に配備する医薬品、衛生用品を提供し、この経験をもとに本大会においても医薬品、衛生用品を提供。行政との連携により薬剤師、薬局の国体におけるアンチ・ドーピング活動、スポーツフェアマシストの役割等を理解して頂き、本大会においてアンチ・ドーピング啓発ブース開設
- ・岐阜国体剣道競技会場（関市）の JADA アウトリーチプログラムブースを視察
- ・三師会、他職種（医療、介護、福祉、行政関係）への啓発活動としてドーピング防止をテーマに講演会を開催。

〔活動内容〕

- ・西東京市総合体育館（バスケットボール競技会場）開催2日間、競技会場内、屋外にアンチ・ドーピング啓発ブースを開設
- ・競技者、競技関係者、一般来場者を対象に、アンチ・ドーピンググッズを解きドーピング防止に関する知識をもつて頂き、スポーツフェアマシストの存在をアピール、禁止薬、使用可能薬の相談、その他薬の相談。

港区薬剤師会

〔準備したもの〕

なし

〔準備期間〕

なし

〔活動内容〕

港区薬剤師会会員でスポーツフェアマシストの資格を持っている 中川明子（中川薬局）・清水晴子（清水薬局芝大門店）2 名が港区スポーツセンターにて開催された「なぎなた」競技に参加いたしました。

中川明子 9月29日・30日

清水晴子 9月29日

浅草薬剤師会

〔準備したもの〕

リーフレット作成

〔準備期間〕

プレ国体の時から台東区所属課に

- * スポーツフェアマシストがいること
- * 会場設置の医薬品についてドーピング可否判断が可能なおことを文書で伝え、実際にプレ国体時から可否判断の依頼あり。ドーピング対象薬品を別の薬品に変更指示をした。

〔活動内容〕

フェンシング会場に設置する薬品の可否を判断。決勝戦に「視察」という名目で会場見学。

江東区薬剤師会

【準備したもの】

【準備期間】

【活動内容】

- ・薬剤師会ブースは設置いたしませんでした
- ・地区の薬局には都薬作成資料の活用方法をあわせて連絡して、うっかりドレーピング防止に協力してもらいました
- ・国体競技会会場（水泳・ボート）でのみ JADA との協力でアンチ・ドーピング啓蒙活動にスポーツファーマシストが活動いたしました。

板橋区薬剤師会

【準備したもの】

- ・特にはありません。

【準備期間】

- ・対策を開始した時期は忘れられました。板橋区にアプローチしましたが、正式種目（競歩のみ）がないせいかわ、特に対策はないとの事でした。

【活動内容】

- ・薬剤師会地区研で、近隣の区(北区・豊島区)で正式種目があるという事で、会員薬局に対応のお願いをしました。

足立区薬剤師会

【準備したもの】

足立区の方でテントだけは用意してもらったので、そのテントに張り付け看板を足立区薬剤師会で作成しました。

【準備期間】

JADA がアウトリーチプログラムを実施すると分かった時点で、足立区に直接アプローチしました。

また、区内の会員外の薬局への声かけをしようかと思っただけですが、時期が遅く、行うことができませんでした。

【活動内容】

足立区にアプローチした際、薬剤師会でアンチ・ドーピングに沿った OTC リストなどを作成した方がいいたか聞きました。しかし、JADA が直接情報をくれるから不要と言われ、何もできませんでした。また、区が全く積極的ではなかったため、声かけを継続したにも関わらず薬剤師会への要請は何もありませんでした。

アウトリーチが行われない柔道の期間で、スポーツファーマシスト以外にもアンチ・ドーピング活動の協力を募りました。その結果、10 人弱の協力者が集まり、また実習生も集まりました。

ブースに来てくれた方達の殆どが競技者以外でしたが、幅広い方々へのアンチ・ドーピング活動ができたと思います。

西多摩薬剤師会

【準備したもの】

【準備期間】

【活動内容】

西多摩保健所と協力して、会員及び会員以外の薬局にアンチ・ドーピングの講習を行った。

武蔵野市薬剤師会

〔準備したもの〕

- ・「うっかりドーピング注意」喚起のチラシ（B5版 独自作成）
- ・「東京都薬剤師会」の“のぼり旗”（都薬より借用）

〔準備期間〕

2013年6月より活動開始
武蔵野市スポーツ祭担当者へアプローチ
ちらし作成に関しては、パンフレットをHPにアップしていた江戸川区薬剤師会より助言をいただきました。

〔活動内容〕

競技会場内 選手・コーチなどが使用する更衣室のあるフロアにブースを設置。
選手・コーチの方を対象として、ドーピングに関する相談の受付、うっかりドーピング防止の啓発活動を行なった。
市民の方々には活動報告書をHPに載せることで活動内容を報告し、会員には報告書を配布いたしました。

三鷹市薬剤師会

〔準備したもの〕

ドーピング防止ガイドブックを元にした資料

〔準備期間〕

不明

〔活動内容〕

三師会（医師会、歯科医師会、薬剤師会）の正副会長会で、競技者の受診が想定されるので配慮をお願いすると同時にドーピング防止ガイドブックを元にした資料を配布した。

8. 都薬雑誌を活用した周知及び活動報告

大会開催 2 年前より、会員に国体並びにアンチ・ドーピング活動について周知および啓発を行った。また、関連記事を掲載した。

- 2011 年 10 月号より、シリーズ「スポーツ祭東京 2013 にむけて」を 2012 年 8 月号までの間に 8 回掲載
- 2011 年 11 月号：「最近のスポーツ界のドーピングに関する話題」
- 2012 年 7 月号：「高校生を対象としたドーピング防止教育について」
- 2013 年 1 月号：「2012 年ロンドンオリンピック医務視察報告」
- 2013 年 4 月号：「東京国体対策特別委員会の活動について」

大会終了後、2014 年 7 月までに、国体での活動報告、今後のスポーツファーマシストの活動への期待について掲載した。

- 2013 年 12 月号：「さあこれからだ、スポーツファーマシスト」
- 2014 年 4 月号より、シリーズ「スポーツ祭東京 2013 活動報告」を 2014 年 7 月号まで 4 回掲載



マスコミ
キャラクター
ゆりーと

「ゆりーと」は、原色の鳥「ゆりかもめ」がモチーフで、「アスリート」や「多くの人が、東京都を舞台に、夢と目標に向かって羽ばたいていくよう、スポーツ祭東京2013を応援します。」

スポーツ祭東京2013にむけて ～東京国体で薬剤師に求められること～

東京薬業調剤会 出版担当理事
スポーツ祭東京2013実行委員会薬事専門委員
公認スポーツアロマセラピスト推進委員
高橋 正夫

■**スポーツ祭東京2013とは**
平成25年に東京都で、「第68回国民体育大会」と「第13回全国障害者スポーツ大会」を一つの祭典として開催するスポーツの大会です。東京都在る国民体育大会(国体)の開催は、昭和34年の第14回大会以来、54年ぶりに3回目、全国障害者スポーツ大会は初めて都内全域で開催されます。

■**会期**
平成25年(2013年)9月28日(土)～10月14日(月)
第68回国民体育大会：平成25年9月28日(土)～10月8日(火)
第13回全国障害者スポーツ大会：平成25年10月12日(土)～10月14日(月)

■**第68回国民体育大会**
主催：財団法人日本体育協会、文部科学省、東京都
※各競技会については、財団法人日本体育協会加盟競技団体と会場地区市町村を合わせた五者共催で行います。

■**実施競技**
正式競技(37競技)：陸上競技、水泳、サッカー、テニス、ボート、ホッケー、ボクシング、バレーボール、体操、バスケットボール、レスリング、セーリング、ウエイトリフティング、卓球、ハンドボール、自転車、ソ

フトテニス、バドミントン、軟式野球、相撲、馬術、フェンシング、柔道、剣道、ソフトボール、弓道、ライフル射撃、ラグビー、空手道、銃剣道、クレール射撃、なぎなた、ボウリング、ゴルフ

公開競技(3競技)：高等学校野球、ビーチバレー、トライアスロン
デモンストレーションとしてのスポーツ行事：デモンストレーションとしてのスポーツ参加のできる行事です。
スポーツ祭東京2013では、50種目を実施します。

【参加者数 約22,000人(選手・監督)】

■国民体育大会(国体)とは

都道府県持ち回りで毎年開催される国内最大の国民スポーツの祭典です。広く国民の間にスポーツを普及し、国民の健康増進と体力の向上、地方スポーツの振興と地方文化の発展に寄与することを目的としています。

国民体育大会(本大会)と、国民体育大会冬季大会に分かれており、都道府県対抗で実施します。

本大会では、正式競技37競技、公開競技(高等学校野球)について、予選を勝ち抜いた各都道府県を代表する選手が、熱い戦いを繰り広げます。

■スポーツ振興法第6条(国民体育大会)

1. 国民体育大会は、財団法人日本体育協会、国及び開催地の都道府県が共同して開催する。
2. 国民体育大会においては、都道府県ごとに選出された選手が参加して総合的に運動競技をするものとする。
3. 国は、国民体育大会の円滑な運営に資するため、財団法人日本体育協会及び開催地の都道府県に対し、必要な援助を行うものとする。

■国体のはじまり

全国の主な都市が盛り野原となった戦後の混乱の中、スポーツを通して国民とやり取りする少年に勇気と希望を与えようと、戦災を免れた京都を中心とした京阪神地域で昭和21年に第1回大会が開催されました。北は北海道、南は鹿児島から食事や毛布を持参して参加する選手がいたなど、当時の国体参加への意気込みや情熱がうかがえる逸話も数多く残されています。

その後、天皇杯・皇后杯の授与・都道府県対抗・都道府県持ち回り方式が確立され、昭和62年第42回大会(沖縄県)で全国を一巡し、現在は二巡目に入っています。

また、平成18年第61回大会(兵庫県)から、大会運営の簡素・効率化を図るため、夏季大会と秋季大会が統合され、これまで冬季・夏季・秋季の3季別に分かれていた国体大会は、国民体育大会と冬季大会の2季別で開催されることとなりました。

■第13回全国障害者スポーツ大会

主催：厚生労働省、財団法人日本障害者スポーツ協会、東京都、開催地区市町村、社会福祉法人東京都社会福祉協議会、社団法人東京都身体障害者団体連合会、社団法人東京都盲人福祉協会、社団法人東京都聴覚障害者連盟、社会福祉法人東京都知的障害者育成会、

東京都精神保健福祉民間団体協議会、公益社団法人東京都障害者スポーツ協会、東京都障害者スポーツ指導員協議会、財団法人東京都体育協会

■実施競技

【正式競技(13競技)】

- ・個人競技(6競技)：陸上競技、水泳、アーチェリー、フライングディスク、ボウリング、卓球(中ラウンド)、バスケットボール、車いすバスケットボール、ソフトボール、グランドソフトボール、バレーボール、サッカー、フットベースボール
- ・オープン競技：今後選定予定(広く障害者の間にスポーツを普及する観点から有効と認められる競技を「オープン競技」として実施します。)

【参加者数 約5,500人(選手・役員)】

■全国障害者スポーツ大会とは

都道府県持ち回りで国体終了後に国体の開催で行われる障害者スポーツの全国的な祭典です。障害のある選手が、競技等を通じてスポーツの楽しさを体験するとともに、国民の障害に対する理解を深め、障害者の社会参加の推進に寄与することを目的としています。大会は、3日間の会期で開催され、競技規則に定められた個人競技6競技、団体競技7競技の13競技及びオープン競技が実施されます。

■全国障害者スポーツ大会のはじまり

昭和40年から開催されてきた「全国身体障害者スポーツ大会」と平成4年から開催されてきた「全国的障害者スポーツ大会」を統合した大会として、平成13年に宮城県で第1回大会が開催されました。以降、オリンピック終了後に開催されるパラリンピックのようになり、国体終了後に開催されてきました。平成20年の大会からは、精神障害者のパ

レーボールが加わり、身体障害者・知的障害者・精神障害者の方が一体となって行う、現在の全国障害者スポーツ大会の形ができてきました。

■国民体育大会での薬剤師のアンチ・ドーピング活動
さて、薬剤師と国体のつながりは何なの？と思われた方もいると思います。

2003年に静岡県で開催された「NEW11わかふじ国体」で、国体でのドーピング検査が始まりました。この時、静岡県薬剤師会が、「薬局におけるアンチ・ドーピングガイドブック」を作成し、さらにドーピングホットラインを設置するなど、現在国体で行われているアンチ・ドーピング活動を初めて実施しました。

2004年には、日本薬剤師会がアンチ・ドーピングに関する特別委員会を設置し、その後、埼玉(2004年)、岡山(2005年)、兵庫(2006年)、秋田(2007年)、大分(2008年)、新潟(2009年)、そして昨年の千葉(2010年)と、毎年、開催地の薬剤師会が国体のアンチ・ドーピング活動に携わってきています。

今年(2011年10月)は山口、来年(2012年)が岐阜、そして2013年は東京と続きます。

■薬剤師の国体での活動(アスリートのためにできること)

国体期間中に選手・監督など、約2万2千人の人たちが東京に集まります。それ以外にも選手の家族や知人・友人も東京に來られることが考えられます。

選手本人やその関係者が、あなたの薬局に薬を求めて来た時にどう対応しますか？

- 来局した関係者の薬の相談
 - 購入しようとする薬へのアドバイス
 - 処方薬についての監査・アドバイス
 - こうした対応の中で、できることは？
 - うっかりドーピングを防ぐ
 - アスリートに安心して競技に臨んでもらう
 - パフォーマンスをよりベターな状態にする
- うっかりドーピングを防ぐことは、お薬に關わっている薬剤師だからこそ重要な仕事になります。普段の薬剤師としての活動を通して、東京での国体の競技大会をサポートできる、つまり間接的ではありますが、スポーツ祭東京2013に参加できるのです。

開催地	開催年	開催地	開催年
1	東京都	16	立川市
2	東京都	17	茨城県
3	東京都	18	三鷹市
4	東京都	19	青柳町
5	東京都	20	津中市
6	東京都	21	高崎市
7	東京都	22	奥州市
8	東京都	23	町田市
9	東京都	24	小笠原市
10	東京都	25	小平市
11	東京都	26	日野市
12	東京都	27	東村山町
13	東京都	28	国分寺市
14	東京都	29	国分寺市
15	東京都	30	国分寺市
16	東京都	31	国分寺市
17	東京都	32	国分寺市
18	東京都	33	国分寺市
19	東京都	34	国分寺市
20	東京都	35	国分寺市
21	東京都	36	国分寺市
22	東京都	37	国分寺市
23	東京都	38	国分寺市
24	東京都	39	国分寺市
25	東京都	40	国分寺市
26	東京都	41	国分寺市
27	東京都	42	国分寺市
28	東京都	43	国分寺市
29	東京都	44	国分寺市
30	東京都	45	国分寺市
31	東京都	46	国分寺市
32	東京都	47	国分寺市
33	東京都	48	国分寺市
34	東京都	49	国分寺市
35	東京都	50	国分寺市
36	東京都	51	国分寺市
37	東京都	52	国分寺市
38	東京都	53	国分寺市
39	東京都	54	国分寺市
40	東京都	55	国分寺市
41	東京都	56	国分寺市
42	東京都	57	国分寺市
43	東京都	58	国分寺市
44	東京都	59	国分寺市
45	東京都	60	国分寺市
46	東京都	61	国分寺市
47	東京都	62	国分寺市
48	東京都	63	国分寺市
49	東京都	64	国分寺市
50	東京都	65	国分寺市
51	東京都	66	国分寺市
52	東京都	67	国分寺市
53	東京都	68	国分寺市
54	東京都	69	国分寺市
55	東京都	70	国分寺市
56	東京都	71	国分寺市
57	東京都	72	国分寺市
58	東京都	73	国分寺市
59	東京都	74	国分寺市
60	東京都	75	国分寺市
61	東京都	76	国分寺市
62	東京都	77	国分寺市
63	東京都	78	国分寺市
64	東京都	79	国分寺市
65	東京都	80	国分寺市
66	東京都	81	国分寺市
67	東京都	82	国分寺市
68	東京都	83	国分寺市
69	東京都	84	国分寺市
70	東京都	85	国分寺市
71	東京都	86	国分寺市
72	東京都	87	国分寺市
73	東京都	88	国分寺市
74	東京都	89	国分寺市
75	東京都	90	国分寺市
76	東京都	91	国分寺市
77	東京都	92	国分寺市
78	東京都	93	国分寺市
79	東京都	94	国分寺市
80	東京都	95	国分寺市
81	東京都	96	国分寺市
82	東京都	97	国分寺市
83	東京都	98	国分寺市
84	東京都	99	国分寺市
85	東京都	100	国分寺市

スポーツ祭東京2013にむけて ～東京国体で薬剤師に求められること～



マスケット
キヤークター
ゆりーと

【ゆりーと】は、原色の鳥「ありかもめ」がモチーフです。「マスケット」や多くの人がおなじみの「ゆりーと」もどきの鳥をモチーフに、夢と自然に調和した鳥の姿を表現し、スポーツ祭東京2013を応援します。

第一章 うっかりドーピングとスポーツファーマシスト

東京都薬剤師会 出版担当理事
スポーツ祭東京2013実行委員会医薬部専門委員
公認スポーツファーマシスト推進委員
高橋 正夫

た。その当時は禁止されていた吸入薬を、喘息気味の競走馬に使ってしまったのです。禁止物質の使用はもちろんなこと、禁止物質を所持していたり、検体採取を拒否することもドーピング違反となります。

- ◆ドーピングや国際競技会などで禁止される違反行為のことです。
- ◆国民体育大会においても、2003年に静岡県で開催された「NEWいわかふじ国体」からドーピング検査が始まりました。

その語源は、南アフリカの先住民のカーフィール族が、Dope（ドープ）という興奮や興奮を与え、ドラッグを戦いの前の出陣式などで疲労回復・士気向上のために使用していたことに由来しています。

選手本人の意思によるドーピングの他、以前は、監督やコーチから知らぬうちに投与されていたこともありました。旧共産圏国では知らず知らずのうちに身体がほろほろになってしまったオリンピック選手がいたことも皆さんの記憶にあるのではないのでしょうか。

また、馬術競技や競馬などで、馬に対してのドーピングもあります。

以前、フランスの凱門賞で、日本の競走馬が失格になったことがありました。これは、実はうっかりドーピングによるものでした。

また、馬術競技や競馬などで、馬に対してのドーピングもあります。



馬術

その当時は禁止されていた吸入薬を、喘息気味の競走馬に使ってしまったのです。禁止物質の使用はもちろんなこと、禁止物質を所持していたり、検体採取を拒否することもドーピング違反となります。

- ◆ドーピングや国際競技会などで禁止される違反行為のことです。
- ◆国民体育大会においても、2003年に静岡県で開催された「NEWいわかふじ国体」からドーピング検査が始まりました。

その語源は、南アフリカの先住民のカーフィール族が、Dope（ドープ）という興奮や興奮を与え、ドラッグを戦いの前の出陣式などで疲労回復・士気向上のために使用していたことに由来しています。

選手本人の意思によるドーピングの他、以前は、監督やコーチから知らぬうちに投与されていたこともありました。旧共産圏国では知らず知らずのうちに身体がほろほろになってしまったオリンピック選手がいたことも皆さんの記憶にあるのではないのでしょうか。

また、馬術競技や競馬などで、馬に対してのドーピングもあります。

以前、フランスの凱門賞で、日本の競走馬が失格になったことがありました。これは、実はうっかりドーピングによるものでした。

てしまい、理由の如何にかかわらず、成績は抹消されてしまいます。こんな状況で失格になってしまうことを「うっかりドーピング」といいます。

世界大会に出場するよう選手には、チームとしてスポーツドクターがついており、選手の手を使っているお薬、居所などをしっかり管理しているのです。選手が自分でお薬を買って服用することはほとんどありません。また万が一、やむを得ない状況の時には、その薬が使えるかどうかを問い合わせる担当者もいます。

しかし、一般の選手たちは、多くが自己判断での使用を余儀なくされています。

そんな選手たちを「うっかりドーピング」から救うことができるボジションに、私たち薬剤師もいるのです。

■なぜ薬剤師がかかわるのか

当然のことながら薬の専門家だからです。使用禁止表には必ずしも薬の名前で記載はされていません。例えば、「β作用薬は禁止」といわれても、もらったお薬がこれに当たるといわれるか、一般の選手が判断するのは難しいことです。薬の専門家である薬剤師ならもちろん可能ですね。

また、実際に薬の調剤、販売等を行っていることが重要なことです。患者さんに最終的に薬を渡しているのは薬剤師です。薬局での選手や監督・コーチとのコミュニケーションによって、「うっかりドーピング」は有効に防止することができます。

■スポーツファーマシスト

そのような状況の中で、日本薬剤師会と日本アンチ・ドーピング機構（JADA）との協働により現在の薬剤師のアンチ・ドーピング活動をさらに充実させるために登場したのが「スポーツファーマシスト」です。

ドーピング防止と薬物・薬劑に関する専門的な知識を有し、スポーツ現場において競技者や指導者からの薬に関する問い合わせに応じること、また、教育現場等においてドーピング防止教育を行うこと、さらに、ドーピング防止活動を通じて、競技者やスポーツ愛好家に正しい薬の使い方の指導や薬に関する健康教育を行うことができる薬剤師を養成する目的で登場しました。

スポーツファーマシストの役割は、「スポーツドクターとの緊密な連携のもと、ドーピング禁止薬の問い合わせの応対や、競技者の使用薬管理を行うとともに、薬物・薬劑の適正使用に関する知識の普及を積極的に行う。また、学校・地域保健活動における薬物乱用防止活動を行う」とされています。

以下の場合が、近い将来、スポーツファーマシストの活躍の場として考えられています。

- ◆中央競技団体のアンチ・ドーピング委員会
 - ◆都道府県体育協会のアンチ・ドーピング委員会
 - ◆スポーツ系大学の保健センター
 - ◆プロスポーツ、社会人チーム
 - ◆指導者講習会等の講師
- 《一般へのドーピング防止啓発として》
- ◆学校保健活動（学校薬剤師として）
 - ◆総合型地域スポーツクラブ
 - ◆スポーツクラブ

これからのスポーツファーマシストの活動によって、社会から認知され、その地位も確立できるものと考えています。

スポーツファーマシストは、毎年3月に募集を開始します。場合によっては、応募の倍率が高く、抽選になることもあります。認定を取得するためには、5月から7月に行われる基礎講習会を受講し、さらに10月から翌年

2月の間に行われる実務講習会を受講します。その後3月にインターネットを介しての「到達度確認チェック」を受験します。合格すると4月に申請を行い、認定証を受け取ります。

その後は、毎年実務講習会を受講し、4年ごとに基礎講習会～到達度チェックを行い更新することとされています。

よく、「スポーツファーマシストの取入は？」とか、「これで飯は食えるの？」と聞かれることがあります。今は、ボランティアに等しいのが現状です。

是非、活躍の場が広がり、必要とされ、フィーを受け取れるように頑張りたいものです。

■東京都薬剤師会としての対応

東京都薬剤師会では、平成23年2月19日の土曜日に、アンチ・ドーピング支部指導者伝達講習会を開催し、各支部に対し、平成25年に東京で国体が開催される旨を周知し、支部の地域で開催される競技に対応できるように、昨年の千葉国体の状況説明を含めてお話ししました。

都薬の中に「東京国体対策特別委員会」を立ち上げ、スポーツファーマシストを取得されている先生方を中心に、今後の活動として会員の先生方の実務でお役に立てるグッズや、相談への対応などを検討していきます。

この経過につきましても、伝達講習会とともに、随時、「都薬雑誌」上で公表してまいりますので、是非参考になさってください。また、JADAとの国体対応のための打ち合わせも開始しました。

東京都には、「東京都スポーツ振興局国体・障害者スポーツ大会推進部」がすでに立ち上がっており、「スポーツ祭東京2013」に向けて各部門での活動を始めています。

東京都薬剤師会が関わっているものに、本会の桑原会長が出席している「スポーツ祭東京2013実行委員会」と私が出席している「スポーツ祭東京2013実行委員会」があります。会長の委員会は国体を統括する事項を決定しているものです。

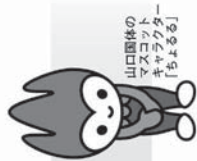
「医事専門委員会」では、医療・救護を担当する部署で、当然、医薬品が関わってきます。

- ◆ 救護所等での使用医薬品の選定におけるドーピング薬の排除
- ◆ 選手や大会関係者に向けたアンチドーピング活動
- ◆ 各会員薬局での選手や大会関係者への薬品の選択



陸上競技

このような活動の分野に東京都薬剤師会として関与していくことになるのです。



スポーツ祭東京2013にむけて ～東京国体で薬剤師に求められること～

第二章 山口国体を視察して

東京都薬剤師会 出版担当理事
スポーツ祭東京2013実行委員会医事専門委員
公認スポーツファーマシスト推進委員
高橋 正夫

そんな中でも競技場の目の前にある店舗では、何人か購入に関する相談を受けたようだということでした。

写真2のように店舗で扱っているOTC医薬品の中でドーピング禁止薬の成分が入っていない医薬品には、買いに来た関係者が安心して使用できることをPOPで掲示してあります。

翌10月1日の開会式当日、山口県薬の本大会の活動について、山口県薬より説明があり、それを受けて、来年の間催地である岐阜県薬、再来年の間催地である東京都薬、東京都の後の間催地である長崎県薬、そして国体の担当が毎年視察に出ている宮崎県薬の先生方とともに、ディスカッションを行いました。その後、開会式会場へと移動し、アウトリーチプログラムの見学をさせていただきました。(写真3)

アウトリーチプログラムとは、選手や大会

■おいでませ山口国体・山口大会
今年の国体と障害者スポーツ大会は山口県で開催されました。

会期は、国体が10月1日～11日、障害者スポーツ大会が10月22日～24日でした。9月30日～10月2日の3日間、私と石垣常務理事との2人で山口に出張し、山口県薬剤師会の活動を視察しました。

■山口県薬剤師会の大会での活動

開会式前日の9月30日のお昼に、開会式会場の維新百年記念公園陸上競技場のある山口市に着き、市内のドラッグストアでの対応について視察しました(写真1)。

数件の店舗でお忙しい中、少しだけお話を伺いましたが、まだ開会式前ということもあってか、大会関係者からの薬品購入に関する相談を受けたという方はいませんでした。



写真2 商品に付けた安心カード



写真1 告知のための旗とポスター



写真3 維新百年記念陸上競技場のアウトリーチプログラムのイメージ



写真4 JADAと山口県薬による説明の様子

関係者のいる競技場などにごちから出向いてその場所にブースを出し、単にドーピングの相談を受けるだけでなく、選手などに対して、こちらから積極的に、そしてしっかりとドーピングについて知ってもらうよう働きかける活動方法です。効果的に行うために、選手や関係者とが接しやすい競技会場を選んで行きます。

翌日の10月3日は、山岳競技が行われている山口県セミナーパークにおけるアウトリーチプログラムを視察し、出席されている会員の先生に話をうかがいました。この会場は、屋外での競技があるために、関係者が立ち寄りやすい場所にブースが確保されていました。

写真4は、黒い服のJADAの担当者、赤い上着の山口県薬のスポーツファーマシストの先生が、うっかりドーピングの知識や、ドーピングの状況、検査方法等について、パソコンによるクイズ、パネルを使った紙芝居等を使って説明している様子です。

選手関係者も、日常生活内にうっかりドーピングの危険性が隠れていることを知り、驚きを感じない表情で認識を新たにしていました。

■山口県薬からの活動報告

山口県薬会館で山口県薬からご説明いただいた活動報告並びに各都県薬で行ったディスカッションの内容は表のとおりです。

山口県薬での活動を、皆さんの参考にしていただきたいと思います。

■都薬での今後の活動について

東京国体では、開催場所の状況や、医薬品やサプリメントにかかわる店舗等の数が多いことなどから、山口県と同じような活動を展開することは現実的ではありません。

都薬では、東京国体対策特別委員会において、支部指導者講習会を通じて、先生方とともに情報をお届けいたします。11月12日の講習会では「支部で支える東京国体」というテーマで、今後の対応について説明をさせていただきます。

地区によっても対応方法に様々な違いが出てくると考えられます。支部から先生方へ、これからのいろいろなアプローチがあると思います。

今後も、緊密な情報交換を行い、東京国体に向けて活動していきたく思っております。先生方からのご意見、ご質問を是非、都薬にお寄せください。

表 山口国体・山口大会における山口県薬剤師会 活動報告

平成21年度までの取り組み

- ・ドーピング対策特別委員会を6名のメンバーで立ち上げる
- ・ドーピング防止相談薬局ネットワークを作成
- ・ドーピング対策に関する山口県薬剤師会主催の研修会、講習会を開催し、講師カードを配布
- ・日薬の石井幹後、静岡の久生先生による講習会
- ・スポーツファーマシスト基礎講習会
- ・ドーピング対策がスタター作成
- ・プレ大会救急班医薬品チェック
- ・山口県医師会報にスポーツファーマシストについて掲載(平成22年1月)
- ・新潟国体視察(平成21年9月、2名)

平成22年度の取り組み

- H22年より本格的に委員会を開催（6回）委員9名（常務センターの職員2名を含む）、支部委員8名
- 関係団体との連携
 - ・県薬務署、国体局
 - ・スポーツアママシスト基礎講習会、委員会などに薬務課・国体局・国体協から出席
 - ・医師会との連携
 - ・スポーツドクターによる講演（1回）
 - ・薬務課を通じて協議会開催
 - ・医薬品登録販売者協会（薬種協）を対象とした研修会実施（約80名）
 - ・医薬品商業組合においてドーピング対策の講演実施
 - ・店舗販売業者（ドラッグストア）に対する講習会実施
 - ・配剤薬講習会において講演実施
- 研修会、啓発活動
 - ・全県規模の研修会（2回）、支部研修会（10回程度）実施
 - ・山口県薬剤師会報にドーピングについて連載（7回）
 - ・山口県薬剤師会報にドーピングについて連載（7回）
 - ・学校薬剤師会研修会、山口県学校現場衛生研究会などで発表
 - ・九州山口薬学大会で市民公開講座を実施（北海道薬 室岡先生）
 - ・プルーフライン運動（使用可能なOTC薬にアレルギーのリボンを巻く）
 - ・リボンの不正な操作、表示の法的な問題、残ってしまった商品への対応方法などの指摘があり断念
- ガイドブックの配布（全額取費補助）
 - ・薬剤師会1000冊（会員居医病院、薬局に1冊配布）
 - ・関係団体1000冊（登録販売者協会200、医師会300、薬剤師会200、県体協300）
 - ・スポーツアママシストの乗取
- H22年12月実施の表彰講習会で147名が受講。（H21年は8名認定取得）
- 前年度開催地への視察
 - ・9/25（土）、9/26（日）に千葉国体開会式を視察（5名）

平成23年度、ドーピング対策特別委員会、事業

- 大会期間中の2時間ホットライン開設（どこでも My Fax 導入）
- 医師会、薬剤師会、登録販売者等への講習会開催及び講師派遣
- 「ガイドブック」配布（薬剤師のためのドーピング防止ガイドブック）
- ドーピング防止啓発ポスター作成及び配布
- OTC薬によるうっかりドーピング防止対策 安心カード運動の普及
- JADAアワードリーナープログラム
- 総合開会式および06総括会場でドーピング防止に関する啓発活動・相談受付
- 「スポーツアママシスト160人（他々）参加
- 「本センターホットライン（ピンク）」ホームページ開設
 - ・講習会案内
 - ・ホットライン番号案内など
- のほり体験「うっかりドーピング」のほり（もよる野）80枚＋ポータル80枚
 - ・「はせごう」うっかりドーピング」のほり（もよる野）80枚＋ポータル80枚
 - ・アウトラリーチ各会場（20枚）、開会式会場（10枚）、スポーツアママシストのいるドーピング防止相談棟
 - ・員に配布
 - ・「はせごう」うっかりドーピング」のほり（広島版）600枚
- 支部講習会・ドラッグストア講習会参加施設に配布
 - ・支部講習会への対策
 - ・県内9ヶ所の登録診療所にガイドブック、ポスター、問合せ用紙、ドーピング防止相談薬局リストの送付、ホットライン番号案内
 - 広報活動
 - ・山口市報にドーピングについての記事掲載
 - ・医療関係団体連絡協議会において山口県薬剤師会の取り組みについて紹介
 - ・山口新聞「おいでませ」山口国体「応援紙」に広告掲載（ホットライン番号等を掲載）
 - ・医薬品商業組合機関紙にドーピングについて掲載
 - 支部講習会「山口国体に向けて、ドーピング防止ガイドブックの使い方」
 - ・県内8ヶ所で開催
 - データベース作成
 - ・薬剤師のためのドーピング防止ガイドブック2011年版
 - ・JPNドーピングデータベース 第2版
 - ・日薬データ（H23.11以降回答分）
 - ・使用可能薬の成分で精しるみ



マスコミ
スポーツ
タレント
ありと

【のりーと】は、都府の鳥「のりかみ」がモチーフです。「アスリート」や多くの人々が、東京都を舞台に、夢と目標に向かって羽ばたいていくよう、スポーツ振興部2013を応援します。

スポーツ祭東京2013にむけて ～東京国体で薬剤師に求められること～

第三章 東京国体対策特別委員会の活動

東京都薬剤師会 東京国体対策特別委員会 委員長
公認スポーツファーマーシスト推進委員
小林 晋代

■委員会発足
平成25年で国体が開催されることは皆済すでに御承知のことと思います。それに
対応すべく、国体の2年前に当たる平成23年
に「東京国体対策特別委員会」を発足致しま
した。

■今までの活動
平成23年11月12日に、ドーピング防止活動
支部指導者養成講習会を実施致しました。こ
れは同年2月に同様の講習会を開催して以
来、2回目に実施です。第1回目では、平成
25年に東京で国体が開催されることを知って
いただいたのに続き、今回の第2回目では、
支部で国体を支える必要があることを伝達し
ました。
国体に参加する選手・監督は、約22,000人
と推定されています。東京における国体で、
参加選手からドーピング違反者を1例も出さ
ない事が最大の目的となります。特に知識不

足や不注意による「うっかりドーピング」を
防ぐこと、これはスポーツファーマーシストの
みならず私達個々の薬剤師の役目です。支部
ごとに研修会を開催するなどして、隔々まで
情報を行き渡らせることに努めますので、足
非皆様には使命感をもって対応していただき
たいとお願ひ致します。

国体の競技会場の運営は、その競技会場の
ある市区町村に任せられます。そのため、市区
町村単位で実行委員会が組織されます。競技
会場に設置される救護所に配備する医薬品の
中に、ドーピング違反となる成分を含むもの
を入れないよう、各支部が地元行政と連携
する必要がある出てきます。正式種目の競技会場
がないという支部もありますが、選手が宿泊
場所や練習会場に選べる可能性はあります。ま
た、地元で東京代表の選手がいる可能性も考
えられ、決して無関係ではないことをご理解
ください。

■これからの活動

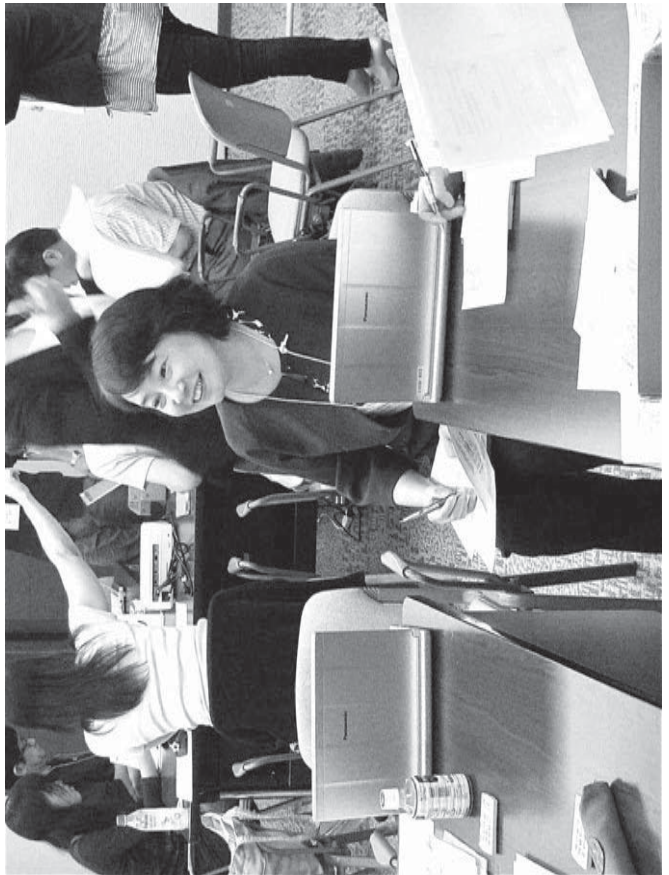
公認スポーツファーマーシスト特別認定プロ
グラムの実施を計画中です。スポーツファ
ーマーシストの認定を受けるには、日本アンチ
ドーピング機構(JADA)の実施する基礎講
習会と実務講習会を受講し、さらに知識到達
度確認試験にパスする必要があります。しか
し、この認定プログラムは人気があり、全国
からの応募があるのに、受講できる人数には

限りがあります。東京国体の前年となる平成
24年に、東京におけるスポーツファーマーシス
トの人数を増やせるよう、正規プログラムの
講習会とは別に、東京に限定した独自の基礎
講習会を開催できるよう、JADAに働きかけ
て準備を進めて参ります。

さらにこの度、東京国体対策特別委員会の
中に3つのワーキンググループを設置致しま
した。①使用可能薬データベースの構築やガ
イドブック等、ドーピング防止に関わるシス
テムについて検討するグループ。②各薬局に
配布するポスター、スラッカー、安心カード
等のグッズや、相談可能薬局リスト等の広報

について検討するグループ。③各支部におい
て実施する研修会を始め、各種関係団体に向
けての啓発活動について検討するグループ。
以上の3つです。平成25年ともなれば、ス
マートフォンの普及が今よりもっともっと
進むことを考慮に入れた検討ができればと考
えております。

委員会の活動は、まだ始まったばかりで
す。東京国体を来年に控えたこの平成24年
は、さらに実践的な検討を重ね、皆様に情報
発信していきたいと考えております。どうぞ
宜しくお願い致します。





マスコットキャラクター

「ありと」は、都鳥の鳥「ありかも」がモチーフです。「ありと」は多くの人が、東京祭を機に、夢と目標に向かって羽ばたいていくよう、スポーツ祭東京2013を応援します。

スポーツ祭東京2013にむけて ～東京国体で薬剤師に求められること～

第四章 支部の果たす役割

東京都薬剤師会 東京国体対策特別委員会 副委員長
一般社団法人 町田市薬剤師会 会長
兼 薬合 実行

■はじめに

毎年行われる国体で他道府県と東京国体の大きな違いはなんでしょうか？

国体に参加出来る選手は規定で定められていますので、変わりません。その数は選手、監督を入れて約22,000人です。それに対する薬局、店舗販売業の数が東京都は圧倒的に多いことが他道府県との違いとなります。

2009年のデータでは全国の薬局数は58,304軒であり、その内訳としては一昨年の開催県である千葉県は2,182軒、昨年の山口県は799軒、今年開催の岐阜県は954軒、そして東京都は6,008軒と全国の11%を占める高比率です。

表 2011年5月現在の都内薬局数

薬局	6,090
店舗販売業	1,839
一般販売業	397
薬種商販売業	255
合計	8,581

改正薬事法の移行期ではありますが、最新の東京都のデータ(表)で示すとおり、会員・会員外を問わず8,581軒もの薬局等へ「うっかりドーピング防止」の周知を行う必要があるということです。

東京都薬剤師会では、東京都やJADAと密やかな連携を図りながら「スポーツ祭東京2013」の準備を固々と進めております。しかしながら、東京都は他道府県より圧倒

的に薬局数が多いことから、支部主導で準備を進めていかなければ「薬剤師のアンチドーピング活動」は機能しません。

すなわち、「スポーツ祭東京2013」においては、アンチドーピング活動のキーパーソンは東京都薬剤師会の支部となります。

■町田市の動向

2010年7月7日に「スポーツ祭東京2013」の正式開催が決定され、サッカー、バレーボール、軟式野球、バドミントンが町田市の実施競技として承認されました。これを受けて、町田市では同年8月20日に団体実行委員会設立総会が開催され、国体の準備がスタートしました。

その後、2011年2月に常任委員会、5月・12月に医事衛生委員会、8月に総会および常任委員会を開催しています。いずれの委員会にも町田市薬剤師会から理事が参加し、その運営に携わっています。

町田市では昨年、2つのスポーツイベントで嬉しい出来事がありました。

1つは夏の高校野球大会で「日大三高」が全国制覇を果たし、さらに山口国体においても公開競技ですが高校硬式野球で優勝いたしました。そしてもう1つは町田市のサッカークラブチーム「町田ゼルビア」が東京都の3番目のチームとしてJリーグ(J2)に昇格したことです。

この「町田ゼルビア」が使用するホーム



写真1 町田市立陸上競技場

グラウンド「町田市立陸上競技場」(写真1、2)は、多摩丘陵地帯の広大な野津田公園内にあります。

Jリーグの施設規定では観客席数等の規定があり、その規定に合わせるべく、町田市は昨年以降段階的に整備工事を始めております。

2013年の国体では、この競技場はサッカー会場として使用されます。また、バドミントンとバレーボールの会場となる「町田市立総合体育館」(写真3)では、照明設備の改修、床の張り替え工事を今年の3月末までに終了する予定です。

軟式野球の会場となる「小野路グラウンド」(写真4)では、防球ネットやクラブハウスの改修工事などが一昨年から今年の6月まで継続的に行われております。



写真3 町田市立総合体育館



写真2 町田市立陸上競技場

町田市はこの様に「スポーツのまち・町田」を全国に発信すべく、都内のどの地区よりも先駆けて「ハード面」と「ソフト面」の整備に着手しています(写真5)。

■町田市薬剤師会の動向

町田市薬剤師会では2010年の町田市の国



写真4 小野路グラウンド



写真5 町田市国体用ジャンパー

体実行委員会設立総会を受けて、スポーツファーマシストの理事を中心に「団体対策アンチドーピング委員会」を設置しました。設置当時は第1回スポーツファーマシスト実務講習会受講の抽選に全員が漏れてしまい、第2回を受講中の理事で委員会を構成しました。2011年には暗れて全員がスポーツファーマシストに認定され、本格的に活動を開始しました。

○町田市への活動

市職員の人事異動が毎年繰り返されることから、文化スポーツ振興部団体推進課担当者にあらかじめ「薬剤師会の団体におけるアンチドーピング活動」、「スポーツファーマシストの育成目的・役割」を説明致しました。

○医師会・歯科医師会への活動

三師会懇親会の席で、「スポーツ祭東京2013の開催内容」と「スポーツファーマシストの医師への情報提供」、「WADAコードで1月1日変更となる薬物」などを説明し、特に「薬剤師の主な活動はうっかりドーピング防止活動である」ことを強調致しました。

スポーツドクターであるが、禁止薬物が判らず、スポーツ選手が来た場合はいつも大学病院に回していたという医師もあり、薬剤師が情報提供をきちんと行えば、ドーピングの無い医療が行なえるという認識を共有することができました。

○南多摩保健医療圏薬事講習会（於：町田会場）における活動

東京都保健衛生局（保健所）主催の薬事講

習会は、当該地域の薬局等（会員外も含む）を集めて毎年開催されます。昨年の講習会では、保健所から時間をいただき、「スポーツ祭東京2013の開催」、「アンチドーピング活動」、「スポーツファーマシスト」について講演致しました。

■まとめ

今回のシリーズ第4章では、「支部の果たす役割」として、主に町田市の現状をご紹介します。全く競技が行われない支部もあれば町田市以上に準備が進んでいる支部もあろうかと思えます。

以下の3つの行動が「スポーツ祭東京2013」にむけた支部の果たす役割ではないかと考えます。

- 行政（区市町村）の担当者と連携を図る
- 医師会・歯科医師会そして病院へアンチドーピング活動の広報を行う
- 会員・会員外の垣根を超えて、全薬局等へ「うっかりドーピング」を起こさないための確実な情報提供を行う

2003年の静岡国体からドーピング検査が国体に導入されて以来、昨年2011年の山口国体まで、担当した各県の薬剤師会の努力により未だにドーピング検査陽性者0名の記録が続いております。

スポーツ祭東京2013においても「うっかりドーピング0名」を目指して頑張りますように。



マスコミやキャラクターの「ありと」は、種々の「ありと」がモーターです。「ありと」や多くの人が、東京を舞台に、夢と目標に向かって動いていくよう、スポーツ祭東京2013を応援します。

スポーツ祭東京2013にむけて

～今日、あはれた薬局にスポーツ選手が来るかもしれません～

第五章 街の薬局におけるアンチ・ドーピング活動

東京都薬剤師会
常務理事
一瀬 信介

■街の薬局が果たせる役割
平成25年に東京都で開催される国体まであと2年。東京都薬剤師会では薬剤師の職能を発揮できるスポーツファーマシストの役割について、「都業雑誌」や支部の担当者への伝達講習会などを通じて説明しております。その役割の中で、開局薬剤師による一般用医薬品の販売や調剤業務のうちドーピングの発見・防止およびアドバイスについて、選手及び関係者から大きな期待が寄せられています。

私の薬局のある文京区は東京ドームホテルや古くからの旅館が点在し、スポーツ大会時には地方からの学生などが宿舎として利用することが多く、その時にかぜ薬などを薬局で購入する機会があります。選手は眠くなったり、体がだるく感じるのを選けるため、漢方薬を指名する傾向が多くみられます。葛根湯や小青龍湯などは麻黄が含まれるため、服用することはできません。麻黄の成分であるエフェドリンや総合感冒薬中のメチルエフェドリン、鎮咳去痰薬中のβ₂作用薬などは禁止薬物なのです。またOBなどが激励のために高濃度ドリンクを差し入れることもあり、これも成分によってはドーピング違反になります。このように悪意のないドーピング違反（うっかりドーピング）を、販売する薬剤師によって未然に防ぐことができます。

また、選手やトレーナーなど関係者から相談を受けることもあります。私の薬局で

は、あるプロ野球の球団と古くから繋がりがあり、今でも医薬品についての相談を受けました。一番多い相談は、選手が自分で購入してきたOTC医薬品についてドーピング違反にならないか？という問い合わせです。プロ野球の選手も数年前から抜き打ちのドーピング検査があり、尿検査により陽性が出れば、処分の対象となります。球団関係者も大変神経を遣って対応しています。相談の実例をいくつか挙げてみます。

■相談の実例

ある投手は、ドーム球場での登板の時は球場内が乾燥しているためと、捕手のサインをしっかりと見るために目薬を一試合で半分近く使用します。ドーピングが厳しくなる前は、ナファゾリンが配合された目薬を好んで使用していました。目薬とはいえ大量に点眼すると尿検査で検出されます。現在は理由を話し、薬型の目薬に変更しています。花粉症の時期にはOTC医薬品の点鼻薬にもナファゾリンが主成分のもので多数あるので注意が必要



また持主の人も結構多いのですが、時の座薬の中にもステロイド配合のものがあり、それらは使えません。

最近の選手がCMを見て、便がきみでおなかが出てきた選手がCMを見て、その薬の購入を希望してしまいました。中味は防風通聖散なので麻黄が入っていますよと教えましたら「まさか便秘の薬にドーピング禁止薬が配合されているとは！」と選手もトレーナーも冷や汗をかいておりました。

サプリメント・健康食品も、特に海外からの購入品は原則使用禁止にしています。表示以外の禁止物質が混入されている場合があるからです。

この球団では、新しく購入された医薬品についてすべて私の薬局に連絡してきて確認を依頼されます。

このように球団からは薬に関しても良い相談相手としての評価をいただき、現在も良好な関係が続いております。

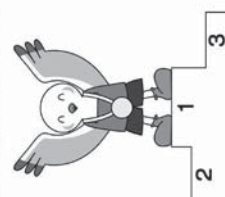
もちろん調剤用医薬品でも同様に注意が必要です。麻黄を含む漢方薬、花粉症の時期のセレスタミン、βブロッカー、利尿剤等々、処方医がドーピングに対しての意識が低かったり、配合剤の成分を把握していなかったりした場合、処方されてしまっています。処方せんを受け付けた薬剤師にドーピングの知識があればチェックができ、未然にうっかりドーピングを防ぐことができます。

■アンチドーピング活動に向けて

プロ・アマ問わず競技会等では、故意に行われたドーピングもうっかりドーピングも同様に判定され、処分の対象となります。選手にとっては選手生命にも影響する大きな問題を我々薬剤師が未然に防ぐことにより、選手に安心して本来のパフォーマンスを行ってもらうことができます。

このように街の薬局には多くのスポーツ選手が訪れます。販売や相談のために、東京都薬剤師会から配布された「薬剤師のためのドーピング防止ガイドブック」はアンチドーピング活動に非常に役に立ち、活用できるガイドブックです。この機会にぜひもう一度熟読し、薬局の薬剤師や登録販売者の方々にも指差し、薬局全体で対応できるようにしてください。今日、あなたの薬局の店頭にもスポーツ選手がやってくるかもしれません。

薬剤師の職能を活かしたスポーツファーマシストの取得のための講習会が本年も開催されます。取得や更新時に試験があったり、登録料が分かかりますが、薬の専門家として存在感が発揮できる資格です。ぜひチャレンジしてください。



2 1 3



【ゆりーと】は、郵民の鳥（ゆりかもめ）がモチーフ。多くの人がゆりーとを「ゆりかもめ」から「ゆりーと」だと誤認していることから選ばれています。スポーツ界誌2013を応援します。

スポーツ祭東京2013にむけて ～東京国体で薬剤師に求められること～

第六章 薬局での心構え

東京都薬剤師会常務理事
スポーツ祭東京2013実行委員会医事専門委員
公認スポーツファーマー
高橋 正夫

■うっかりドーピング
第1章（都業雑誌Vol.34 No.1）で「うっかりドーピング」について説明しました。

たとえば、エフェドリン、メチルエフェドリンなどは、かぜをひいた時によく用いられます。一般医薬品にも含まれている成分ですが、興奮薬として禁止物質に指定されているためドーピング検査で陽性になった時には、使用した選手はたとえ意図的に使用したのではなくても処分の対象となります。

薬局で薬を買う、処方せんの薬をもらう、こんな時に多くの選手たちは、その薬が禁止物質に該当するかどうかかわからずに、自らの責任での医薬品の使用を余儀なくされています。そんな選手たちをうっかりドーピングから



日薬発行「薬剤師のためのドーピング防止ガイドブック 2011年版」
JADA発行「世界ドーピング防止規程 2012年禁止表国際基準」

救うために、今から何をしておけばよいかを考えてみましょう。

■薬剤師のためのドーピング防止ガイドブック
皆さんの薬局に、毎年「薬剤師のためのドーピング防止ガイドブック」が届いていると思います。今まで、手にとってその中をご覧になっていますか？

なぜ、毎年新しい本が来るのでしょうか？
ドーピングの禁止物質や禁止方法などは、WADA（世界アンチドーピング機構）の策定する「禁止表国際基準」によって世界共通のルールで決められています。この基準が毎年改定され、1月1日から発効されます。このため、薬剤師会の作成しているガイドブックも、毎年新しいものが発行されるのです。

ちなみに、このガイドブックは毎年国体が開催される都道府県の薬剤師会が日本薬剤師会の支援のもと作成しています。

WADAでは、翌年に使う国際基準を10月に公表しています。これをJADA（日本アンチドーピング機構）が翻訳し、各スポーツ団体、体育協会、そしてスポーツファーマー協会などに配布していますが、この作業が概ね12月過ぎになります。これをもとにして、日薬と国体開催県

ドーピング防止ガイドブックの概要

内容
本書について
世界アンチ・ドーピング機構（WADA）禁止表規程のドーピング禁止薬物の作用と禁止医薬品例
WADA禁止表の主要な変更点
特に気を付けたい一般医薬品と健康食品・サプリメント
使用可能薬リスト/一般用医薬品
使用可能薬リスト/医療用医薬品
ドーピング検査Q&A
治療目的使用に係る除外措置（TUE）及びその確認書・申請書フォーマット
よくある質問、WADAドーピング・タイムズ
薬剤師会ドーピング防止ホットライン 他
索引（使用可能薬リスト掲載医薬品の一覧表）

の薬剤師会でガイドブックの手直しをして新年版を作成します。このため、みなさんのお手元に届くのが、その年の6月頃になっているのです。

このようにして作られたガイドブックですが、これがかなりの優れた物です。

JADAの訳した国際基準では、禁止物質として一般名での記載になっており、スポーツファーマシストの認定を受けていない方にとってはわかりにくい面がありますが、このガイドブックでは、「禁止医薬品」「使用可能医薬品」の両面から検索できるようにしており、薬局での業務に対応しやすく作られています。

■薬局にある禁止薬はなんだろう

さて、みなさんはご自分のいる薬局で扱っている医薬品の中で、ドーピング検査で陽性の判定をうけてしまうものをおわかりになっていますか？

国体の期間中に、2万人以上の選手や大会関係者が滞在するであろうといわれています。この方たちが、一般用医薬品や処方せんのお薬を求めて薬局し、皆さんがお薬に四

る相識を受ける状況を想像してください。
禁止物質を十分に把握しているスポーツファーマシストのおられる薬局であれば安心かもしれません。そうでない薬局の皆さんでも大丈夫です。

自分の薬局の取り扱い医薬品の中で、「使うことのできないものを知っておく」こと、なによりもこのことが実際の状況で慌てない対応ができる賢明な作戦です。

どうすればいいかって？
今回紹介したガイドブックの出番です！国体の直前ではなく、ぜひ、今のうちからページを聞いて、ご自分の薬局の医薬品の分類を始めてみてください。

■地区薬剤師会の一員として

東京都薬剤師会では、平成23年11月12日に「支部がささえる東京国体」をテーマとするドーピング防止活動支部指導者育成講習会を開催しました。

「スポーツ祭東京2013」として東京で国体と障害者スポーツ大会が開催されるまでもう二年を切ったこの機会に、支部の地域で開催される競技で、救護所での医薬品の選択やドーピング防止の啓発活動ができるように、また、開催されない地域でも宿泊やシヨッピングを介して来局するアスリートや関係者への適切な対応、さらに地元のアスリートが選手として出場する状況も考えられることなどを説明し、質疑討論も行いました。

また、都業では日本アンチ・ドーピング機構（JADA）との間で、東京での国体への対応のためには多くのスポーツファーマシストの育成が必要と考え、7月に会員や会員の薬局に勤務する薬剤師が優先的に受講できる東京独自の「基礎講習会」の開催を企画しました。これにより、毎年全国単位で開催される基礎講習会への受講を併せるとスポーツファーマシストの認定を希望するほとんどの在京薬剤

師が受講できるようにになると考えられます。

■ドーピング・ゼロを目指して

国体で初めてドーピング検査が行われた2003年静岡での「わかふじ国体」から、昨年の「おいでませ山口国体」まで、各県薬劑師会の努力の甲斐があつてドーピング・ゼロが続いています。今年の岐阜での清流国体でもドーピング・ゼロにむけて、今、岐阜県薬の

方々は必死で取り組まれています。

さて、そのあとの来年のわが東京は…。

上述しましたように、東京では広域での競技および宿泊への対応が難しく、支部単位での行き届いた対応が必須となってきます。ぜひ皆さんで地域の薬劑師会と一体となつて、ドーピング・ゼロを目指してください。

そのために、まず自分が、そして自分の薬局でできることから始めてください。



マスケット
ホクリン
ゆりーと

「ゆりーと」は、都民の鳥「ゆりかもめ」がモチーフです。「マスケット」や多くの人が、東京都を舞台に、夢と目標に向かつて羽ばたいていくよう、スポーツ振興局2013を応援します。

スポーツ祭東京2013にもつて 緊急号外

第七章 東京都が平成25年冬季国体の開催地に決定しました!!

東京都薬劑師会常務理事
スポーツ祭東京2013実行委員会医薬部専門委員
公認スポーツファアーマンシステム推進委員
高橋 正夫

■第68回 国民体育大会冬季大会

平成25年に開催される第68回国民体育大会冬季大会スケート・アイスホッケー競技会については、これまで開催地が決定していませんでした。昨年12月2日に日本体育協会と文部科学省から開催決定書を東京都が受領し、日本体育協会の承認を受けて、平成24年6月に下記の通り日程・会場が正式決定いたしました。

国体の競技会は開催県内で実施するのが原則ですが、本冬季大会のスケート競技会のうちスピードスケートのみ被災地の復興支援という観点から福島県内*で開催されることとなりました。国民体育大会開催基準事項で定める近県などのブロックを越えて都（県）外で競技会を開催することは、冬季大会では本大会が初めてとなります。

■大会概要

1 日 程
平成25年1月26日（土）～2月1日（金）

2 会 場

- (1) スケート競技会
 - ・スピードスケート：郡山スケート場（福島県郡山市*）
 - ・ショートトラック：江戸川区スポーツランド（江戸川区）
 - ・フィギュアスケート：代々木競技場第二体育館（渋谷区）
- (2) アイスホッケー競技会
 - ・ダイトードリンコアイスアリーナ（西東京市）
 - ・東大和スケートセンター（東大和市）

*同冬季大会におけるスキー競技会については、秋田県での開催が決定しています。

■東京都薬劑師会の対応

冬季大会が、来年に入っすぐに東京都で開催されることが決定したことによって、私たちが行う東京国体におけるアンチドーピング活動を半年以上も早めなければならなくなりました。



競技が開催される区・市は江戸川区、渋谷区、西東京市、東大和市ですが、それら区市のみならずスケート競技、アイスホッケー競技の選手が宿泊する地域においても注意を払わなければなりません。

東京都薬劑師会では、現在、東京都のスポーツ振興局スポーツ祭東京推進部に大会会場の敬護所における在庫医薬品リストの照会を行い、ドーピング禁止薬の存在を確認し、各選手団が宿泊する施設の所在地を確認している

ところですが、情報が入り次第、会員の皆様に速やかにお知らせいたします。

■支部および薬局での対応

競技開催該地区の先生方には冬季国体に備えて、都薬配布の「薬劑師のためのドーピング防止ガイドブック2012年版」を参照の上、ご自身の薬局の取り扱い医薬品から、禁止物質と使用可能薬を選別しておかされることをお奨めいたします。



最近のスポーツ界のドーピングに関する話題

東京都薬物乱用対策委員会
スポーツ部 2013年実行委員会 医事専門委員
公認スポーツワフアーマシニスト推進委員
高橋 正夫

スポーツと薬物といえば、ドーピングの問題が皆さんの頭の中にすぐ浮かんでくるところだと思います。
2013年に東京で国体（国民体育大会）が開催されることはもうご存知ですね。この時、会員の先生方のもとにも問い合わせがあるかもしれません。

東京都薬物乱用対策委員会では、スポーツ選手をはじめとして、その関係者、また、会員の先生方からの問い合わせに対して、薬事情報提供で対応をしております。昨年度は、423件の問い合わせがありました。社会の関心もこれほど高くなってきています。
そんな中で、最近、オリンピック候補選手のうち、ドーピングが起きてしまいました。

日本代表、ドーピング違反でロンドンアウトレイシング（スポーツ紙より）
日本レスリング協会は、昨年の世界選手権代表が、ドーピング違反のため日本アンチ・ドーピング機構（JADA）から2年間の資格停止処分を受けたと発表しました。優勝した全日本選抜選手権の検査で筋肉増強作用のあるドロスタノロンに陽性反応を示し、予備の検体からも同じ禁止薬物が検出された。処分に従う意向のため、来年のロンドン五輪出場が絶望的となった。
肉体系維持に海外通販でサプリメントを購入し、多数服用していたという。JADAの

聴聞に「意図的な摂取ではない」と話したが、日本協会はJADAの制裁に従い、5月17日から2年間の資格停止にし、全日本選抜の成績も失効させる。本人も決定に従う意向で五輪は絶望的に。

背景には協会の啓発活動の不足が見える。反ドーピングの意識は年々高まり検査も厳しさを増す。「本人が無知だった」としたが、協会がこれまで薬の使用については選手個人に任せていたの事実だ。薬物のガイドラインを何も設けていなかった菅理の甘さも指摘される。再犯防止も含め協会では男女代表合宿で徹底調査を行う。「使っている薬のリストを提出させるなど、洗いざらい調べる」と。

◆ドロスタノロン たんぱく質を作り出す効用がある物質で、体内には存在しない禁止薬物。筋肉増強剤として使用されるケースが多く、国内の違反事例では08年に男子ボディービル選手から検出されている。世界アンチ・ドーピング機構（WADA）の今年の禁止表国際基準では、タンパク同化男性化ステロイド薬のカテゴリに分類されている。

以上、記事より
問題点は、海外からの通信販売によるサプリメントです。
サプリメントの中には、成分についての記載があいまいなものもあり、JADAでは、推奨

する製品をリストアップしています。
薬局でのサプリメントの購入も考えられます。しっかりとした中身のものを選択する目が必要ですね。

○サプリメントの使用について

禁止物質を含むサプリメントはインターネット等で簡単に購入できますが、表示成分は十分に確認してください。しかし、サプリメントは表示成分を確認しただけでは、安心できません。サプリメントは食品に分類されるため、医薬品と異なり全ての物質名を表示する義務がありません。そのため、表示されていない禁止物質が含まれている可能性があります。

特に、以下の効能がうたわれているサプリメントについては、禁止物質が含まれている製品が確認されています。

効能	含有禁止物質
1 筋力増強、強壯	たんぱく同化薬
2 減量、脂肪燃焼	興奮薬、利尿薬
3 美容、若返り	成長ホルモモン、新陳代謝成分
4 疲労・痛み軽減、抗炎症作用	購買コルチコイド（全身使用）

IOCの調査により、アメリカ、イギリス、オランダなどの国で販売されているサプリメントのうち、20%前後の製品から表示されていない禁止物質が検出されたと報告されています。禁止物質の使用を考慮する場合に、この危険性を理解して判断してください。ドーピングの意図はなくとも、薬やサプリメントの安易な使用により、ドーピング防止規則違反となる可能性があります。

ラグビー選手、口ひげ青毛剤で2年資格停止（スポーツ紙より）
国際ラグビーボード（IRB）は10日、ドー

ピング防止規則疑いがあり、暫定的資格停止処分としていたA選手に対して、今年の4月28日から2013年4月27日までの2年間の資格停止処分を決定した。

A選手は4月9日、宮崎市内で行われた日本代表合宿中にドーピング検査を受け、禁止物質である「メチルテストステロン」が検出された。同28日に暫定的資格停止処分を受けた。7月21日にIRBによる聴聞を受けた。

A選手は禁止成分を含んでいる外用育毛剤を口ひげ生毛促進剤に使用したが、本製品に禁止成分が含まれているという認識はなく、競技力向上の目的で使用してはいたと主張。その結果、IRBはA選手がドーピング目的で使用したのではないことは認められたが、所定の2年間の資格停止処分を軽減する理由はないという結論にいたった。

A選手は「私の不注意から、ラグビーファンの皆さま、関係者の皆さまに多大なご心配とご迷惑をおかけしましたことを心からお詫言ひ申し上げます。2年間の資格停止という厳しい処分を受けましたが、これを真摯に受け止めてこの期間を耐え、元気にグラウンドへ戻ってきたいと考えています」とコメントした。
(2011年8月11日)

これもうっかりドーピングです。口ひげを濃くして強く見せようとしたのでしようか。たんぱく同化薬の入った外用の塗り薬を使っています。

第一類医薬品に「頭髮には使用できません。男女両性の無毛症、貧毛症（顔面、胸部、四肢、腋下、恥部の発毛促進と育毛）」という効能の外用剤がありますね。

このほか、禁止薬の中でも治療目的に申請をすれば使っても良いお薬を「TUE（Thera-

peutic Use Exemption)」という手続きを的確に行わずに制裁金を科せられたプロ野球選手も出てしまいました。

スポーツ基本法が成立（一般紙より）

議員立法のスポーツ基本法が参院本会議で可決され、成立した。

1961年制定のスポーツ振興法を50年ぶりに全面改正したもので、すべての国民にスポーツをする権利（スポーツ権）があることや、スポーツ団体に紛争の解決などに努力を求める規定を新たに盛り込み、障害者スポーツやプロスポーツにも対象を広げた。

1964年東京五輪に向けて制定された振興法は、営利目的のスポーツは対象外で、時代遅れとなっていた。基本法では、スポーツ施策の策定・実施は国や地方公共団体の責務と明記し、国が地域スポーツクラブや

優秀な選手の育成、国際大会の招致、ドーピング防止活動を支援すると規定。付則にスポーツ庁の設置を検討することを盛り込んだ。

以上、記事より

スポーツの世界が変わろうとしています。このスポーツ基本法の中に、明確に「ドーピング防止活動を支援する」と規定されました。今、進められているスポーツフェアマシストの活動が、この状況の下、その地位も確立できるチャンスです。

うっかりドーピングの事例でも分かるように、薬剤師がその場に関わっていれば、ドーピングを防止することができたと思われまます。これから薬剤師のアンチ・ドーピングの活動をアピールしていかなくてはなりませんね。東京都薬剤師会としても、もっともっと多くの情報を発信していく所存しております。



高校生を対象としたドーピング防止教育について

国立スポーツ科学センター スポーツクリニック
上原 樹子

今年の3月末、中学校のゆとり教育が終わり、授業数が増える話題がニュースや新聞で伝えられました。これは、平成21年3月に告示された新学習指導要領へと授業内容が変更になるためです。小学校は昨年度からすでに実施されており、中学校が今年の4月から、高等学校が来年度から年次進行で実施となります。

新学習指導要領では、高等学校の体育理論の中に、「新たに「オリンピックムーブメントとドーピング」という項目が加わり、「なぜドーピングがいけないのか」を考えることによって、オリンピックムーブメント（オリンピック競技大会を通じて人々の友好を深め、世界に貢献しようとするもの）やスポーツの価値、文化的意義などについて学ぶ内容が盛り込まれています。

実際にどのような授業が行われているかについては、まだ新学習指導要領への移行期間途中であり、全く情報がありません。

現在、日本においてドーピング防止の教育啓発活動を行っているのが、日本アンチ・ドーピング機構（JADA）です。その活動の中核の1つに、主に中学・高校生・ジュニア選手を対象としたアウトリーチプログラムがあり、団体においてもブースを設置して同様のドーピング防止教育を行っています。

そこで今回は高校生への教育、また来年開催の東京国体：スポーツ祭東京2013の参考として、この「アウトリーチプログラム」についてご紹介したいと思います。

●アウトリーチプログラムとは

JADAの教育啓発活動の目的は、ドーピング防止規則違反をなくし、世界に向けて日本のスポーツがクリーンであることを発信することであり、図1のように対象者の年齢や競技レベルによって教育の内容や目標が設定されています。一般高校生の場合は、まずは「ドーピング防止」という言葉に触れてもらい、合わせてドーピング防止の「理念」や「姿勢」を理解してもらうことが目標です。全国大会出場選手が対象となるアウトリーチプログラムの場合は、さらに「予防（うっかりドーピングの防止）」についての教育が加わります。

実際のアウトリーチプログラムが、どのような教育内容であるかという点、主に次の3つがあげられます。

- ①ドーピング防止についての認識拡大：今までに学んだドーピング防止についての知識や認識（姿勢や理念）を確認し、さらに拡大する
- ②うっかりドーピングの防止：うっかりドーピングを防ぐために医薬品を使用する時に気をつけなければならないこと、使用して良い医薬品かどうかの確認方法（問合わせ先）、コンディショニング調整と医薬品の使用
- ③食事によるコンディショニングの重要性：サプリメントの危険性、サプリメントに頼らない食事によるコンディショニングの重要性と調整方法

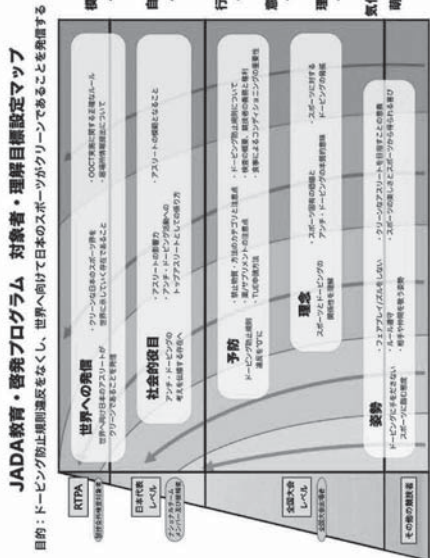


図1 JADA教育・啓発プログラム 対象者、理解目標設定マップ

また、ドーピング検査の時に使用する物品や公式記録書も一緒に置いてあり、ドーピング検査の実際についても説明が行われています。

写真1, 2のような形でブース内に、展示パネル、医薬品の注意事項を説明する道具、WADA Anti-Doping Quiz, タッチパネル

TVやPC (WADA Anti-Doping Quizでも使用)、ドーピング検査キット及び公式記録書が設置され、JADAのスタッフを中心にトップアスリートやスポーツアーマシスト、栄養士と一緒に参加して説明を行っています。医薬品の注意事項としては、市販薬で商品名が1字異なるだけで含有成分が異なること



写真1 ブースの設置風景



写真2 素刈除がブース内で説明している様子

があるということ、従ってきちんと商品名を伝えることが大切ということ、またどんな病気で使用するお薬（風邪薬や咳止め、喘息治療薬など）に禁止物質が含まれるかななどの説明をしています。

アースに訪れた選手に配布されるのがドーピング防止ガイドブック（写真3）です。これは、2008年北京オリンピックで銀メダルを獲得したフェンシングの太田雄貴選手を主人公として、マンダラを交えた物語形式でわかりやすくドーピング防止の概要を説明したものです。太田選手がはじめてドーピング検査を受けるレバエルとなり、ベテランの先輩、池田めぐみ選手からドーピングに関連する様々な知識を指導されながら一人前のアスリートに

なっていくというストーリーで、高校生でも十分理解できる内容になっています。

また、ガイドブックの最後のページには、資料が差し込めるようになっており、写真4のような、薬剤師会ドーピング防止ホットラインやスポーツファーマシストPRツールなども一緒に渡しています。

スポーツファーマシスト（SP）として指導の際はこのドーピング防止ガイドブックを使用したい場合は、使用目的を明確化した上で東京都薬剤師会を通してJADAへ申し込みただければお渡しが可能ですということです。

また、JADAのホームページ（写真5）では、ドーピング防止ガイドブックのWEB版



写真3 ドーピング防止ガイドブック



写真4 ドーピング防止ガイドブックの同梱資料



写真5 JADAホームページ (http://www.playtruejapan.org/)

も公開されていますし、ドーピングに関する様々な問題や対応をWEB上で体験できるReal Winner、禁止表のモバイルサイト等も公開されています。有効に利用できるものが数多くそろっていますので、ぜひ一度ご確認ください。

●SPの教育現場への参加

高校でのドーピング防止教育の担当者は当然体育の教員によって行われますが、近い将来、是非ともSPを活用してもらいたいと思っ

ションを図り、SPの存在を知ってもらうことがはじめの一步かもしれません。

ドーピング防止教育は高校1年次での実施となっているため、いよいよ来年度から高校で授業を行わなければならないと思いますが、授業を担当する薬剤師はいないでしょうか。教育現場にSPとして参加できるかは、これからの熱意と努力と多少の時間が必要かもしれません。補綴薬剤師の存在が当然となった現在のようには、いつかは高校のドーピング防止授業=SPとなることを祈っています。

最後にになりましたが、本稿の執筆にあたり、多数の資料や写真をご提供いただいた日本アンチ・ドーピング機構事務局長 浅川伸氏、日本アンチ・ドーピング機構事務局 教育・情報グループ シニアマネージャー 小林大祐氏に感謝いたします。

2012年 ロンドンオリンピック 区務視察報告



国立スポーツ科学センター スポーツクリニック 上野 悦子

時間が経つのは早いものです。2012年夏、ロンドンオリンピックから、もう半年過ぎようとしています。あの時のたくさんの感動を覚えている方もまだまだたくさんいらっしゃるのではないのでしょうか？

私の所属する国立スポーツ科学センター (JISS) は、トップアスリートをサポートする施設です。ロンドンオリンピックでは選手村のすぐそばに日本代表選手団専用の施設である「マルチサポートハウス」を設置して、選手のサポート、応接を行うこととなり、

JISSスタッフの一員として (残念ながら薬劑師の専門職としてはありませんが) お手伝いに行く機会をいただきました。

また現地では、日本代表選手団メディアハウススタッフの支援として、ほぼ1日おきに選手村に入り、日本代表選手団の医務室で診療の補助をするとともに、村内の様子も見学することができました。

そこで今回、選手村やマルチサポートハウスについて医務関係を中心にQ&A形式でご報告したいと思います。



写真1 選手村の宿泊棟



写真2 選手村の宿泊棟



写真3 食堂 (メインダイニング) の様子



写真4 フィットネスセンター

Q1. 選手村はどこなところですか？

各国の代表選手団として参加登録された選手及び役員らの宿泊施設がある場所です (写真1、2)。食堂 (写真3)、フィットネスセンター (写真4)、ポリクリニック (オリリンピック村総合診療所) (写真8)、職業施設 (ゲームセンター、インターネット及びDVDラウンジなど)、また、居住者の利便性のために、銀行、郵便局、売店 (食料品、雑貨) などやヘア・サロン、花屋まで設置されており、村内だけで生活できる環境が整えられています。

ロンドンオリンピックでは、開会式の10日前7月16日にオープン (開村) して、利用可能になりました。大会終了後は内装の再工事を行う分譲マンションとして販売されるそうです。ちなみに、1964年東京オリンピックの時の選手村の建物は建て替えられて、代々木にある「国立オリンピック記念青少年総合

センター」になっています。

Q2. 選手村には誰でも入れるのですか？
基本的に参加登録者のみに渡されるADカード (資格証カード: Accreditation card) (写真5) を所持している人しか入ることができません。ADカードを持たない関係者 (村外に滞在しているスタッフや選手家族など) が村内に入る場合は、事前にゲストパス (写真6) 申請をして許可を得られた場合、9時~21時に限ってADカード所持者同伴で入村可能となります。

また、村内に入る前には、非常に厳しいセキュリティチェック (写真7) が行われており、ADカードの人もゲストパスの人も全員に対して持ち物検査終了後、所持カードの確認が行われてはじめて入村可能になります。



写真5 ADカード



写真6 ゲストパス



写真7 持ち物検査場



写真8 ポリクリニックの外観



写真9 ポリクリニック内のPharmacy

Q3. 村内の施設を利用するには、お金が必要ですか？

居住者の利便性のために設置されている郵便局、売店、ヘア・サロン、花屋などを除いて、ADカードを持っていれば利用時に料金を払うことはありません。メインダイニングの他にもストリートフード（医台）や飲料の自動販売機が設置されていますが、これも同様です。

Q4. ポリクリニックには、どのような設備が整っているのですか？

スポーツ診療科、プライマリケア、皮膚科、耳鼻咽喉科、歯科などの診療科、画像検査室（MRI2台、CT、超音波診断装置、単純レントゲン）、薬局（写真9）、リハビリテーションルームなど、一般病院と何ら変わらない設備が整っていました。

日本の場合、スポーツドクターは自身の専門（内科、整形外科など）に加えてスポーツの専門性を持ち、専門を兼任しています。しかし、イギリスには、スポーツ専任ドクターが存在しており、スポーツ診療科にて診療を行っています。

Q5. ポリクリニックに日本人医師はいるのですか？

いません。しかし事前にイギリスの医療監査機関General Medical Council（GMC）へ登録した医師は、ポリクリニックで画像検査や処方のおオーダー等の診療活動を行うことが可能であり、日本人医師も利用していただけます。GMCへの登録は、イギリスで医師が診療活動を行う場合に必要手続きであり、今回のオンラインピックでは各国の帯同医師に事前登録が求められました。但し、診療活動の範囲はオンラインピック期間中に自国の選手団に限定して行うことを限定したものです。また、処方の際に参考として、ポリクリニック内医薬



写真10
ポリクリニック
内の医薬品集



写真11
Pharmacy
Guide

品集（写真10）やPharmacy Guide（写真11）が用意してありました。

Q6. 大会中に怪我をしたり、体調が悪くなったりした選手は、直行でポリクリニックを受診するのですか？

いいえ。まずは、競技団体に帯同している医師の診療や、日本代表選手団の医師を受診してもらいます。MRIやCTの撮影など医師だけで対応できない場合に、医師の判断によりポリクリニックを利用します。また、ドーピング禁止表M2.2「静脈内注入および/または6時間あたりで50mLを超える静脈注射は禁止される。但し、医療機関の受診過程。または臨床的検査において正当に受ける静脈内注入は除く」に関連して、50mLを超える静脈内注射を行わなければならない場合にはポリクリニックを受診します。

Q7. 日本代表選手団の医療体制について教えてください。

日本代表選手団医師室（以下、医師室）に



写真12 医師室の様子（写真は小松医師）



写真14 医師兼行救護パック用の医薬品を準備

は、医師5名、メディカルトレーナー2名が配置され、主に医師、トレーナーが帯同してサポーターを行いました。特に、トレーナーに関しては2名しかいないため、マルチサポーターハウスのメディカルトレーナーがデパスで入村して医師室での対応にあたり、



写真13 日本から持ち込んだ薬剤や医療材料



写真15 スイスのメディカルルームを撮影

ADカードを持つ2名が各会場でのサポーターを担当しました。医師室には、事前申請した医薬品、医療材料、超音波画像診断装置、メディカルトレーナーなどを日本から持ち込み、一通りの診療ができる体制になっています。（写真12、13、14、15）



写真16 MSHとなった劇場の概観



写真17 リカバリールーム



写真18 メディカルケアサポートエリア
 ・手前は、高気圧カプセル
 ・上上の先印が設置
 ・診察室の裏側が、ベッドエリア

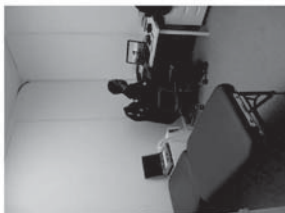


写真19 MSHの診察室

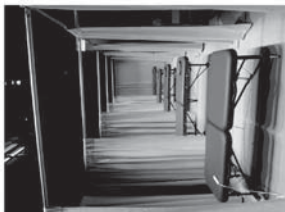


写真20 ケア用ベッド

QB. マルチサポートハウス(以下、MSH)は、
 どのようなのですか？

2012年7月16日～8月12日(オリンピック開催期間：7月27日～8月12日)、選手村から徒歩10～15分程度の場所にある劇場(Stratford Circus)(写真16)を建物ごと借りて設置されました。その目的は、村外サポート拠点として競技者やスタッフに対して、
 ①試合に向けての準備に必要な環境、②日本にいる時と同じ(いつもと変わらない)環境を提供することです。また、選手が家族と面会する場所としても利用されました。

その主な提供内容について、①は、選手のコンディションを整えるための高気圧カプセル(写真18)やリカバリープール(写真17)、ADカードが取得でききない村外のスタッフやトレーナーのための、ケア(マッサージ)用ベッド(写真20)やミーティングルーム、診察室(写真19)の用意など、②は、日本食の提供があげられます。リカバリープールをお風呂の代わりとして利用する選手もいました。特に、メダル獲得の可能性が高い選手とレスリングに関しては、MSH内に試

合会場と同じ環境を整えた練習会場やウェイトコントロール用のサウナ(1～2人用)など準備し、有効利用してもらいました。

QS. MSHと医師室の医療体制の違いは？

基本的には、選手をはじめとするADカード所持者は村内の医師室で、ADカード非所持者はMSHでの受診となりますが、お互いに連携をとりながら対応しました。

MSHのメディカルケアサポートエリアには医師、看護師各1名、メディカルトレーナー7～8名(内1～2名は毎日医師室へ出向)が配置され、こちらも事前申請して日本から持ち込んだ医薬品、医療材料、超音波画像診断装置、メディカルトレーナー機材などが設置され一通りの診療ができる体制になっています。

医師室との大きな違いは、ケア用ベッドの数が、医師室3台に対してMSHは7台設置されており、ADカードやディバイスの発行枚数に制限があるために村内に入ることができないトレーナーの多くが、MSHのベッドを使用して選手のケアにあたっていました。

最後に

今回、日本代表選手団医務室を支援するにあたって、スポーツファーマシスト(SP)として何ができるのだろうかということ自身テーマに掲げてみました。

現場の必要性を考えたとき、まず医師、トレーナー、次に、臨床心理士又は看護師、その次にやっとなんか名前をあげてもらえるのではないのでしょうか。メディカルスタッフの一員になるにはADカードが必須ですが、その枚数は限定されていて到底薬剤師までは届きません。これは、オリンピックにかかわらず、競技団体の大会においても同じことが言えると思います。

では、SPは何をすべきか？やはりドーピング防止の教育の面から、現役選手はもちろ

人、未来のトップアスリートや選手のスタッフ、家族、また医師や看護師などの医務スタッフまで幅広くサポートを行い、うっかりドーピングを防ぐことが一番の役割なのではないでしょうか。

「事前に確認すれば、防げたのに」というドーピング防止規定違反事例は今でも起こっていて、そのたびに「SPの力が及ばないな」と悔やみます。公認スポーツファーマシスト認定制度が始まってまだ4年であり、その認知度はあまり高くありませんが、近い将来、選手が薬をもらって不安を感じたときにすぐに「SPに確認」と思いつくように、「いつでもそばにいます」と感じさせるくらいの存在になれるように、試行錯誤しながら努力していかなければいけないと感じました。





東京国体対策特別委員会の活動について

東京都薬剤師会 東京国体対策特別委員長 小林 昌茂

東京国体対策特別委員会は、今年東京で開催される第68回国民体育大会「スポーツ祭東京2013」に照準を合わせ、一昨年より組織された委員会です。私達は「STOP！うっかりドーピング」をスローガンに、国体でドーピング検査が行われるようになって2003年より昨年まで10年間続くドーピングゼロの歴史を、東京国体においても継続すべく準備を進めて参りました。

ドーピングとは、競技能力を高めるために薬物などを使用することで、禁止物質や禁止方法は国際基準で定められています。ドーピング検査で禁止物質が検出されれば、記録の抹消と出場資格停止といった制裁が、その選手に対して科せられます。しかしながら禁止物質は、選手の身近に存在します。市販されている多くの感冒薬や胃腸薬等にも含まれており、知識不足や不注意のために禁止物質を摂取してしまう危険性は十分にあり得ます。例え不正目的ではない「うっかり」であったとしても、ドーピング検査で陽性となれば、前述の制裁が科せられることにも変わりはありません。選手にとっては大変残念で悔やんでも悔やみきれないこととなるでしょう。こうした悲劇から選手を守るには、薬のエキスパートである薬剤師だと言いたいと思います。

さて、東京国体の本大会は9月28日よりスタート致します。選手・監督約22,000人が集まり、正式競技37競技が実施されます。これに先立ち、冬季大会が1月に行われました。本委員会では、この冬季大会に合うようにホームページを作成し、ドーピング防止に関する様々な情報を掲載致しました。都薬のトップページにある「STOP！うっかりドーピング」のバナーよりご覧下さい。また、冬季大会開催3日前より大会期間中は、国体用ホットラインを設置し、選手・関係者からの薬に関する問い合わせに24時間対応致しました。日頃より都薬の薬事情報課が、ドーピング防止ホットラインとしてFAXや電話で

の問い合わせに対応しています。これに加えて、国体用ホットラインではEメールによる問い合わせも可能とし、平日の9時から17時はいつものように薬事情報課の職員が、それ以外の時間帯は我々委員会の担当役員と委員が当番制で問い合わせを受けけるシステムを組みました。当番は主担当と副担当の2名。問い合わせが入ったら、原則主担当が回答しますが、そのやり取りは委員会全員が同時に共有して議論できる体制と致しました。当番に当たった者は、夜中も近くに携帯電話、スマートフォン、パソコン、資料等を準備して臨みました。問い合わせの件数は少なかつたものの、緊急事態に直面して今すぐにも答えが知りたいというアスリートからのSOSを頂きました。市販の総合感冒薬に関する問い合わせや、異例ではありましたがヨーロッパが連征中の女子柔道チームからの問い合わせも入りました。本大会期間中も同様に24時間ホットラインを開線致します。なお、このホットラインは、会員の皆様も利用することが可能です。回答に苦慮する質問を受けたような場合には、どうぞお問い合わせください。

冬季大会に際して本委員会では、ホットラインのチラシと安心カードを作成し、皆様にお配りしています。安心カードは、ドーピング禁止物質を含まない医薬品を明確に示すためのツールです。購入する側である選手・関係者に対して、この薬はドーピングの心配なく使用できますと訴えるのみでなく、備えておけば販売する側の自分達にとっても安心できるツールですので、是非ご活用ください。

国体本大会では、12会場JADA（日本アンチ・ドーピング機構）によるアウトリーチプログラムが行われる予定となっております。アウトリーチプログラムとは、選手の集まっている所に出向いて行って、ドーピング防止に関する啓発活動をするものです。主にスポーツファーマシストの認定をお持ちの方々に参加していただくこととなりますが、本委員会ではJADAと連携しながら、アウトリーチプログラムの開催地に当たっている支部を支援する計画しております。アウトリーチプログラムが行われない地域でも、競技会場に独自にブースを出してドーピング防止活動を行う支部があるかと思えます。支部会員向けの講習会や、支部の活動で使えるグッズの作成等を、本大会に向けてさらに検討して参ります。

東京国体が開かれるのは、およそ50年に1回です。一生に1度の機会と言っても、多くの場合逢ってはないと思えます。この希少なイベントを、薬剤師の職能でサポートし無事に終えることができるよう、皆様のご協力を賜りたく宜しくお願い申し上げます。



さあこれからだ、 スポーツファーマシスト

公社団法人 東京都薬剤師会 副会長 榎 卓

皆様から信任をいただき、副会長を務めることになりました。今期も担当である学術・教育関係の業務に励んでいきたいと思っております。よろしくお願ひします。

今年度の東京国体は2020年オリンピック招致が決まったこともあり、例年になく盛り上がりだったようです。東京都薬剤師会では「ストアップ うっかりドーピング」を旗印に2年前に国体対策特別委員会を立ち上げ、東京国体に向けて委員会委員・担当役員・事務職員員の全員が対応できるよう地道に準備を重ねてきました。おかげで冬期大会・夏秋の本大会を通じて設定した24時間ホットラインも全員のバトントリレーで問い合わせにシームレスに答えることができました。一方、「支部が支える東京国体」を掲げ、各地区の責任者を対象にした講習会の他、地区研修会や地区会長会（旧支部長会）での情報提供を行い、いくつかの地区や他団体には委員が交代で講演に出動しました。さらに、ドーピング防止ガイドブックや各種グッズを配布し、会員の活動を応援してきました。皆様にはいろいろな場面でご協力をいただいたことを感謝しております。

この機会に団体と都薬の関わりおよびスポーツファーマシストについて考えてみました。薬剤師がドーピング防止活動に関わるようになっていきました。2003年の静岡国体からドーピング検査が実施され、静岡県薬がドーピング防止ガイドブックを作成し、ホットラインを設けて対応したことに始まります。翌2004年よりは日薬にアンチ・ドーピングに関する特別委員会が設置され、毎年の国体開催県の薬剤師会と協力して積極的に取り組んできました。この間、日薬と日本アンチ・ドーピング機構（JADA）が協力して世界で初めての公認スポーツファーマシスト制度を立ち上げ、既に全国で5,000名余、東京だけでも1,000名近くの薬剤師が認定されています。一昨年の山口国体以来、JADAは競技会場でアウトリーチ活動（ここではアスリートや関係者へのドーピング検査およびドーピング防止に関する啓発活動をいう）を行っており、これにスポーツファーマシストの出動を要請しています。都薬ではアウトリーチ会場が決まるや、東京のスポーツファーマシストに対して協力の希望有無の調査をしました。しかし、競技会場のある地区の薬剤師会を中心にメン

バーを選ばせていただきましたので、せっかく応募して下さったのに希望に添えない方も多くありました。スポーツファーマシストの中にはこの制度をビジネスチャンスと考える人もいます。殆どの方はスポーツを愛し、アスリートへの支援を希望している方達だと思います。確かに、せっかく認定を受けても積極的に活動を行う機会がなくて残念に思っている方も多く聞かれます。今国体でもそうでしたが、東京等その数が多いところではアウトリーチへの参加希望も全員に叶えられることが難しく、ましてや、国体が終わればもう用がないのでは何のための認定制度かと首を傾げる人もおられるかもしれません。もちろん、自身の働く薬局や病院での信頼される薬剤師としての「うっかりドーピング防止活動」が基本ですが、なにか物足りなさを感じておられることでしょうか。

でも、もう一度考えてください。自分がなにをするためにスポーツファーマシストになったのかを。今回のオリンピック招致の鍵となったのは、東京都防務的基盤や安全面その他に「おもてなし」などの印象的なプレゼンもあったかたかもしませんが、やはり日本チームのオリンピックでのドーピング・ゼロや国を挙げてのドーピング防止活動のレベルの高さが評価されたと言われています。小・中・高等学校での学習指導要領にある医薬品に関する教育や、薬物乱用防止、ドーピング防止の教育もそのベースにあると思います。

世の中がどんどんデジタル化される中で、スポーツは数少ないアナログなものです。その素晴らしが、子供から大人までわかりやすく感動を伝えやすい。競技がフェアであるように支援するだけでなく、うっかりドーピングを避けることによりアスリートの将来を支え、また健康を守る面からも直接業を手渡す薬剤師こそ活躍できる、いや、すべき職業だと思います。JADAも団体に限らず、多くの競技会にスポーツファーマシストの協力を求めていく姿勢を見せています。今回の国体でも、大会中JADAのアウトリーチ以上に盛り上がった地区のブース活動もいくつかありました。その意気込みに敬服する次第です。さらに、この国体での都薬の活動に理解をいただいたいろいろな体育協議会やスポーツ団体から講演等の要望が来始めました。徐々にですが、私たちの努力が実を結び始めています。まだまだ時間がかかるかもしれませんが、今がガマ

ンの時かもしれません。国体が終わった今だからこそ、ドーピング防止活動を本気で模索する時が来たと考えています。薬剤師の顔が見えないと言われる昨今、ドーピング防止活動に取り組む薬剤師の姿勢は国民への「みえる化」のひとつとなり、社会における薬剤師への信頼と期待を増す一翼となるものだと思います。



アウトリーチ会場にて



スポーツ祭東京2013活動報告 第1回 グッズ作成・広報活動

東京都薬利師会 東京国体対策特別委員会 委員 對崎 利香子

2013年、54年ぶりに東京都で第68回国民体育大会(スポーツ祭東京2013)が行われました。冬季大会：2013年1月26日～2月1日
本大会：2013年9月28日～10月8日
障害者大会：2013年10月12日～10月14日
2003年に静岡県で行われた「NEW!! わかふじ国体」から、開催都道府県の薬利師会が中心となり、ドーピング違反を防ぐために、様々な活動が行われてきました。

東京都薬利師会では「STOP! うっかりドーピング」を目標に掲げ、2年前から「東京国体対策特別委員会」を設け、会員の方々およびアスリートや関係者の皆様への支援を開始しました。
委員会には、大きく分けて3つのワーキンググループ(WG)を設けました。

1. 講習会・研修会への対応
会員・各スポーツ団体などに向けての研修会などの企画・実施
2. システム作成
大会期間中のドーピングに関する相談ホットラインの準備、ホームページ作成
3. グッズ作成・広報活動
各種の案内、紹介用のチラシ等の企画・作成

ここでは、私が担当しました「グッズ作成・広報WG」の活動について振り返ってみたいと思います。

当初は、2013年9月の本大会に向けて準備

を進めてきましたが、急遽、2013年1月の冬季大会の東京実施が決まり、8ヶ月間の前倒しで取りかかることになりました。

大会期間中のドーピング防止のための2時間ホットラインをスタンプバイするため、その内容を記載したチラシやポスター、さらに会員薬局等へ配布する「安心カード」などから取り組みました。また、東京国体マスコットキャラクターの「ゆりーと」の使用許可を東京都より得た上で、業者からのデザインを参考にメンバーから案を出し合い、色の組み合わせやせや大きさ・位置などを練り上げていきました。

デザイン作成には不慣れな私たちでしたが、意見を出し合う中、すてきな名(選? 誤?)案が登場し、最終的には「こだわりのデザイン」グッズに仕上がったと思っています。こうして出来上がったのが、チラシ・ポスター・安心カード・ミニのぼり旗・うちわ・ポスター・バッジです。

●チラシ・ポスター
ドーピング防止ホットラインの連絡先、24時間受付メールアドレス等を記載しました。チラシは3万枚以上作成し、会員薬局、各競技団体に、会場などに配布しました。また、ポ



チラシ・ポスター



安心カード

●ミニのぼり旗
投票台やレジ周りに置いてもらい、来店された患者さん等にアピールできるように、会員薬局に配布しました。文字の大きさや位置などで調整しました。

●うちわ

24時間ホットラインの連絡先などを記載し、国体期間中に地区薬利師会が設置したブースなどに置きました。ドーピング防止活動をアピールする際、選手や関係者の方々に配布していただきました。本大会開催は暑い時期でしたので、応援にも使えて好評でした。表裏の色の組み合わせなど、かなりこだわりました。

●缶バッジ

日本アンチ・ドーピング機構(JADA)のアウトリーチプログラムで活動するスポーツ

スターは同じデザインで評判とし、各地区薬利師会に配布しました。

●安心カード

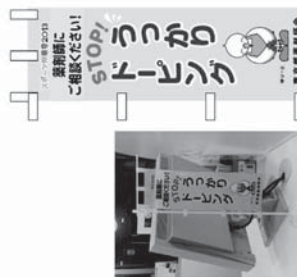
2つのパターンとし、従来の長方形のものに加えて目立つ形のものも作成し、会員薬局に配布しました。さらにWEBサイトからもダウンロード可能としました。ドーピング違反にならない薬品名を記載して商品棚などに貼ってもらい、国体関係者等による医薬品購入の際の助けになるようにしました。また、販売する間にも安心できると思います。



うちわ (表) うちわ (裏)



缶バッジ



ミニのぼり旗

ファーマシストにつけてもらいました。大きくてかわいいので、薬剤師以外のアウトリーチ参加者や地区薬剤師会ブースの薬剤師から「ほしい!」と希望されたこともありました。

●ボロシャツ

佐バッジと同様に、JADAのアウトリーチプログラムで活動するスポーツファーマシストに着用してもらいました。ユニクロの格安のものでしたが、男女ともに似合う水色を選び、これを着ることにより一層強い団結心が生まれたと思います。

ドーピング防止活動を行なう上で、薬剤師会以外の関係する団体の協力も欠かせません。東京都医師会には「薬剤師のためのドーピング防止ガイドブック2013年版」、東京都歯科医師会には「歯科医師のためのドーピ

ング防止ガイド2013」を配布し、各会員の方々への協力を仰ぐとともに、診察の際のご参考にしていただきました。

また、保健所と連携して講習会等を行なった際には、会員外の薬局、登録販売者の方などにも、上記の支援ツールをご紹介しました。

このような努力の甲斐あって、今団体での「ドーピング陽性ゼロ」を達成することができました。団体ではドーピング検査が始まって以来、11年間「違反ゼロ」が続いています。

これまで担当された各県薬剤師会の関係者の皆様、そしてご協力くださった会員薬局等の皆様、本当にありがとうございました。ドーピング防止活動はまだ始まったばかりです。今後とも、皆様と共に様々な活動を行っていきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願いたします。

スポーツ祭東京2013活動報告 第2回 地区で支えるスポーツ祭東京2013 ～西東京市薬剤師会におけるドーピング防止活動～



一般社団法人西東京市薬剤師会 会長 梅田 茂

「スポーツ祭東京2013」においては、東京各地で競技会が開催され、全国から選手をはじめ多くの関係者、一般来場者を迎えた大盛況のうちに幕を閉じたことができたこととしたいと思います。

本国体において西東京市では、正式競技としてバスケットボール、デモンストレーション競技としてティールボールが行なわれました。本稿では、西東京市薬剤師会における本国体でのドーピング防止活動とスポーツファーマシストの活躍についてご報告いたします。

※ティールボールとは？
野球やソフトボールに極めて類似したボールゲームです。大きく異なるのは、本塁プレートの方に置いたバットインテイクティールを載せ、その止まったボールを打つことからゲームが始まります。したがってピッチャーはいません。野球やソフトボールの入門スポーツとして、今注目を受けています。

国体開催にあたり行政との連携

国体競技会場の運営は、会場のある区市町村に任せられ実行委員会が組織されます。当薬剤師会も平成22年から実行委員会の委員として携わり統括事項を決定してまいりました。大会前年の8月にはリハ・サル大会が実施され、市よりリハ・サル大会救護所に配備される医薬品、衛生用品の選定及び協賛要請がありました。担当職員と検討を重ね、救護所での対応を考慮した上で、本大会に向けての検証も兼ねて必要と思われる医薬品、衛生用品等（シップ剤、軟膏剤、消毒剤、災害用外傷処置キ



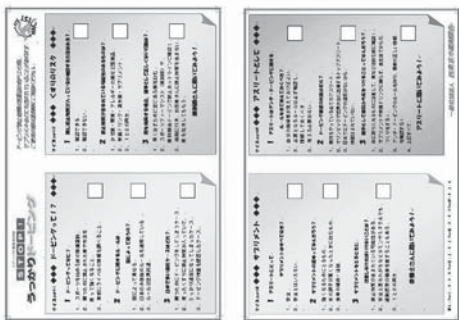
競技会場

ット、テーピング用テープ、衛生材料)を取り揃えました。リハ・サルの際、多く使用された物はテーピング用テープでした。この結果を踏まえて、本大会では使用頻度の多いサイズのテーピング用テープを取り揃え、医薬品、衛生用品と共に提供いたしました。

このような行政との連携をとおして、薬剤師、薬局の国体におけるアンチ・ドーピング活動、スポーツファーマシストの役割等を理解していただくことが出来、結果、本大会アンチ・ドーピング啓発ブース（以下「ブース」）活動へとつながりました。本大会では2日間のブース活動が決定し、屋外と競技会場内にブースを提供していただくことができました。

ブース活動に向けた取組

準備として、岐阜国体道徳競技会場（四市）の日本アンチ・ドーピング機構（JADA）

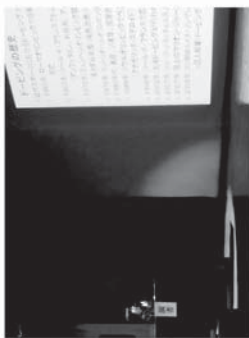


アンチ・ドーピングクイズ

アウトリーチプログラムブースの視察を行いました。アウトリーチ活動（ここではアスリートや関係者へのドーピング検査およびドーピング防止に関する啓発活動という）に使用されるクイズ、参加賞、啓発リーフ等の確認、またJADA職員の方からアウトリーチプログラムや、ドーピング検査等のお話を伺うことができました。この視察を参考に本大会ブース活動実施概要をとり決め、スポーツファーマシスト、有志の方の協力を得て以下の様な内容で実施いたしました。

《ブース活動実施内容》

競技者、競技関係者、一般来場者を対象にアンチ・ドーピングクイズに答えてもらいながらドーピング防止に関する知識をもっといただく。スポーツファーマシストの存在をアピールする。禁止薬、使用可能薬の相談、その他薬の相談を行う。



講演会 小竹慶子先生

他職種へのアンチ・ドーピング啓発活動

三師会、他職種（医業、介護、福祉、行政関係）へのアンチ・ドーピング啓発活動として、ドーピング防止をテーマに講演会を開催いたしました。都薬東京国体対策特別委員会の協力のもと、豊島病院薬剤科科長 小竹慶子先生を講師に迎え「医薬品の適正使用とアンチ・ドーピング」と題して講演いただき、当薬剤師会からは担当理事より「ドーピング防止におけるスポーツファーマシストの役割」として、薬局の取組、スポーツファーマシストの活躍を紹介いたしました。国体開催、オリンピック開催間近もあり、地域から多くの方に参加していただきました。また、実務実習中の薬学生には「地域で活躍する薬剤師」を学習する場として、ブース活動への参加を



競技会場内ブース



屋外ブース



参加賞



希望した実習生は事前学習として、この講演会受講を必須といたしました。

本大会を終えて

大会は3日間の開催でしたが、ブース活動はこのうちの2日間実施いたしました。初日は前日からの雨の影響で屋外ブース設置に苦勞しましたが、2日目は晴天となり、競技者、競技関係者、一般来場者と2日間で260名余りの方にブースを訪れていただきました。配布物として岐阜大会のJADAアウトリーチプログラムで使用されたクイズを基に、西京市薬劑師会版のアンチ・ドーピングクイズを作成して資料とし、森永製菓様よりJADA認定商品ウィダーinゼリー、大塚製薬からはポカリスエットを協賛していただき、クイズ及びアンケートに回答していただいた方への参加賞といたしました。また、禁止薬、使用可能薬の相談、その他薬の相談においては、検索、問合せ用にドーピングガイドブック、パソコンを用意して備えましたが、

相談件数は少なく残念でした。しかし、ブースを訪れていただいた監督、コーチ、選手の方から、チームでのドーピングに対する考えや、防止活動等を直接伺うことが出来たことや、非常に有意義な情報となりました。

今回の活動は、クイズによる啓発及び情報発信が主になりましたが、ドーピング防止に関する正しい知識はもちろんのこと、スポーツアーマシストの役割、競技者として気をつけること、心構えなどを少しでも知っていただけたのではないかと大いに期待しているところであります。

自治体の催す大きな企画に薬劑師が参加できたことは意義があり、この国体を契機に多くの方が2020年東京オリンピックに向けて希望を持ち、スポーツへの意識が高まっていくことと思われまます。薬劑師、スポーツファーマシストによるドーピング防止活動は、これからもより一層重要な役割を担っていくものと期待します。



スポーツ祭東京2013活動報告 第3回 Gmailを利用したドーピング防止ホットライン 24時間対応について

東京都薬師会 東京国体対策特別委員会 委員 薄井 健介

はじめに

スポーツ祭東京2013（東京国体）の期間中には、選手や関係者を合わせて2万人以上の人が大会に参加すると言われ、急な体調の変化などで医療機関を受診したり、OTC医薬品を購入したりする選手が存在することが容易に想像できました。国体に出場する選手は全員がドーピング検査を受ける可能性があり、医薬品・サプリメントを使用する際にドーピング防止を考慮する必要があります。しかしながら、どのように対応すべきなのかはわからず、選手や関係者が多く存在すると思えます。特に早朝・夜間などはドーピング防止に関する問い合わせ窓口が無く、選手や関係者が使用する可否を判断するのが難しいと考えられました。そこで東京国体対策特別委員会では、本大会におけるドーピング違反「ゼロ」を達成するべく、24時間対応できる電子メール版ホットラインを開設しました。今回は開設したホットラインの概要や問い合わせ実績などを報告いたします。

ドーピング防止ホットラインの概要

【開設期間】
大会前3日間および大会期間の計32日間
【冬季大会】
平成25年1月23日(水)～2月1日(金)10日間
【本大会】
平成25年9月8日(日)～9月15日(日)8日間
平成25年9月25日(水)～10月8日(火)14日間

【問い合わせ担当者】

東京都薬師会薬事情報課の受付時間内である平日9時～17時は事務局として薬事情報課がドーピング防止ホットラインを担当しました。その時間外の平日17時～翌朝9時までと土・日曜日は東京国体対策特別委員会の委員が交代で担当しました。委員による担当は主担当と副担当の2名体制として、質問があった場合お互い確認がとれるようにしました。

質問および回答の流れ (図1)

質問者よりホットライン用のGmailアドレスに質問メールが届くと別途作成したメッセージリストに転送され、東京国体対策特別委員会の委員全員にメール配信（携帯電話メールアドレスなど）されます。問い合わせを受けた時点で担当となっている委員は回答を作成し、主担当と副担当で互いに確認を行います。回答内容の確認がとれた段階でGmailを使用して質問者に返答します。その際に、メッセージリストのアドレスをBCC（プライベートカードコピーの略で、この欄に記入した送信先は表示されません）に入れることにより、委員全員が回答内容を確認できるようにしました。これにより、回答漏れの防止や情報の共有を図りました。実際に難しい質問などは、担当委員がメッセージリストで委員全員に質問することがあります。

なお、担当者間で回答内容に相違が生じたように、委員会で決めた回答文例を用いて

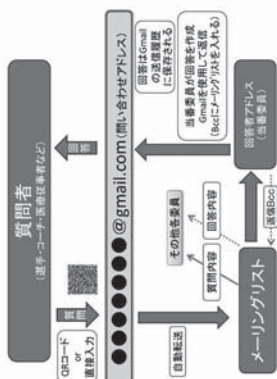


図1 質問および回答の流れ

回答の均一化を図りました。また万が一、質問者の携帯電話メールがGmailでの回答を拒否して送信できなかった場合（受信拒否）も考慮して、委員の一人がレンタルの携帯電話を常備し、いつでも携帯電話から回答メールを送信できるように準備しておりました。

問い合わせ実績

24時間ホットラインのGmailに対して期間中にあった問い合わせは、合計で41件でした。質問者は34名であり、同一質問者から複数回の問い合わせを受けることもありました。問い合わせの商品は、医薬品31品、サプリメント23品、その他6品でした。

質問者の年齢は10代と20代が半数以上であり、男女比はおおよそ1:1でした。質問者の立場は、選手よりも監督・コーチ、トレーナー、マネージャーといった選手をサポートするスタッフからの問い合わせが多く寄せられました（表1）。

回答までに要した時間としては、半数が30分以内に回答できており、2時間以内には8割の問い合わせに対応できました（図2）。問い合わせのあった時間帯は、17時～21時が最も多く、その前後に集中しておりました

（図3）。

表1 質問者の立場

立場	人数
選手	8
監督・コーチ	6
トレーナー	15
マネージャー	2
薬剤師	7
医師	1
その他	1
不明	1
計	41

回答の内容は、対応した136品目の使用可否について、7割以上の医薬品・サプリメントを使用可能であると回答しました。一方で5%にあたる7品目は使用不可として回答しました。具体的には、医療用医薬品としてメブチンエアー、ライトゲン配合シロップアップが該当し、一般用医薬品としてペンザブロックIP、ブラス、新ルルAゴールド、カコナル、鼻炎薬Aクニヒロ、パブロンSゴールドが該当しました。禁止理由としては、メブチンエアーが蛋白同化作用のある「プロカテローール」を含んでいるために常時禁止されていた。その他は、興奮作用のある「メチルエ

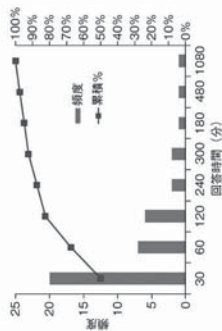


図2 回答までに要した時間

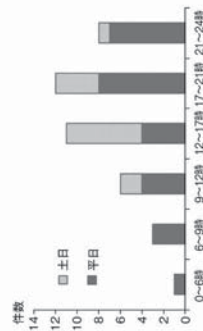


図3 問い合わせ時間帯

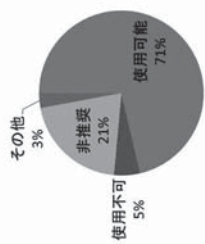


図4 回答内容

フェドリン」(ライトゲン配合シロップ、ベ
ンザブロックIPブラス、新ルルAゴールド、
パブロンSゴールド)、「エフェドリン類」(鼻
炎薬Aクニヒロ)を含んでいるため競技会
時に禁止されました。生薬成分の含まれ
るものやJADA認定の無いサプリメントに
関しては使用を非推奨としました(図4)。

問い合わせを受けた医薬品の種類を表2
にまとめました。一般用医薬品および医療用
医薬品ともに外用薬(点眼・軟膏・貼付)が
多く、次いで鎮痛薬、精神神経用薬、抗アレ
ルギー薬の問い合わせが多くありました。

24時間ホットラインを運用してみよう

今回我々は、前年の岐阜大会を参考にし
て電子メールを利用した問い合わせシステムの
運用を試みました。運用して感じた電子メー
ルの利点は、情報の共有化ができることが大
きいと思います。問い合わせを受けたと同時
に複数人で回答を考慮することができた上に、
回答結果を共有することで2重、3重の確認
をすることができ、また、電子メールな
らではの機能として、添付ファイルをつける
ことができ、これが役立ちます。質問者の多
くは携帯電話からメールを送っていました。
携帯電話を用いて薬剤情報提供文書の写真や
医薬品外箱の写真を撮影して、問い合わせの
メールに添付しているケースがいくつかあり

表2 問い合わせ医薬品の分類

一般用医薬品	種類	件数	種類	件数
点眼薬	軟膏・貼付	6	軟膏・貼付	15
軟膏・貼付	鎮痛剤	6	鎮痛剤	12
感冒薬	精神神経	4	精神神経	7
鎮痛薬	抗アレルギー	4	抗アレルギー	6
栄養薬	胃薬	3	胃薬	5
点鼻薬	抗真菌薬	2	抗真菌薬	5
止瀉薬	ビタミン	2	ビタミン	4
鼻炎薬	喘息薬	1	喘息薬	3
酔い止め	循環改善	1	循環改善	2
下剤	注射薬	1	注射薬	2
胃薬	糖尿病用薬	1	糖尿病用薬	2
計	ホルモン	31	ホルモン	2
	感冒薬		感冒薬	1
	漢方		漢方	1
	去痰薬		去痰薬	1
	筋弛緩薬		筋弛緩薬	1
	止瀉薬		止瀉薬	1
	抗ウイルス薬		抗ウイルス薬	1
	脂質改善薬		脂質改善薬	1
	整腸剤		整腸剤	1
	鎮咳薬		鎮咳薬	1
	鉄剤		鉄剤	1
	その他		その他	1
	計		計	76

ました。現状では
選手などからの問
い合わせにメール
は必須であると思
います。
最後に、苦勞し
た点を述べてさ
す。24時間
ホットライン開設
にあたり、主担当・副担当の2名の委員が夜
間や早朝の問い合わせに対応しました。実際
には17時頃まで問い合わせの件数は少
なくとなり、0時から早朝の問い合わせは少
なかったのですが、「国体選手が困っている
状況をなんとかしたい」「うっかりドーピン
グ違反を防ぎたい」といった気持ちで強い委
員が集まっておりましたので、担当日は睡眠
と闘い、寝不足になりながらも朝まで対応し
ておりました。その結果、回答までの時間は
とても短くすることができました。我々の活
動が「うっかりドーピング」を防ぐために、
どれだけ貢献できたかを定量化することはで
きませんが、今回の国体でドーピング違反が
「ゼロ」であったことは、東京国体対策特別
委員会として心の中で誇りに思うところであ
ります。



—— スポーツ祭東京2013活動報告 最終回 JADA・アウトリーチプログラム に参加して

東京薬劑師会 東京国体対薬特別委員会 委員 **薬山 衛**

第68回東京国体において、JADA（公益財団法人アンチ・ドーピング機構）は、開会式と11の競技会場でアウトリーチプログラムを実施しました。

アウトリーチとは「手を差し伸べる」の意であり、JADAの行うアウトリーチプログラムは、選手・コーチ・競技関係者にドーピング、アンチ・ドーピングについての関心や理解を求めるために企画者側から働きかける活動といえます。

国体本大会のJADA・アウトリーチプログラムに参加するための条件とは以下のとおりで、①、②、③を修了して初めて国体本大会のアウトリーチプログラムへの参加が可能となります。

- ① スポーツファーマシストの認定を受け
- ② 本大会開催前、JADAが指定する競技会のアウトリーチプログラムに参加し現場で研修を受けること（写真1）
- ③ ②を挟んで全体のプログラムの説明会と国体直前の講習会に出席すること

JADAの現地研修

2013年8月14日、私は横浜文化体育館で開催された全日本ジュニア体操選手権のアウトリーチプログラムに参加しました。

当日は、JADA職員1名、スポーツファーマシスト3名が参加し、プールの設置及び撤収、ドーピングの基礎知識を問うクイズの実



写真1 アウトリーチブースでの現地研修

施、アンケート用紙の記載、回収、記念品配布の手順を確認、習得することとなりました。会場の出入口は一か所、IDのチェックが行なわれ、場内でのカメラ撮影も事前に許可を受けた者でなければ使用できないなど、厳しい警備体制がとられていました。

ジュニアの選手にアンケートを行ったところ、「ドーピング」について初めて聞いたという選手もいました。薬のことで疑問に思うことがあれば「都道府県薬劑師会ドーピング防止ホットライン」があるので、相談してほしいと伝えるとともに、コーチや保護者の方たちにも、正しいドーピング、アンチ・ドーピングの知識をもってジュニア選手の指導に当たって欲しいと思いました。

開会式・味の素スタジアム

開会式当日のブースは、開会式で入場直



写真2 ドーピングクイズの解説

をする各都道府県選手団の控えテントの入り口に設置され、選手、コーチや大会関係者が多く集まる最適な場所での活動となりました。ここでは簡単なクイズを通して、選手をはじめブースを訪れた方々にドーピングに関する理解を深めるための活動が行われました。

高校生を中心に多数の選手がクイズに挑戦してくれました（写真2）。彼らには国体参加に当たり、JADAが作成した「アンチ・ドーピングガイドブック」が事前に配布されておりましたが、十分に理解されておらず、ドーピングに対する意識がまだ低いよう、この活動の重要性を実感することができました。

《ブースでの事例1》

選手団帯同の医師から選手が服用する薬について問われる医師がいましたが、ドーピング違反になるものではありませんでした（写真3：薬の問合わせに应对）。

《ブースでの事例2》

「昨夜選手が市販の風邪薬を服用したが、ドーピング違反になる成分が含まれていないか？」選手と関係者が相談にいられて、スマホに写した成分表の画面を提示されました。商品名は不明でしたが成分は確認できました。その商品の中には明らかにドーピング禁止薬が含まれており、服用できない旨を回答したところ、選手が涙ぐんでしまいました。薬を購入する際、販売者に相談をしていたと



写真3 服用する薬の相談に对应

のことでありますが、詳細は不明です。付き添っていた関係者は、「大丈夫だ」と選手を慰めていましたが、選手関係者やコーチもドーピングに対する認識が不足していることを痛感致しました。

このように偶然に、うっかりドーピングの実例に遭遇したわけですが、選手本人は勿論、指導者、競技関係団体が一体となってドーピング防止に対しての意識を高めていただきたいと思いました。

調布市薬劑師会のドーピング防止活動

私は味の素スタジアムでの「開会式当日」と「陸上競技出場選手のテント村」のJADAアウトリーチの他に、別の日に調布市薬劑師会が独自に開設したブースでのドーピング防止活動にも参加しました。これはJADAのアウトリーチプログラムとは異なるもので、自分たちで工夫し、都業で作成したグッズ等を利用してアスリートや関係者に啓発活動を行ったものです。

このように、いくつかの会場で活動を行いました。屋外に比べ、屋内の会場は多少狭く窮屈な感がありましたが、天候に左右されず活動ができることが利点であると感じました。味の素スタジアムのような広い屋外会場では、「天候」と選手、競技関係者、一般来場者と「動線」が合うか否かでブースに来て

いたたく人数が大きく左右されます。場所の問題は重要と考えられますので、今後、主催者側には最適な場所でドーピング防止活動が行えるよう配慮していただければと思います。

うっかりドーピング防止活動の発展を目指して
 東京国体期間9月11日～9月15日、9月28日～10月8日の16日間にJADAアウトリーチプログラムに参加したスポーツファーマシストの人数は、延べ64名でした。

今回の国体でのドーピング検査は、24の競技に参加した延べ214名の選手に行われ、結

果としては「陽性ゼロ」でうっかりドーピングにより涙を流す選手は出ずに国体は終了しました。長い間準備を続けてきたことが報われ、嬉しく思いましたが、これで終わることなく、薬の販売に携わる当事者として、そしてスポーツファーマシストとして「ドーピング防止活動」を継続的に行っていく必要性を強く感じました。また、調布薬剤師会のみならず、各地区薬剤師会の会員の先生方がそれぞれ地元の競技会場のブースで活躍されたと聞いております。今回の経験を活かし、「うっかりドーピング防止活動」がさらに発展していくことを期待しております。



「スポーツ祭東京 2013」活動報告書

2015年3月発行

*東京国体対策特別委員会

○立ち上げ : 2011年6月

○活動開始 : 2011年7月

○構成メンバー :

担当役員 : 原 博、上村直樹、高橋正夫、石垣栄一、貞松直喜、山田純一、山村拓郎

担当委員 : 小林百代、瀬谷雅行、對崎利香子、加藤重好、栗山 衛、薄井健介、藤本和子、
小竹慶子、上東悦子、安西真理子

担当事務局 : 薬事情報課 佐藤裕美子、高橋永里子、梅沢綾子、神戸道子

○ワーキンググループ (WG)

- ・システム作成担当
- ・グッズ作成&広報活動担当
- ・講習会・研修会担当

○委員会・WG開催

- ・2011年度 : 委員会5回開催
- ・2012年度 : 委員会7回、ワーキンググループ6回開催
- ・2013年度 : 委員会9回、ワーキンググループ1回開催

○活動終了 : 2014年6月

編集・発行 公益社団法人 東京都薬剤師会
〒101-0054 東京都千代田区神田錦町 1-21
電話 03-3294-0271 FAX 03-3295-2333
E-mail info@toyaku.or.jp

印刷 NPC 日本印刷株式会社

*表紙 : 東京都薬剤師会作成 缶バッジ